
埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書第90集

上本田遺跡Ⅱ

—2次～6次、8次調査の記録—

2007.3

深谷市教育委員会

例 言

1. 本書は平成 18 年 2 月に実施した上本田遺跡 8 次調査の報告書である。遺跡の内容を把握するために旧川本地内で行われた過去 5 回の発掘調査の未報告資料についても掲載した。2 次～6 次は昭和 63 年から平成 10 年にかけて実施したもので、各調査の詳細については別表を参照されたい。
2. 整理作業は、平成 18 年度に深谷市教育委員会が行った。
3. 本書の編集・執筆は、深谷市教育委員会川本事務所 村松篤が行った。
4. 各遺構については種類別に記載を行い、既報告の「上本田遺跡 I」と通し番号とした。
5. 本書掲載の図については、遺構のスケールは原則として 1/80、遺物のスケールは 1/8 とした。
6. 出土遺物の保管と詳細なデータは、深谷市川本出土文化財管理センターで管理する。
7. 本書の作成に際して、調査報告書デジタル化制作（凸版印刷株式会社）、石器実測（大成エンジニアリング株式会社・シン技術コンサルタント株式会社）、土器実測写真撮影（シン技術コンサルタント株式会社）、cad 図面作成（株式会社東京航業研究所）について委託した。
8. 遺構遺物の詳細情報については、川本出土文化財管理センターホームページの深谷市遺跡情報データベースで公開している。そのため本書は遺跡調査のカタログ機能を果たしている。なお、図中の遺物番号は遺構番号横の No.とあわせてコード番号となる。

1、発掘調査にいたる経緯

2 次調査は昭和 62 年 11 月に町建設課から上本田遺跡内で歩道新設工事に対する埋蔵文化財の所在に関する協議があった。川本町教育委員会（以下町教委）は、開発区域は周知の埋蔵文化財包蔵地があることから、開発する際には記録保存のための発掘調査が必要であると回答した。本調査は、川本町遺跡調査会が川本町長鯨井正三から委託を受け、現地調査を昭和 63 年 11 月 22 日～12 月 26 日まで行った。

3 次調査は川本町長鯨井正三から平成 3 年 5 月 8 日付け川福発第 66 号で川本町立南保育所建設予定地の埋蔵文化財の取り扱いの協議があった。平成 3 年 5 月 23 日付け川教発第 99 号で開発区域は周知の埋蔵文化財包蔵地で、開発に先立ち記録保存のための発掘調査が必要であると回答した。6 月 28 日に試掘調査を行い、遺跡の所在を確認した。その後建設地の変更の協議が平成 3 年 7 月 24 日付け川福発第 199 号で提出され、平成 3 年 8 月 13 日付け川教発第 198 号で同内容を回答した。発掘調査は、川本町遺跡調査会が川本町長鯨井正三から委託を受けて実施することとし、平成 3 年 10 月 5 日に協定書を締結した。現地調査を平成 3 年 11 月 5 日～平成 4 年 2 月 27 日まで行った。

4 次調査は平成 4 年 11 月に川本町立デイサービスセンター建設工事に関する埋蔵文化財に対する福祉課から協議があった。町教委は、開発区域は周知の埋蔵文化財包蔵地があることから、予定地内に周知の埋蔵文化財包蔵地が広がることが予想され、平成 5 年 6 月 24 日に試掘調査を行った。そこで開発する際には記録保存のための発掘調査が必要であると回答した。本調査は、川本町遺跡調査会が川本町長鯨井正三から委託を受け、現地調査を平成 5 年 9 月 13 日～平成 5 年 11 月 4 日まで行った。

5 次調査は平成 7 年 11 月に工場増設計画に関する埋蔵文化財に対する（株）渡辺石英硝子から協議があった。町教委は、開発区域は周知の埋蔵文化財包蔵地があることから、予定地内に周知の埋蔵文化財包蔵地が広がることが予想され、試掘調査後に協議をすることとして、工場建設予定地北側の 400 m²の遺跡の所在を確認した。そのうち北西の 100 m²については、開発する際には記録保存のための発掘調査が必要であると回答した。本調査は、川本町遺跡調査会が渡辺石英硝子株式会社から委託を受け、現地調査を平成 8 年 1 月 27 日～2 月 14 日まで行った。

6 次調査は平成 10 年 11 月に 1 次調査区西側に個人住宅建設工事に関する協議があった。町教委は、開発区域は周知の埋蔵文化財包蔵地があることから、予定地内に周知の埋蔵文化財包蔵地が広がることが予想され、開発する際には記録保存のための発掘調査が必要であると回答した。トレンチによる確認調査を行い、削平予定部分のみ拡張を行い、町教委が国庫補助事業として調査した。現地調査を平成 11 年 4 月 6 日～4 月 12 日まで行った。

8 次調査は平成 17 年 11 月に川本町立南小学校体育館建設予定地の埋蔵文化財の所在に対して学校教育担当から協議があった。開発区域は周知の埋蔵文化財包蔵地があることから、予定地内に周知の埋蔵文化財包蔵地が広がることが予想され、開発する際には記録保存のための発掘調査が必要であると回答した。試掘調査を行った後協議することとして、平成 16 年 12 月 20 日に深谷市教育委員会が試掘調査を実施した。本調査は、深谷市教育委員会が深谷市長新井家光から委託を受け、現地調査を平成 17 年 2 月 22 日～3 月 15 日まで行った。

2、遺跡の位置

上本田遺跡は、深谷市南部川本地域に所在し、比企丘陵最北部の江南台地上に位置する。北側は荒川により形成された河岸段丘が広がっており、遺跡とは比高差10mの崖線によって区画されている。南側は対照的に緩やかな傾斜で吉野川が形成した沖積低地にいたる。遺跡はこの台地頂部の平坦面を中心に東西800m、南北300mの東西に長い範囲に広がりを見せている。

本報告以外の発掘調査としては、昭和61年度に行われた1次調査区で縄文時代中期の竪穴住居が50軒発見され、この地域の縄文時代中期の拠点集落として注目された。また、平成14年度に実施した7次調査区では、台地南斜面下部で平安時代の掘立柱建物が確認され、台地上部の平坦面との時代による遺跡立地の違いが認識できた。

3、調査区別の概要

a. 2次調査の遺構と遺物

調査区は東西200mにわたり、2m幅で調査された。検出された遺構は、東西に細長い調査区の西側に集中して検出され、遺跡東側の広がりを確認した。縄文時代の住居跡3軒(49号住居～51号住居)、土坑9基(42号土坑～50号土坑)、埋甕1基(1号埋甕)、包含層、近世以降の溝1条である。主な出土遺物は縄文土器(諸磯b式土器、加曾利E式土器、堀ノ内式土器)、石器(石鏃、打製石斧、磨製石斧、磨石)である。

b. 3次調査の遺構と遺物

調査区は東西52m、南北26mの長方形の範囲で行った。遺構は、調査区西側に集中して検出され、縄文時代の住居跡12軒(52号住居～63号住居)、土坑22基(51号土坑～72号土坑)、埋甕1基(1号埋甕)、集石3基(4号集石～9号集石)、埋甕1基(2号埋甕)、包含層、近世土坑4基(73号土坑～76号土坑)、溝1条である。主な出土遺物は縄文土器(勝坂式土器、加曾利E式土器、堀ノ内式土器)、石器(石鏃、打製石斧、磨製石斧、磨石)、土製品(耳栓、須恵器(坏)、近世(カワラケ、鉄鍋、平瓦、古銭)である。

c. 4次調査の遺構と遺物

検出された遺構は、縄文時代の住居跡2軒(64号住居～65号住居)、土坑1基(77号土坑)、集石4基(10号集石～13号集石)、包含層である。主な出土遺物は縄文土器(勝坂式土器、加曾利E式土器)、石器(石鏃、打製石斧、磨製石斧、磨石)、土製品(土偶)である。

d. 5次調査の遺構と遺物

5次調査区はやや東南に向けて傾斜しており遺構が検出したのは平坦面に限られる。検出された遺構は、縄文時代の住居跡2軒(66号住居～67号住居)、土坑4基(78号土坑～82号土坑)、包含層、溝1条である。主な出土遺物は縄文土器(勝坂式土器、加曾利E式土器)、石器(石鏃、打製石斧、磨製石斧、磨石、石棒)である。

e. 6次調査の遺構と遺物

検出された遺構は埋甕1基(3号埋甕)と包含層である。主な出土遺物は縄文土器(加曾利E式土器)、石器(打製石斧、磨石)が出土する。

f. 8次調査の遺構と遺物

検出された遺構は、縄文時代の集石2基(14号集石～15号集石)と包含層である。旧川本南中学校建設時の攪乱がひどく包含層自体の遺存状態は悪かった。主な出土遺物は縄文土器(諸磯b式土器、加曾利E式土器)と石器(石鏃、打製石斧、凹石)である。

4. 縄文時代の遺構

今回報告する縄文時代の遺構は、住居18軒、土坑34基、集石12基、埋甕3基である。遺構番号は調査時毎につけていたため、整理時再度付け直したために、調査時の番号と本報告書の番号は異なっている。

a. 住居

今回の発掘調査では、1次調査区よりの3次調査区西側を中心に2次～5次調査区から合計18軒検出された。6次、8次調査区では検出されなかった。

住居の形態は、円形、楕円形、隅丸方形、柄鏡型に分けられる。全形が明らかな住居は円形10軒、楕円形4軒、隅丸方形1軒、柄鏡型1軒となる。

規模から見ると、長軸が5～6m規模のものが多く、4次調査区から検出された64号、65号住居は3.2～4.0

mと規模が小さい。3次調査区の住居は重複するものが多く、平面形が明らかにできなかった6号住居のようなものもある。

周溝は5次調査区のものには全周巡るが、他地区のものには周溝は見られない。柱穴は5～7本のもので多く、64号、65号住居のような、小型のものには柱穴は見られない。

炉は石囲炉、埋甕炉、地床炉に分けられ、炉の検出された13軒のうち、7軒が石囲炉と多い。また、62号住居の埋甕炉は炉石を抜き取った小穴が確認され、かつては石囲埋甕炉であったと推定される。石囲炉は河原石で三辺を囲うものが多く、石囲い内に埋甕を埋設する石囲埋甕炉も3例ある。また、炉に近接して集石を持つものが2例あり、54号住居では炉に接する配石とやや離れて分布する集石遺構が存在するのは屋内集石の機能を示唆すると考えられる。なお、住居帯周縁に分布する51号・64号65号住居の炉は小型の地床炉で、住居としての短期間の存続、用途を示すものと考えられる。

埋甕は2軒で住居南壁際から検出された。他に伏甕が3軒で検出されるが67号住居では石棒と近接して壁際から出土する。

b. 土坑

土坑は、計34基が検出される。平面形は円形のもので主流で、断面形が逆台形をした立ち上がりがしっかりとしたA類と皿状のB類に分けられる。A類としては、42号、49号、71号、74号土坑などで、住居帯の周縁から単独で検出される。1次調査区でも33号土坑程度であり、検出例は少ない。B類については遺構群の分布と同様に検出されるが、遺物出土例も少なく、縄文時代に特定できないものや、遺構としての認識が難しいものも含まれる。

c. 集石

集石は住居帯の周辺から12基が検出される。径1m程度の範囲に破碎礫が集中するものと広範囲に礫が散在するものに大別される。このほかに屋内集石炉を有する住居が2軒検出される。出土した遺物としては少量の土器と石器（スルパ、磨製石斧、打製石斧、礫器、磨石、敲石、凹石、砥石）が出土し、10号集石から土製円盤が出土する。

d. 埋甕

埋甕は、3基検出されている。1号埋甕は2次調査区の51号住居東側から検出され、これまでに検出した縄文時代の遺構の中で最も東側に位置する。2号埋甕は52号住居の東5mから単独で検出された。胴部上半の大型の深鉢が逆位に埋設されていた。掘り方は不明瞭である。3号埋甕は6次調査区南側から単独で検出された。深鉢上半部が上から押しつぶされた状態で検出された。

5. 縄文時代の遺物

縄文時代の遺物は多量の土器と他に石器、土製品、特殊土器がある。

a. 土器

今回出土した土器は縄文時代中期に属するものが多く、勝坂式から加曾利E式終末期にかけてのものである。ここで土器の大別の特徴を示し、遺構別の変遷について記述を行う。

①勝坂式土器

この時期の遺構はなく、加曾利E式期の遺構に混在して出土する。

②加曾利E式土器初頭段階

キャリパー形土器は頸部に無文帯を残し、胴部に懸垂隆帯、沈線文が垂下する深鉢。地文に撚糸文を多用する。本群の土器は3号埋甕が当時期にあたる。大きな波状突起を有するもので北関東系の影響を色濃く受けているものである。54号住居には破片がやや目立ち、他は包含層や各遺構に少量の破片が出土する。

③加曾利E式土器前半の土器群

キャリパー形土器は頸部に無文帯を残し、胴部に懸垂隆帯、沈線文が垂下する深鉢を特徴とする。地文は縄文が主体となる。連弧文土器は、上下の文様帯が区画され、弧線が施される。また、胴部上半に文様が施されソロバン玉状に胴部中位でくの字状に屈曲し、口縁部が外反する鉢形土器が出現する。

1次調査区ではこの時期の住居が最も多く検出されているが、本報告では54号住居、66号住居、67号住居が該当する。54号と67号はこの段階でも古い時期の土器群で各種把手を配する深鉢を有し、66号より新しい時期で胴部の文様帯が沈線施文のものが増加する。

④加曾利E式土器後半の土器群

キャリパー形土器は頸部無文帯が省略され、胴部に磨り消し縄文帯が垂下する深鉢を特徴とする。連弧文土器

は範型がくずれ、上下の文様帯が一体化し、沈線も弧線に限らず、渦巻き状となるものが中心となる。重弧文系土器が一部伴出する。本群土器を出土する住居跡は、11軒と今回報告する住居の大半を占める。多くの土坑や集石もこの時期のものが主体と考えられる。

⑤加曾利E式土器終末の土器群

キャリパー形土器で口縁部文様帯が消失し、胴部に磨り消し縄文による渦巻き文などが施される深鉢に代表される。本群土器を出土する住居跡は、52号住居で住居の平面形は柄鏡形を呈する。炉跡は方形の石組炉で、他の住居群からやや東にはなれて単独に分布する。

⑥その他の土器

前期中葉の黒浜式土器が2・3次調査区から検出された。胎土中に繊維を含む。前期後半の諸磯b式土器は2次調査区の51号住居や8次調査区から検出される。出土する土器はキャリパー型を呈し、浮線文を巡らす。後期堀ノ内式土器は2次、3次調査区から小破片が出土する。安行式土器も2次調査区から出土し、工字文を有する土器が遺跡東側から出土する。

b. 石器

出土した石器は、総計で267点ある。器種別に見ると石鏃、尖頭器、石錐、磨製石斧、打製石斧、スクレイパー、礫器、石皿、凹石、石棒、磨石、砥石、スタンプ形石器等である。この他に剥片や碎片、焼礫や礫片が数千点出土しているが、中に剥離痕を有するが石器として認定できない礫破片が多量出土する。

石鏃は27点あり、素材は黒曜石、チャート、凝灰岩がみられる。凹基のもの、平基のもの、丸みを帯びるもの等がある。5次包含層から黒曜石の局部磨製石鏃が出土し、8次包含層の有茎石鏃は優美な形態を呈していて、縄文時代晩期から弥生時代にかけて見られる特徴を有している。尖頭器は、先端部のみの残存である。

磨製石斧は17点出土し、定角型のものや乳棒状のものに分けられる。全体に欠損品が多く、刃部破片等の小破片が多い。局部磨製石斧が出土することと楔状の細身で小型のもの(189, 193)が特徴である。

打製石斧は151点出土した。形態からみると撥型と短冊形が主体で、分銅型がいくらか出土する。また粗い調整加工による小形品が目立ち、大型のものは欠損品が多い。

スクレイパーは剥片の周辺を粗く打ち欠いた2側縁加工のものと裏面に自然面を有する円形の剥片の周縁加工したのがある。円形の礫剥片の周縁を打ち欠いたラウンドスクレイパーは特徴的である。

礫器は11点出土しているが、礫の一端を軽く打ち欠いたようなものが多い。また礫に分類した中にも剥離痕を残すものがあるが、人工的なものと判断できないため除外した。局部磨製石斧とともに古い様相を示す石器であるがここでは縄文時代中期の住居に伴出するものと考えられる。

石皿は9点で、緑泥片岩製のものや多孔質安山岩を素材とするものがあり、住居の石囲い炉に転用されるものがある。裏面周縁に凹穴を有している。

凹石は12点で、板状の緑泥片岩に多くの穴が穿たれたものと石鱗形を呈する磨り石の両面の中央に一对の穴を穿つものもある。

石棒は66号住居から出土した安山岩製の大型品で両端を欠損するが、割れ面は磨られていて再生されている。復元すると長さ1mを越す大型品になるものと推定される。

敲石は、楕円形礫の両端側縁に敲打痕を有するもので8点出土した。磨石や台石は明瞭に使用痕を残すものだけを抽出した。砥石は11点出土した

剥片・碎片は約1000点出土し、そのうちの1/4が黒曜石で残りはチャートが主体となる。

c. 特殊な土器(有孔鏢付土器・器台・網代痕を有する土器)

有孔鏢付土器は合計9点あり、鏢のみの小破片が多く、全形のわかるものはない。胴部に隆帯が配され縄文施文されるものや把手が配される薄手のものや鏢の形状が受け状となるものがある。

器台は、20点出土する。径15~20cm前後のものが主体的で、5cm前後の小型品もある。小破片が多く不明な点が多いが、おおむね体部に二個一对の円孔が二単位配される。文様を有するものは1点だけで縄文が器面に施される小型品である。側縁部がやや外傾するものや、脚部が内湾して短く立ち上がり上面は摩滅するもの、体部が直線的に立ち上がり上面は光沢を有するように摩滅するものなどがある。

網代痕を有する土器は5点確認されている。底面全体に網代が残るものより、周辺に残るものが多く、成形時の痕跡を残したものと想定される。

d. 土製品

土製品としては土偶、耳栓、手づくね土器、土製円盤が出土している

土偶は腕の一部分と考えられ、扁平な筒状を呈する。表裏面には細い沈線で渦巻状に施文がされる。

耳栓は3号住居から2点出土する。鼓形をした小型品で端部には両面に刺突文が施される。

土製円盤は、3次で17点、4次で9点、5次で18点の計44点が9軒の住居を中心に出土した。形状から見る

と、円形、楕円形、方形、長方形に分けられる。円形が18点、方形のものが17点と最も多く、楕円形8点、長方形が1点である。周縁の研磨状況を見ると、直線的な研磨が多く見られ、数回研磨したものが角がとれ、丸みを帯びるようになるものと観察され、形状には特別な差異があるとは考えられない。大きさは4.7cm、40gを最大とし、4.0cm、30gの中型品と3.0cm、15g前後の小型品におおむね分けられる。出土した土製円盤の周縁は、ほとんどのものが全周から3/4の範囲が研磨されているが、中には研磨痕が明瞭ではないものが認められる。出土状態は、他の土器破片と混在して出土しており、土製円盤だけが集中する遺構や個所は見られない。なお用いられた土器破片は、無文の浅鉢が15点と目立つ。

6. 近世・近代の遺構と遺物

近世の土坑が4基、時期が特定できない溝が4条検出されている。1号近世土坑は長方形を呈し、覆土中に鉄鍋、平瓦を出土する。鉄鍋は取り上げ後破碎し復元は困難であった。2号近世土坑は調査区際で検出され、寛永通宝が木製容器に入れられていたと考えられる。近世の土坑は覆土中にローム粒を多量に混入することから一時期に埋め戻された墓坑などが想定される。近世に限定されなく、近代にかけての遺構と想定される溝が各地区で検出されている。地境や耕作によるものと考えられるが詳細は不明である。

なお、このほかに須恵器杯の底部破片が出土した。小破片のため詳細は不明だが8世紀後半のものと推定される。

7. まとめ

上本田遺跡の発掘調査は、これまでに8回の調査が行われている。ここでは、これまでに行われた調査をふまえて、縄文時代中期の上本田遺跡の様相を考えてみたい。

これまでに検出された住居の数は68軒とこの地域での調査例としては群を抜いている。住居は帯状に分布するがこれまでのところ環状集落となることは確認できていない。

住居の形態は、円形、楕円形、隅丸方形に分類できる。全形の明らかな住居跡の比率でいくと円形が22軒、楕円形が13軒、隅丸方形15軒、柄鏡形1軒である。規模から見ると11号住居跡が長軸9mを測り最大で、平均すると長軸が5～6m前後のものが主体で最小の規模のものは65号住居の長軸3.2mである。周溝は約半数の住居跡で確認され、全周する例が23例見られた。柱穴は4～7本のものが多く、隅丸方形のものは4本、円形のものは5～7本あるが、64号、65号住居のような、小型の住居には柱穴は見られない。拡張住居は4軒確認されるが住居帯の周縁には大型住居が少ないせいかな今回の報告には見られない。

炉は石囲炉、埋甕炉、地床炉に分けられる。炉の検出された49軒のうち31例が石囲炉で、主体を占める。地床炉や埋甕炉に分類した炉も一部炉石が残るものや炉石を抜き取った小穴が観察されるものが多く、本遺跡で検出された住居の炉の大半は石囲炉であったようである。石囲炉は、大形礫で方形に組んだ石組炉と河原礫で囲こう石囲炉に分けられる。石囲炉は河原石で三辺を囲うものが多く、石囲い中に埋甕を埋設する石囲埋甕炉も7例ある。また、炉に近接して集石を持つものが8軒あり、屋外の集石が15基と少ないことに比べて特徴的である。54号住居では炉に接する配石が検出される。埋甕は10軒で確認され、おおむね住居跡南側の壁際から検出される。

土坑は、計75基が検出される。平面形は円形のものが主流で、断面形が逆台形をした立ち上がりはっきりとしたA類は9基と少なく、33号、42号、49号、71号、74号土坑が該当する。A類は住居群の周縁から検出されるものが多い。B類は立ち上がりが不明瞭な断面皿状のもので遺構群の分布と重複して検出されるが、遺物出土例も少なく、自然の営為によるものも含まれる。なお、73～76号土坑は近世以降のものである。

集石は住居群に近接して13基が検出される。遺物は土器や石器が少量混在する。時期は住居と同じく縄文時代中期後半に属するものと推定される。他に住居内の炉に隣接する屋内集石炉が8軒の住居から検出された。屋内集石炉と、屋外炉とは機能の差があるものと考えられる。

屋外埋甕は帯状の住居群から離れて、周縁から単独で検出される。2号埋甕は大型深鉢の胴部上半が逆位で検出され、3号埋甕は北関東系の土器が潰れた状態で検出された。

縄文時代の遺物は土器、石器、土製品、特殊土器等がある。縄文土器は中期後半に属するものが大半であるが堀ノ内式と安行式土器の破片が少量出土する。土製品には、土偶、耳栓、ミニチュア土器、手づくね土器、土製円盤がある。有孔鏢付土器、器台、台付土器がこれまでの調査で見つかっており、他の遺跡の土器組成から見ると目立つ存在といえる。網代痕を有する土器も多く、底面全体に網代が残るものより、周辺に残るものが多く、成形後底面を磨り消したことが想定される。

本報告では、縄文時代中期の大規模集落の一部が1次調査区に続き検出された。遺跡は勝坂期後半から中期末葉まで集落は継続しており、いわゆる加曾利EⅡ～Ⅲ式期が主体となる。周辺には舟山遺跡、寄居町牛無具利遺跡、嵐山町五領台遺跡など大規模となる集落跡が距離を置いて点在するが、周辺の春日丘工業団地などの広域調査では縄文時代中期の集落はほとんど見つからず、核となる遺跡に集中する様子がうかがえる。出土土器は、地域独自に発達した文様が主体的で、規制に縛られない自由奔放な施文を行っている。中でも連弧文系土器は独特の文様変遷を遂げており、この地域の象徴的な土器といえる。

縄文時代中期の集落はこれまでの周辺調査が進んできたことにより1次調査区に遺構が集中することが判明してきている。また、試掘調査の結果や大地平坦面の広がりから見て、東側の遺跡の分布の限界は、51号住居、1号埋甕や8次調査区での集石遺構の分布が限界と推定される。しかし南東側の現在の上本田グラウンドからは以前から多くの石器・土器が採集されることからその広がりを再確認すべきかもしれない。遺跡西端の砂利採集地では多くの縄文土器がかつて採集されたとのことなので、今後の調査で集落の広がりが解明されると考えられる。

参考文献

川本町遺跡調査会「上本田遺跡Ⅰ」2000川本町遺跡調査会報告書第5集

川本町遺跡調査会「本田城・上本田遺跡（7次調査）」2003川本町遺跡調査会報告第9集

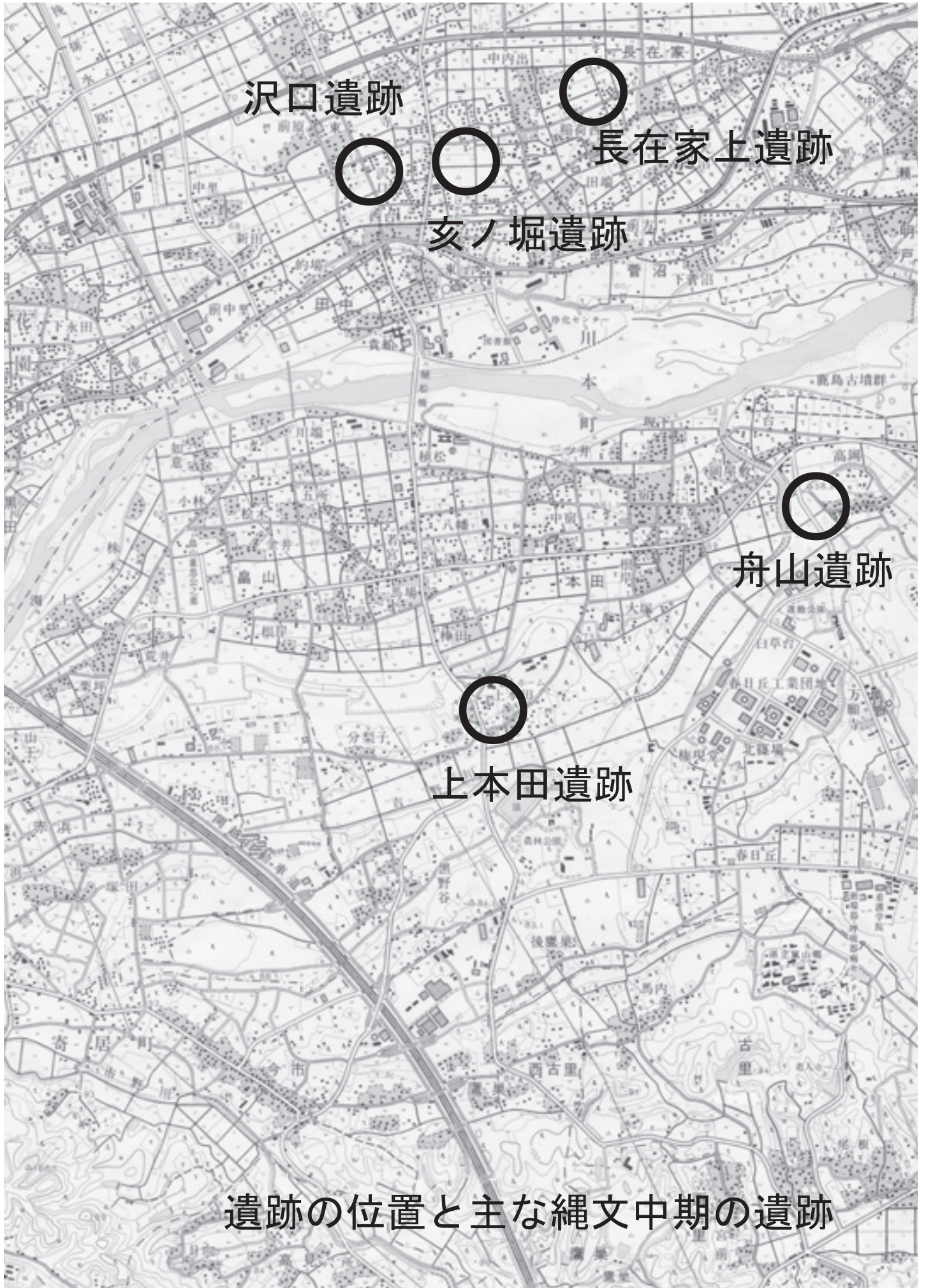
上本田遺跡のこれまでの調査歴

調査区	対象地	調査主体	担当者	調査開始日	調査終了日	調査面積	調査原因	遺跡の種別	遺跡の時期	報告書刊行
1次調査	本田4915-1、	川本町遺跡調査会	村松篤	1986.10.15	1987.04.30	3800㎡	老人ホーム建設	集落	縄文時代中期/近世	川本町遺跡調査会第5集(2000.12.25)
2次調査	本田4762他	川本町遺跡調査会	村松篤	1988.11.22	1988.12.26	1320㎡	歩道整備	集落	縄文時代中期	本報告書
3次調査	本田4914-1	川本町遺跡調査会	村松篤	1992.11.05	1993.02.27	1250㎡	南保育所	集落	縄文時代中期/近世	本報告書
4次調査	本田4914-3	川本町遺跡調査会	村松篤	1994.09.13	1994.11.04	500㎡	デイサービスセンター	集落	縄文時代中期	本報告書
5次調査	本田4917-24	川本町遺跡調査会	村松篤	1997.01.27	1997.02.14	500㎡	工場建設	集落	縄文時代中期	本報告書
6次調査	本田4917-34	川本町教育委員会	村松篤	2000.04.06	2000.04.12	86㎡	住宅建設	集落	縄文時代中期	本報告書
7次調査	本田4982	川本町遺跡調査会	村松篤	2003.06.26	2003.07.08	300㎡	道路整備	集落	奈良平安時代	川本町遺跡調査会第9集(2003.08.29)
8次調査	本田4888-1	深谷市教育委員会	村松篤、森下昌市郎	2006.02.22	2006.03.15	1500㎡	体育館建設	集落	縄文時代中期	本報告書

上本田遺跡2次～6次、8次調査遺構一覧表

調査区	遺構No	時代	説明	形態	長さ	幅	深さ	付属施設	出土遺物
2次調査	0049 住居	縄文	2次調査区で最も西側で検出された。南側は調査区外に多く広がっており、全体の1/6を調査したが、ところどころ攪乱を受けている。壁は斜向して立ち上がり、周溝はない。ほぼ中央に主柱穴と考えられる楕円形のピットが確認される。覆土から小破片が出土(旧2次1号)	円形	5.48	1.22	0.20	主柱穴は径0.65m、深さ0.3mを測る。	土器(加曾利E)石器(打製石斧2、砥石1、敲石1)礫
2次調査	0050 住居	縄文	2次調査区の西側より検出された。南側は調査区外に多く広がっており、全体の1/3を調査した。中央西よりに石囲埋燬炉が設けられるが西半を攪乱される。細い柱穴は見られるが主柱穴は確認されなかった。壁は直に立ち上がり、周溝はない。覆土から土器片、礫が出土(旧2次2号住居)	円形	4.74	2.02	0.20	石囲炉は河原礫2個が残存し、胴部上半だけの埋燬が埋設されている。柱穴は径0.2m程度のもの2本が検出される。	土器(加曾利E)
2次調査	0051 住居	縄文	2次調査区中央に検出され、上本田遺跡の住居では最も東側に位置する。楕円形を呈し南北の両角は調査区外に広がり、1・3が調査された。地床炉が中央に確認される。周溝は南側に緩やかな周溝が確認され、柱穴は南東隅の1本が検出される。調査区南側からは床上の埋燬1個体が検出され磨製石斧が脇から、上面から剥片が検出された。覆土中からは土器破片が出土する(旧2次3号住居)	楕円形	6.20	4.60	0.40	地床炉は径0.6mの円形で覆土中に焼土7ブロックを多量に含む。柱穴は南西隅から検出され径0.6m、深さ0.43mを測る。	土器(諸磯b、加曾利E)石器(石鏃2、打製石斧1、磨製石斧2)礫
3次調査	0052 住居	縄文	調査区東よりから他の住居から20mはなれて検出された。東側は攪乱により破壊され全体の2/3を調査した。柄鏡形を呈しており、円形の主体部の南側に幅1mの柄部分が張り出す。主体部中心から石囲炉が検出される。炉の上面から周辺にかけての覆土下層から大型破片が出土している。(旧3次1号住居)	柄鏡形	7.30	4.50	0.40	主柱穴・周溝は確認されない。	土器(加曾利E)石器(打製石斧2)礫
3次調査	0053 住居	縄文	調査区南西から検出され、9号住居・11号住居と重複している。住居中央北よりに長楕円形の埋燬炉が検出される。炉の周辺には礫が分布するが石囲炉かどうかは確認できない。覆土中からは土器片礫が多量に出土する。(旧3次2号住居)	円形	5.30	4.80	0.40	主柱穴は5本確認されたが対で分布するものが多く、建替えの可能性も考えられる。	土器(勝坂、加曾利E)土製品(土製円盤3)石器(石鏃3、磨製石斧2、打製石斧12、礫器1、磨石1、石皿1、敲石1、凹石1、砥石1、石鏢1)礫
3次調査	0054 住居	縄文	調査区南西から検出され、2号住居と11号住居と重複する。住居中央に焼土の分布が見られ、地床炉と推定される。住居中央の炉上面から土器片、礫が出土する(旧3次9号住居)	円形	6.00	7.00	0.10	主柱穴は5本確認された	土器(勝坂、加曾利E)石器(打製石斧4、凹石1)礫
3次調査	0055 住居	縄文	調査区南西から検出され、9号住居と重複し、2号住居に切られている。住居中央に楕円形の地床炉が検出される。炉には礫を抜き去った痕跡があり、石囲炉であったと推定される。遺物は覆土の大半を2号住居に削平され、出土遺物は少ない(旧3次11号住居)	円形	6.00	6.00	0.10	主柱穴は5本確認された	土器(加曾利E)土製品(土製円盤1)石器(石鏃1、磨製石斧1)礫
3次調査	0056 住居	縄文	調査区南西に位置し、2号住居の北に近接する。住居中央から石囲炉が検出される。西辺の石は抜けており、西南に接して敷き石状の配石が検出される。炉の東0.7mに集石遺構が分布する。床面は軟弱である。遺物は覆土上層を中心に出土する。(旧3次3号住居)	円形	6.20	5.80	0.60	主柱穴は5本確認される	土器(加曾利E)有孔鑄付土器1、土製品(土製円盤2)石器(石鏃9、磨製石斧1、打製石斧8、礫器1、磨石2、石皿3)土器(加曾利E)土製品(土製円盤1)石器(石鏃2、磨製石斧1、打製石斧2、礫器1、凹石1)礫
3次調査	0057 住居	縄文	調査区西壁際で検出され、西側は調査区外に広がり、全体の1/2を調査した。住居中央に石囲埋燬炉を配し、北辺には石を配していない。南壁際に伏羲が検出される(旧3次4号住居)	円形	5.00	3.50	0.50	主柱穴は4本確認される	土器(加曾利E)有孔鑄付土器2、土製品(土製円盤6)石器(打製石斧6、スタンプ形石器1、石皿1、凹石1、砥石1)礫
3次調査	0058 住居	縄文	調査区西壁際で検出され、西側は調査区外に広がり、全体の1/3を調査した。南側には2号住居、3号集石が隣接し、北部に土坑が重複している。覆土中から少量検出される。(旧3次7号住居)	円形	6.00	6.00	0.30	主柱穴と考えられるものや炉は検出されない	土器(加曾利E)有孔鑄付土器2、土製品(土製円盤6)石器(打製石斧6、スタンプ形石器1、石皿1、凹石2、砥石1)礫
3次調査	0059 住居	縄文	調査区北西端に位置し、北側は調査区外に広がり、1/2を調査した。住居中央に石囲埋燬炉が検出され、西に近接して集石が検出された。南東壁際には、埋燬が埋設され、伏羲が検出された。覆土中からは土器片礫が多量に出土する。(旧3次5号住居)	円形	4.30	2.70	0.40	主柱穴は4本検出される。	土器(加曾利E)器台1、石器(石鏃1、削器1)打製石斧13、尖頭器1)礫
3次調査	0060 住居	縄文	調査区北西端に位置し、5号住居と8号住居に挟まれて位置する。住居プランは不明で覆土中から多量の土器・石器・礫が出土した。(旧3次6号住居)	不明	8.50	4.20	0.50	柱穴が5本検出されるが規則性は無い	土器(加曾利E)石器(打製石斧5、スタンプ形石器1、敲石1)礫
3次調査	0061 住居	縄文	調査区東より中央から検出され、北側に6号住居が位置する。やや方形を呈する円形で壁はなだらかに立ち上がる。中央に石囲炉を配し、東に並んで地床炉が位置する。南東壁際には埋燬が埋設される。覆土中から土器石器が出土する(旧3次8号住居)	円形	5.70	5.50	0.20	主柱穴は5本確認された	土器(勝坂、加曾利E)土製品(土製円盤11)石器(打製石斧2、凹石3)礫
3次調査	0062 住居	縄文	調査区東側ほぼ中央から検出され、壁は垂直に立ち上がる。住居中央に埋燬炉が配される住居中央の覆土から土器石器が多量に出土した(旧3次10号住居)	楕円形	7.00	6.25	0.40	主柱穴は5本確認された	土器(加曾利E)器台3、石器(石鏃2、磨製石斧1、打製石斧1、石皿1、砥石1)礫、土製品(耳栓2、土製円盤2)
3次調査	0063 住居	縄文	調査区北壁際から東壁が一部検出された。壁は緩やかに立ち上がる。(旧3次12号住居)	円形	3.30	0.70	0.15	柱穴1本が検出される	土器(加曾利E)
4次調査	0064 住居	縄文	調査区北端で検出される。壁はなだらかに立ち上がり、中央に地床炉を有する。床面は軟弱で、柱穴は検出されない。住居中央の覆土から土器片が多量に検出される。(旧4次1号住居)	楕円形	4.02	3.48	0.29	地床炉は0.66m×0.48mで断面血状を呈し焼土は少量であまり焼けていない	土器(加曾利E)石器(打製石斧3)土製品(土製円盤2、礫)
4次調査	0065 住居	縄文	調査区東側で検出される。壁はなだらかに立ち上がり、中央に地床炉を有する。床面は軟弱で、浅い柱穴が2本検出される。住居中央の覆土から土器片が多量に検出される。(旧4次1号住居)	楕円形	3.22	2.68	0.24	地床炉は0.38m×0.30mで断面血状を呈し炭化粒が少量あるが焼土は検出されない。柱穴は径0.40m前後であるが浅く明瞭ではない	土器(勝坂、加曾利E)石器(打製石斧4、磨製石斧1、礫器2)礫
6次調査	0066 住居	縄文	調査区南側から検出された。壁はほぼ垂直に立ち上がり、周溝が全周する。中央やや北よりから地床炉が検出される。床面は軟弱で、主柱穴が4本確認された。遺物は覆土中から出土した。(旧5次1号住居)	円形	5.15	4.88	0.22	地床炉は中心の0.3mほどがよく焼けており、炉上面に土器・礫が出土する。柱穴は径0.4m前後で深さ0.4～0.6m。	土器(加曾利E)有孔鑄付土器1、器台6、土製品(土製円盤7)石器(打製石斧9、磨製石斧1、礫器1、石皿1、敲石1)、礫
5次調査	0067 住居	縄文	調査区北側から検出され、住居北東の一部を攪乱されている。壁はほぼ垂直に立ち上がり、周溝は全周する。中央やや北よりに石囲炉が検出される。床面は軟弱で、主柱穴5本が検出された。遺物は住居北西を中心に土器、石棒などが床面から出土する。(旧5次2号住居)	隅丸方形	5.20	5.40	0.42	石囲炉はコの字型に囲まれており、南東方向が開口する。	土器(加曾利E)有孔鑄付土器1、器台5、土製品(土製円盤6)石器(打製石斧11、磨製石斧3、礫器2、磨石1、敲石2、砥石1、石棒1)礫
2次調査	0042 土坑	縄文	調査区南側に検出され、1/2を調査した。主軸は調査区に対して斜めでやや角が張る。壁は垂直に立ち上がる。(旧2次1号土坑)	楕円形	1.30	0.56	0.36	—	土器(加曾利E)
2次調査	0043 土坑	縄文	調査区北側で検出され、調査区外に広がり1/3を調査した。方形を呈し、有段となる。(旧2次2号土坑)	方形	1.58	0.42	0.10	—	遺物無
2次調査	0044 土坑	縄文	調査区南側で検出され、調査区外に広がり1/4を調査した。底面にくぼみを有する。(旧2次3号土坑)	楕円形	2.74	1.12	0.24	—	遺物無
2次調査	0045 土坑	縄文	断面は血状を呈する。壁はなだらかに立ち上がる。(旧2次4号土坑)	楕円形	1.50	0.92	0.24	—	遺物無
2次調査	0046 土坑	縄文	1/2を調査。(旧2次5号土坑)	方形	2.15	1.14	0.23	—	遺物無
2次調査	0047 土坑	近世	1/2を調査。(旧2次6号土坑)	楕円形	3.22	0.60	0.51	—	遺物無
2次調査	0048 土坑	近世	50号住居の東3mに位置する。断面は血状を呈す(旧2次7号土坑)	楕円形	1.48	1.08	0.50	—	遺物無
2次調査	0049 土坑	縄文	1/2を調査。楕円形を呈しており、南東部分に0.7mの張り出しを残す(旧2次8号土坑)	楕円形	1.36	0.42	0.28	—	遺物無
2次調査	0050 土坑	縄文	方形を呈し、断面形は血状を呈する。覆土内から大型破片が出土。(旧2次9号土坑)	楕円形	1.08	0.96	0.24	—	土器(加曾利E)
3次調査	0051 土坑	縄文	調査区北東から検出され、北側に広がり、1/2を調査した。西壁がやや袋状となる(旧3次1号土坑)	円形	1.60	0.95	0.42	—	遺物無
3次調査	0052 土坑	縄文	調査区北東に位置する。3号溝と重複し、断面は逆台形を呈する(旧3次2号土坑)	円形	0.85	0.76	0.30	—	土器(加曾利E)
3次調査	0053 土坑	縄文	調査区南東隅に位置する。(旧3次3号土坑)	楕円形	1.30	1.04	0.28	—	遺物無
3次調査	0054 土坑	縄文	調査区南西に位置し、5号土坑と並ぶ。(旧3次4号土坑)	円形	1.00	0.84	0.20	—	遺物無
3次調査	0055 土坑	縄文	調査区南西に位置し、4号土坑と並ぶ。(旧3次5号土坑)	円形	0.75	0.70	0.18	—	遺物無
3次調査	0056 土坑	縄文	調査区南東に位置する。(旧3次6号土坑)	円形	1.00	0.88	0.13	—	土器(加曾利E)

3次調査	0057 土坑	縄文	調査区南西に位置し、8号土坑と並ぶ。(旧3次7号土坑)	円形	5.00	4.80	0.12	—	遺物無
3次調査	0058 土坑	縄文	調査区南西に位置し、7号土坑と並ぶ。(旧3次8号土坑)	円形	7.20	7.00	0.12	—	遺物無
3次調査	0059 土坑	縄文	調査区南西に位置し、1号埋壘に近接する。(旧3次9号土坑)	円形	1.08	1.00	0.23	—	遺物無
3次調査	0060 土坑	縄文	調査区中央南側に11・14号土坑と並んで検出される。断面は逆台形を呈す(旧3次10号土坑)	楕円形	1.60	1.32	0.49	—	遺物無
3次調査	0061 土坑	縄文	調査区中央南側に11・10号土坑と並んで検出される。断面は血状を呈す(旧3次11号土坑)	楕円形	1.55	1.25	0.13	—	土器(加曾利E)
3次調査	0062 土坑	縄文	調査区西側にあり楕円形の土坑に方形の土坑が重複したような形をする。断面は血状を呈する(旧3次12号土坑)	不整形	1.90	1.00	0.35	—	土器(加曾利E)
3次調査	0063 土坑	縄文	調査区北西に位置し、4号集石と隣接する。楕円形を呈し、断面は血状となる(旧3次13号土坑)	楕円形	1.74	1.00	0.35	—	土器(加曾利E)
3次調査	0064 土坑	縄文	調査区南壁際で検出され、南側に広がり、1/2を調査した。(旧3次14号土坑)	方形	1.40	0.70	0.22	—	土器(加曾利E)
3次調査	0065 土坑	縄文	7号住居を切って検出された。断面は逆台形を呈する。(旧3次15号土坑)	円形	0.78	0.79	0.82	—	土器(加曾利E)
3次調査	0066 土坑	縄文	8号住居の南側に重複する。(旧3次16号土坑)	円形	0.80	0.75	0.20	—	土器(加曾利E)
3次調査	0067 土坑	縄文	調査区西側、住居に囲まれた位置で検出。断面は血状を呈す(旧3次17号土坑)	円形	1.25	1.05	0.13	—	土器(加曾利E)
3次調査	0068 土坑	縄文	調査区北西隅から検出され、19号土坑と並んで検出された。(旧3次18号土坑)	円形	0.90	0.86	0.30	—	土器(加曾利E)
3次調査	0069 土坑	縄文	調査区北西隅から検出され、北側は調査区外に広がり、1/2を調査した。(旧3次19号土坑)	円形	1.35	0.60	0.15	—	土器(加曾利E)
3次調査	0070 土坑	縄文	調査区北西隅から検出され、北側は調査区外に広がり、1/3を調査した。(旧3次20号土坑)	方形	0.14	0.10	0.20	—	遺物無
3次調査	0071 土坑	縄文	6号住居に重複する。断面は血状となる。(旧3次21号土坑)	円形	1.45	1.45	0.33	—	土器(加曾利E)
3次調査	0072 土坑	縄文	4号住居の南に隣接する(旧3次22号土坑)	方形	0.70	0.55	0.17	—	遺物無
3次調査	0073 土坑	近世	調査区西より、8号住居の南壁と重複する。長方形を呈し側縁はやや袋状となっている。覆土にはローム粒を多量含み、覆土から鉄鍋、平瓦片が出土する。(旧3次1号芋穴)	長方形	1.55	0.90	0.45	—	鉄鍋、平瓦片
3次調査	0074 土坑	近世	調査区北側で検出され、調査区外に広がり1/2を調査した。長方形を呈し、中央に柱穴があり有段となる。覆土中からカラカ・古銭が出土する。(旧3次近世土坑)	長方形	2.00	1.00	0.20	—	カラカ・古銭(寛永通宝)14
3次調査	0075 土坑	近世	調査区東より、1号住居の南側に位置する。長方形を呈し、覆土にはローム粒を多量含む。(旧3次2号芋穴)	長方形	2.15	0.80	0.37	—	遺物なし
3次調査	0076 土坑	近世	調査区東より、1号住居の北側に位置する。壁は袋状を呈し、覆土にはローム粒を多量含む。(旧3次3号芋穴)	長方形	1.12	0.70	0.40	—	遺物なし
3次調査	0077 土坑	縄文	調査区ほぼ中央から、浅い谷底から検出される。なだらかな立ち上がりでやや南側が深くなる。(旧4次1号土坑)	円形	1.18	1.32	0.35	—	遺物無
5次調査	0078 土坑	縄文	調査区西側に位置し、円形を呈する。底面東側がやや窪む。黒色土を覆土とし、覆土中に土器石器礫を包含する。(旧5次1号土坑)	円形	1.14	1.24	0.27	—	土器(加曾利E)、石器(打製石斧1)
5次調査	0079 土坑	縄文	67号住居の南西、調査区際から検出。円形を呈し、断面は血状を呈す。遺物は少量。(旧5次2号土坑)	円形	1.00	1.00	0.16	—	土器(加曾利E)
5次調査	0080 土坑	縄文	調査区北端にあり、円形を呈する。(旧5次4号土坑)	円形	1.15	0.85	0.20	—	遺物無
5次調査	0081 土坑	縄文	円形を呈し、黒色土を覆土とする。覆土中に炭化粒を多量に含み、土器石器礫を出土する(旧5次6号土坑)	円形	1.15	1.15	0.30	—	土器(加曾利E)
5次調査	0082 土坑	縄文	1号溝の南で調査区中央に位置する。円形を呈し、血状の断面を呈する。少量の遺物が出土する(旧5次8号土坑)	円形	1.00	1.15	0.20	—	土器(加曾利E)
6次調査	0083 土坑	縄文	埋壘の西4.0mで単独に検出。柱穴状を呈する。(旧6次1号柱穴)	円形	0.40	0.40	0.30	—	なし
2次調査	0005 溝	近世	1号埋壘の東70mの地点から平行した溝が南北方向に検出された。長さ3mを調査し溝間は約2mを測り、断面は台形を呈する(旧2次1号調査区西側の住居群と重複して検出される。明瞭でない同軸の溝が他にも検出されていて、畑の畝と考えられる)	—	—	—	—	—	土器(加曾利E)
3次調査	0006 溝	近世	調査区を東西方向に直線的に横断し、20.7mを調査した。断面は逆三角形を呈する(旧5次1号溝)	—	20.7	0.80	0.60	—	土器(加曾利E)石器(打製石斧1、磨石1)
5次調査	0007 溝	縄文	調査区ほぼ中央で単独に検出された。方形の掘り方の上に618点の破砕礫が集積する(旧3次1号集石)	方形	1.20	1.10	0.20	—	土器(加曾利E)礫
3次調査	0005 集石	縄文	調査区西側で4号住居に近接して検出された。円形の掘り方に179点の破砕礫が集積する(旧3次2号集石)	円形	0.70	0.65	—	—	土器(加曾利E)礫
3次調査	0006 集石	縄文	4号住居と7号住居の間から検出され、0.9mの長さに細長く、9点の礫が分布する(旧3次3号集石)	—	0.90	0.20	—	—	土器(加曾利E)礫
3次調査	0007 集石	縄文	調査区北側で単独に検出された。円形の掘り方に145点の破砕礫が集積する(旧3次4号集石)	円形	0.50	0.40	—	—	土器(加曾利E)石器(打製石斧1、磨石1)礫
3次調査	0008 集石	縄文	調査区で単独に検出された。円形の掘り方に破砕礫21点が集積する(旧3次5号集石)	円形	0.40	0.40	—	—	土器(加曾利E)石器(打製石斧2)礫
3次調査	0009 集石	縄文	調査区で単独に検出された。円形の掘り方に破砕礫18点が集積する(旧3次6号集石)	円形	0.40	0.30	—	—	土器(加曾利E)礫
4次調査	0010 集石	縄文	調査区西側浅い谷の中から検出される。0.1mの範囲から方形に集積したもので、計97点の礫で構成される。(旧4次1号集石)	方形	1.02	1.02	—	—	土器(加曾利E)土製品(土製円盤1)礫
4次調査	0011 集石	縄文	調査区西側浅い谷の中から1号集石に隣接して検出される。径0.5mの範囲に集積したもので、計35点の礫で構成される。下層に炭化粒を多く含む(旧4次2号集石)	円形	0.45	0.50	—	—	土器(加曾利E)礫
4次調査	0012 集石	縄文	調査区南西の浅い谷に位置し、径0.8mの範囲に散漫に分布して検出される。計70点の礫で構成される(旧4次3号集石)	楕円形	0.80	0.80	—	—	土器(加曾利E)礫
4次調査	0013 集石	縄文	調査区ほぼ中央で、T字状の溝に落ち込むように30点の礫が出土する。(旧4次4号集石)	—	2.75	1.70	—	—	土器(加曾利E)石器(打製石斧1、磨石1、敲石1、凹石1)
8次調査	0014 集石	縄文	調査区南側、約0.9mの範囲に30点の礫が散在して検出される。中心径0.3mの範囲に礫が集中する。掘り込みは検出されない。(旧8次1号集石)	楕円形	0.90	0.70	—	—	土器(加曾利E)石器(打製石斧2、凹石2)
8次調査	0015 集石	縄文	調査区ほぼ中央東よりから検出。径0.7mの円形の掘り込みに径0.5mの範囲に大型の礫46点が敷かれている。破砕礫が上面から出土する(旧8次2号集石)	円形	0.70	0.70	0.15	—	円形で、断面血状を呈する掘り込みあり
2次調査	0001 包含層	縄文	調査区全体から土器・石器・礫が出土	—	—	—	—	—	土器(勝坂、加曾利E、堀ノ内、有孔鐔付土器1、安行)石器(打製石斧7、砥石1、石錐1)礫
3次調査	0001 包含層	縄文	調査区全体から土器・石器・礫が出土	—	—	—	—	—	土器(勝坂、加曾利E、堀ノ内)、石器(石鏃)、礫
4次調査	0001 包含層	縄文	調査区全体から土器・石器・礫が出土	—	—	—	—	—	土器(加曾利E、器台1)土製品(土製円盤6)石器(打製石斧27、磨製石斧1、礫器1、磨石1、石皿1、凹石1)礫
5次調査	0001 包含層	縄文	調査区全体から土器・石器・礫が出土	—	—	—	—	—	土器(加曾利E)土製品(土製円盤6)石器(打製石斧9、磨製石斧1、礫器1、石皿1、砥石1)礫
6次調査	0001 包含層	縄文	調査区全体から土器・石器・礫が出土	—	—	—	—	—	土器(縄文中期)、礫
8次調査	0001 包含層	縄文	調査区全体から土器・石器・礫が出土	—	—	—	—	—	土器(諸磯b、加曾利E、)石器(石鏃3、磨製石斧1)礫
2次調査	0001 埋壘	縄文	51号住居の12m東に位置し、断面血状を呈する円形の土坑内に深鉢の胴部下半が埋設される。(旧2次1号埋壘)	円形	0.82	0.78	—	—	土器(加曾利E)
3次調査	0002 埋壘	縄文	調査区東で1号住居の東5mで単独で検出された。胴部上半の大型の深鉢が逆位にやや傾いて埋設されていた。掘り方は不明瞭である。(旧3次1号埋壘)	円形	4.80	4.80	0.23	—	土器(加曾利)
6次調査	0003 埋壘	縄文	調査区南側に単独で検出された。深鉢上半部が上から押しつぶされた状態で検出された(旧6次埋壘)	円形	0.30	0.25	0.30	—	円形の掘り込みあり
2次調査	0001 風倒木	不明	4号土坑に近接して検出。調査区中央に位置しており、両端は調査区外に広がる。	楕円形	1.62	1.10	0.30	—	土器(加曾利E)



沢口遺跡

長在家上遺跡

亥ノ堀遺跡

舟山遺跡

上本田遺跡

遺跡の位置と主な縄文中期の遺跡



試掘調査区 (1991.2)

1次調査区

3次調査区

4次調査区

6次調査区

5次調査区

上本田

渡辺石英硝子

上 本 田

2 次調査区

8 次調査区

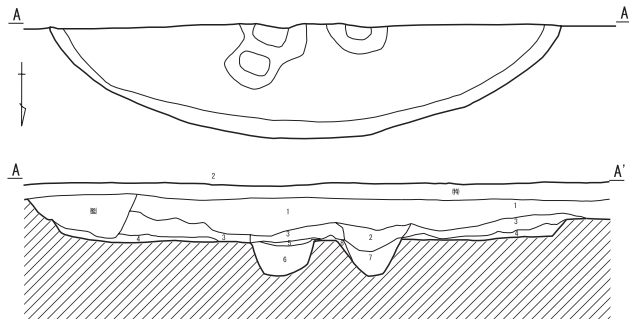
川 本 南 小 学 校

調査区 (1991.6)

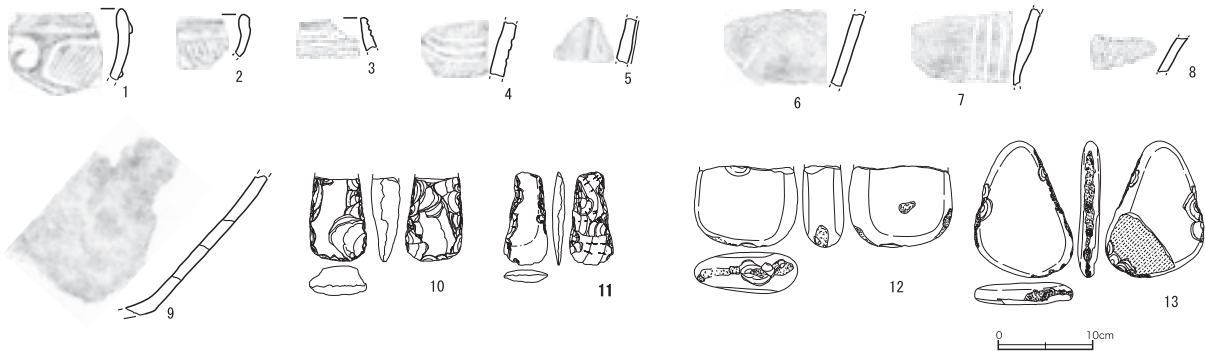
試掘調査区 (2006.3)

試掘調査区 (1989.)

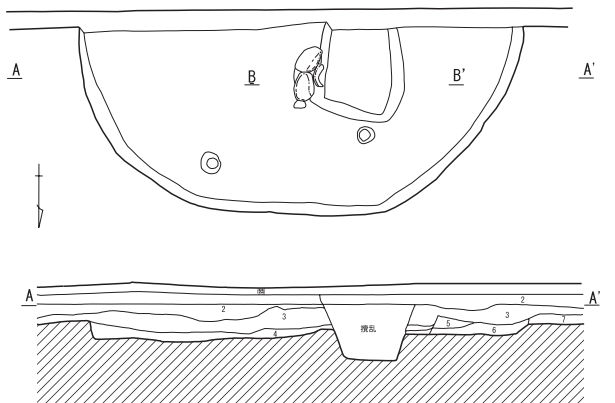
49号住居 00001



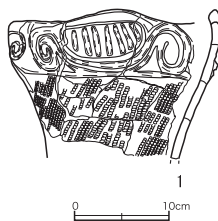
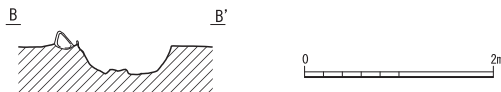
- A-A'
- | | | |
|-----|------|-----------------------------------|
| 第8層 | 砂利層 | |
| 第7層 | 褐色土層 | |
| 第6層 | 褐色土層 | わずかにローム質土を含む。しまり良好・粘性有 |
| 第5層 | 褐色土層 | 径5mm次のロームブロックを含む。しまり良好・粘性有 |
| 第4層 | 褐色土層 | 褐色土とローム質土の混在層。しまり良好・粘性有 |
| 第3層 | 褐色土層 | ローム質土層。しまり良好・粘性有 |
| 第2層 | 褐色土層 | 径1cm次のロームブロックを密に含む。しまり良好・粘性有 |
| 第1層 | 褐色土層 | 径1cm次のロームブロックを多数に含む。しまり良好・粘性有 |
| 第0層 | 褐色土層 | 径5mm次のローム粒わずかに含む。ローム質土層。しまり良好・粘性有 |

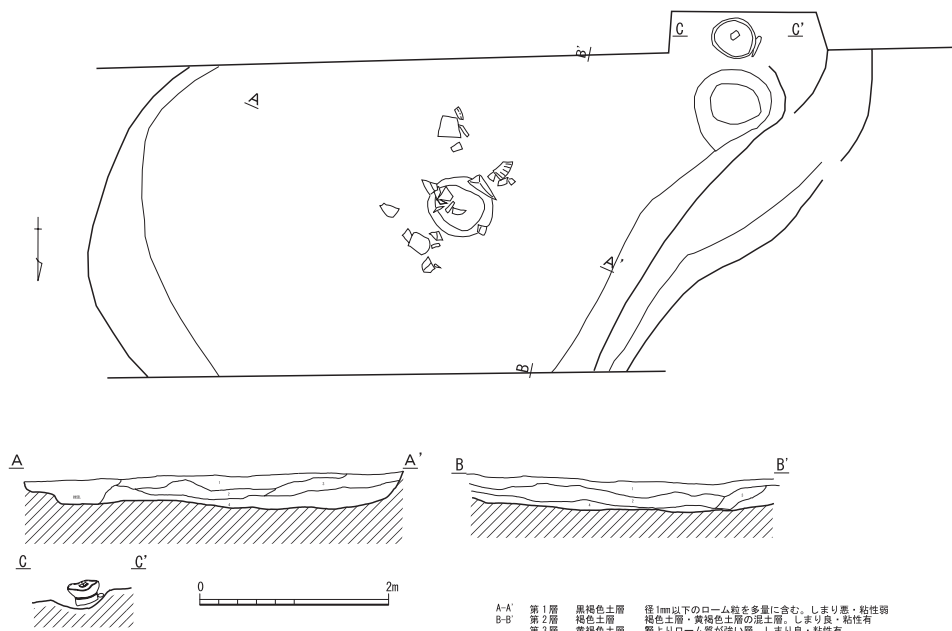


50号住居 00002

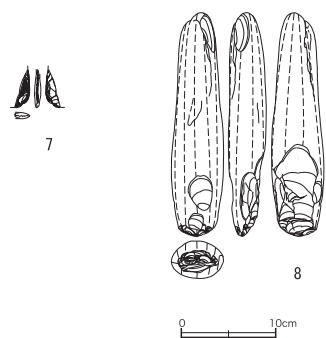
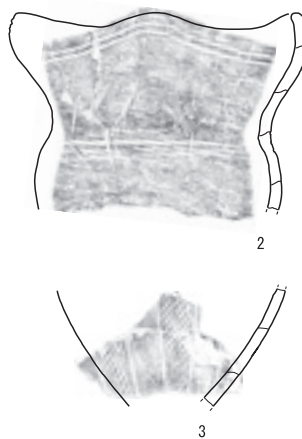
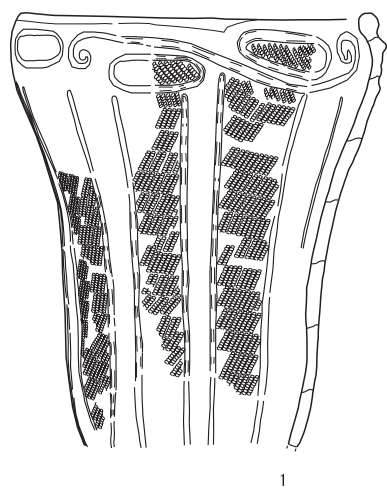


- A-A'
- | | | |
|-----|------|-------------------|
| 第1層 | 砂利層 | |
| 第2層 | 褐色土層 | しまり無 |
| 第3層 | 褐色土層 | 径1mm以下のローム粒を微量に含む |
| 第4層 | 褐色土層 | ローム質土。粘性有 |
| 第5層 | 褐色土層 | 6層より黒味の強い層 |
| 第6層 | 褐色土層 | ローム質土 |
| 第7層 | 褐色土層 | ローム層への漸移層 |

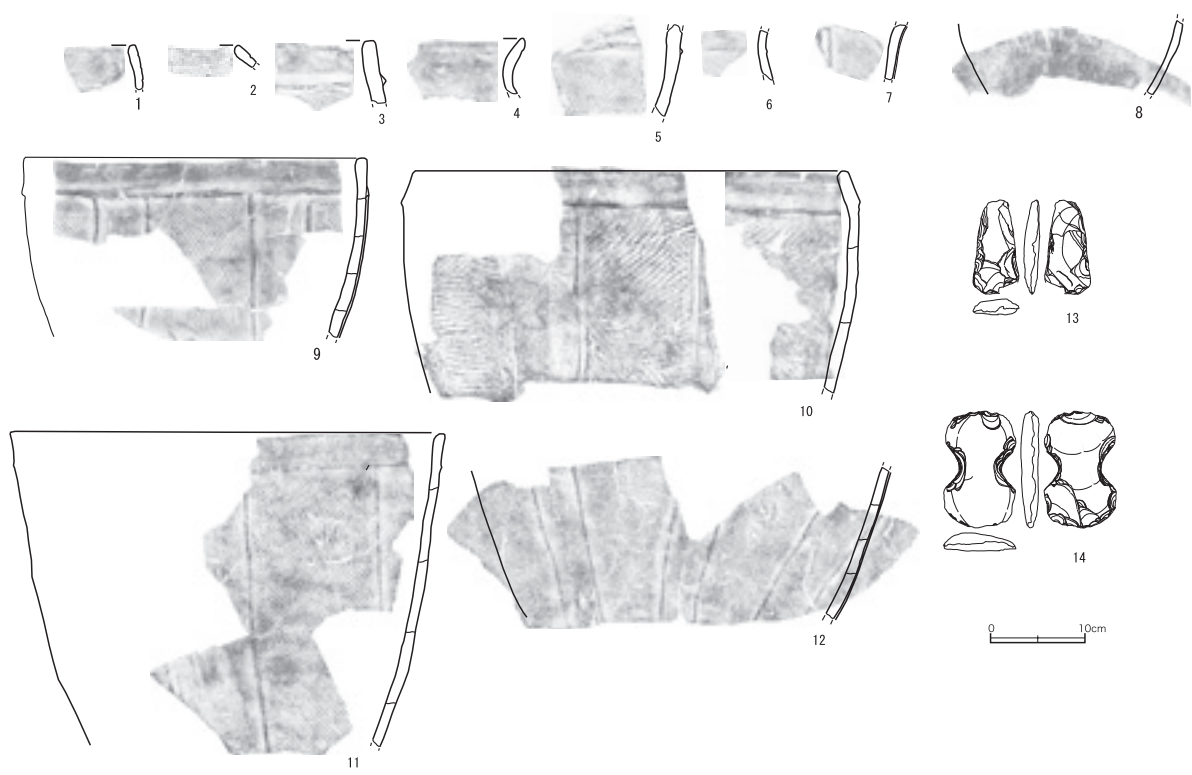
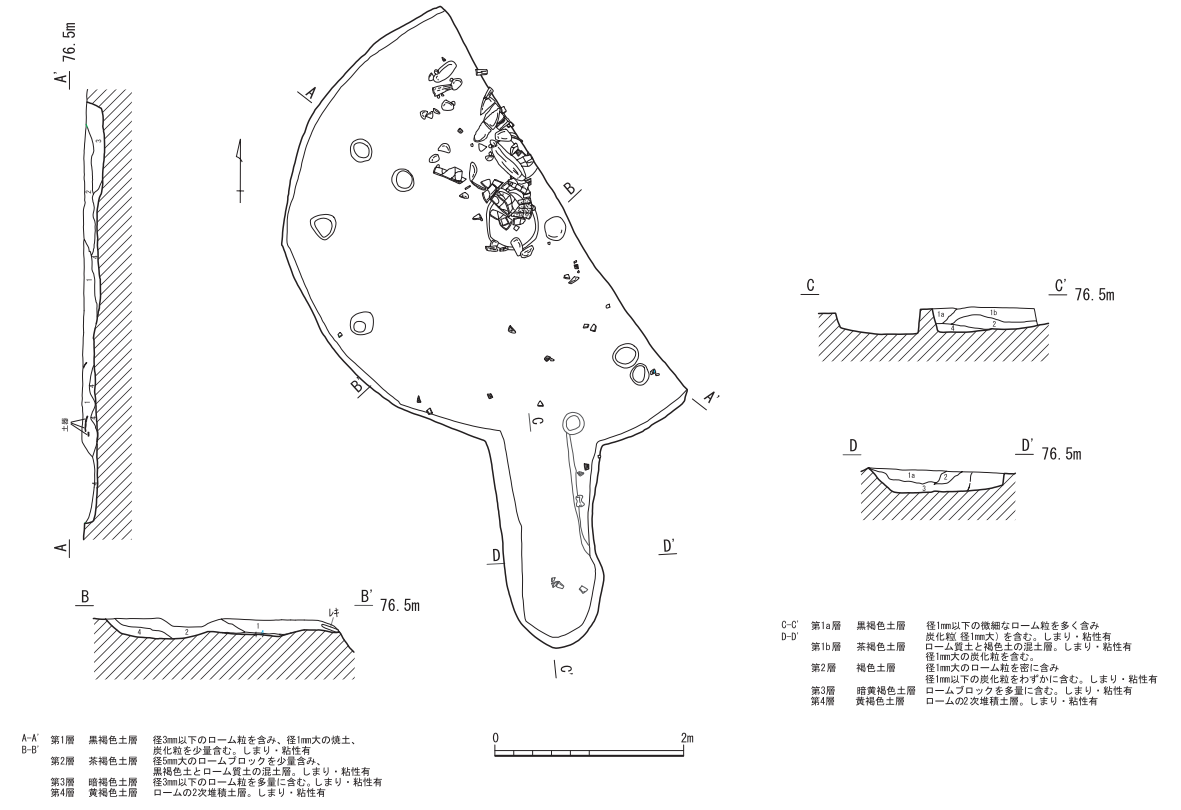


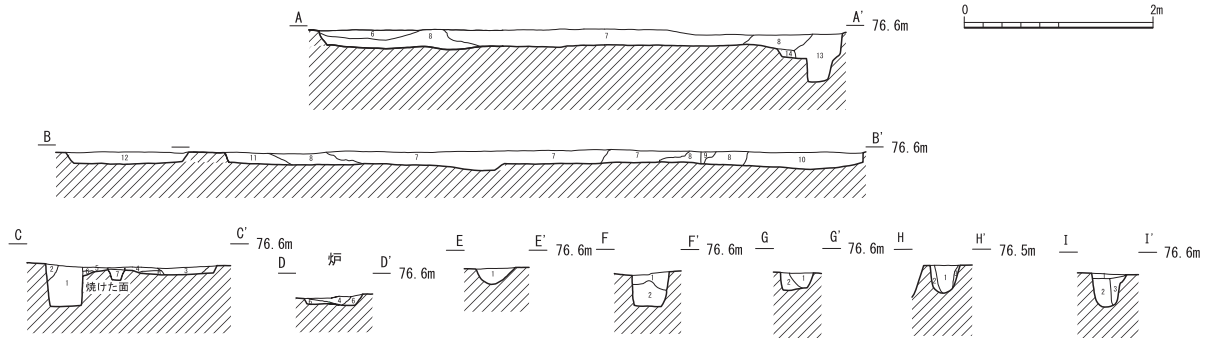
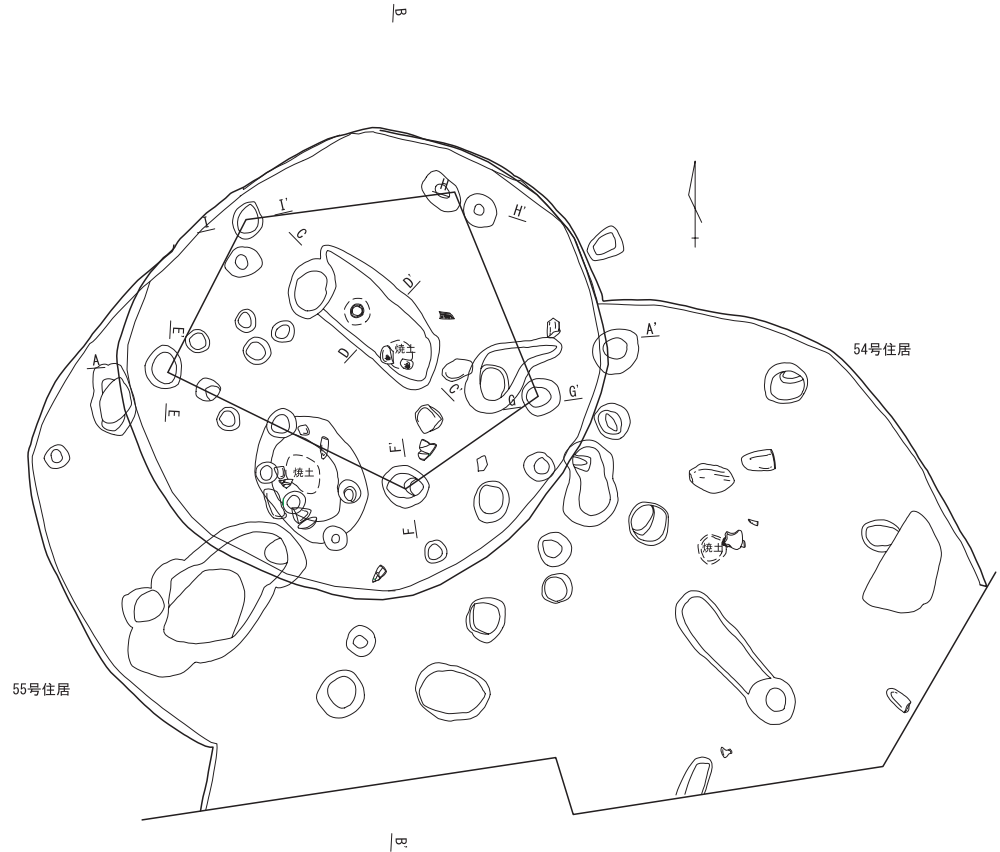


A-A'	第1層	黒褐色土層	径1mm以下のローム粒を多量に含む。しまり悪・粘性弱
B-B'	第2層	褐色土層	褐色土層・黄褐色土層の交互層。しまり良・粘性弱
	第3層	黄褐色土層	層よりローム質が強い層。しまり良・粘性有
	第4層	黄褐色土層	ローム質土。粘性強



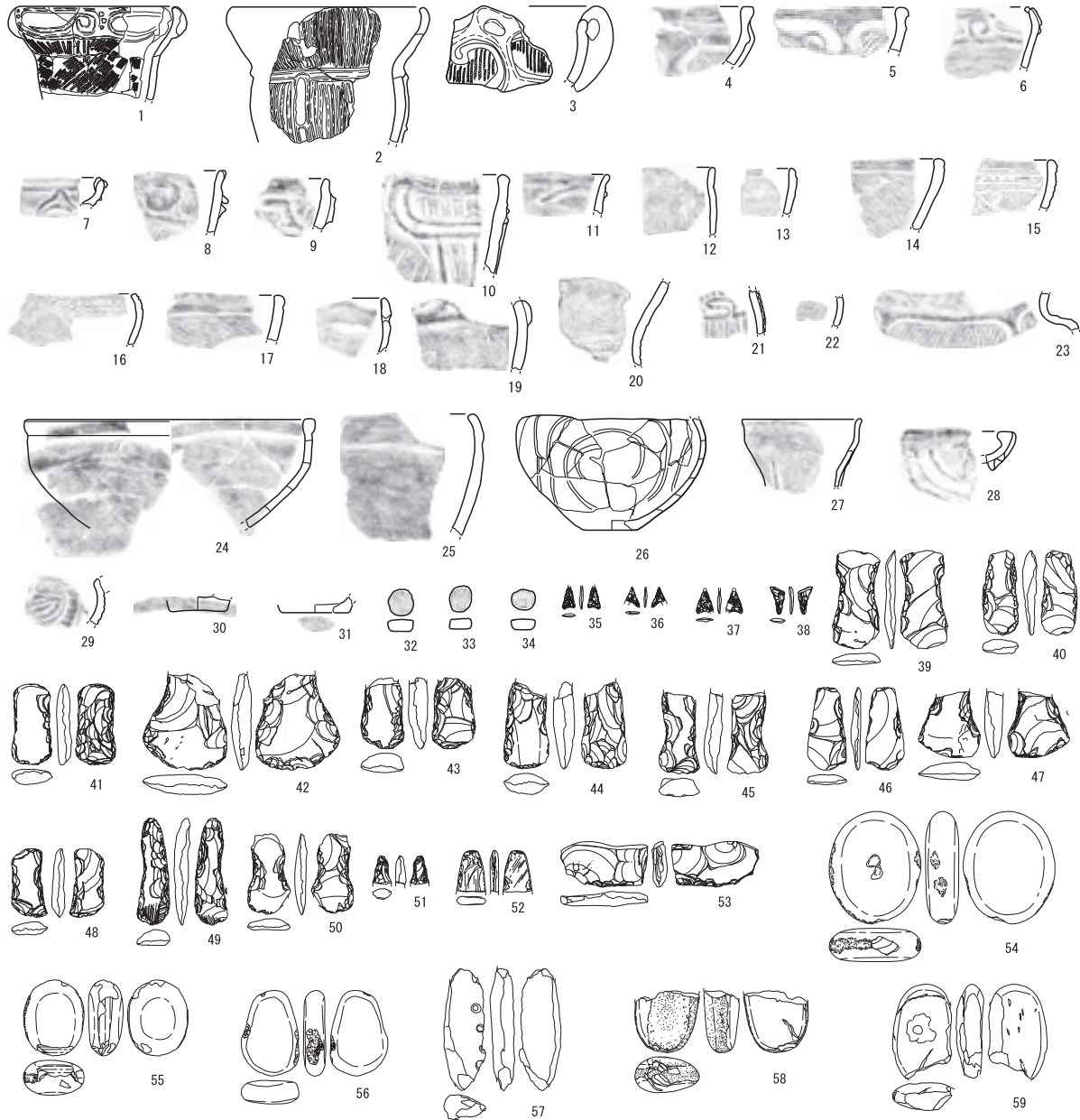
52号住居 00004



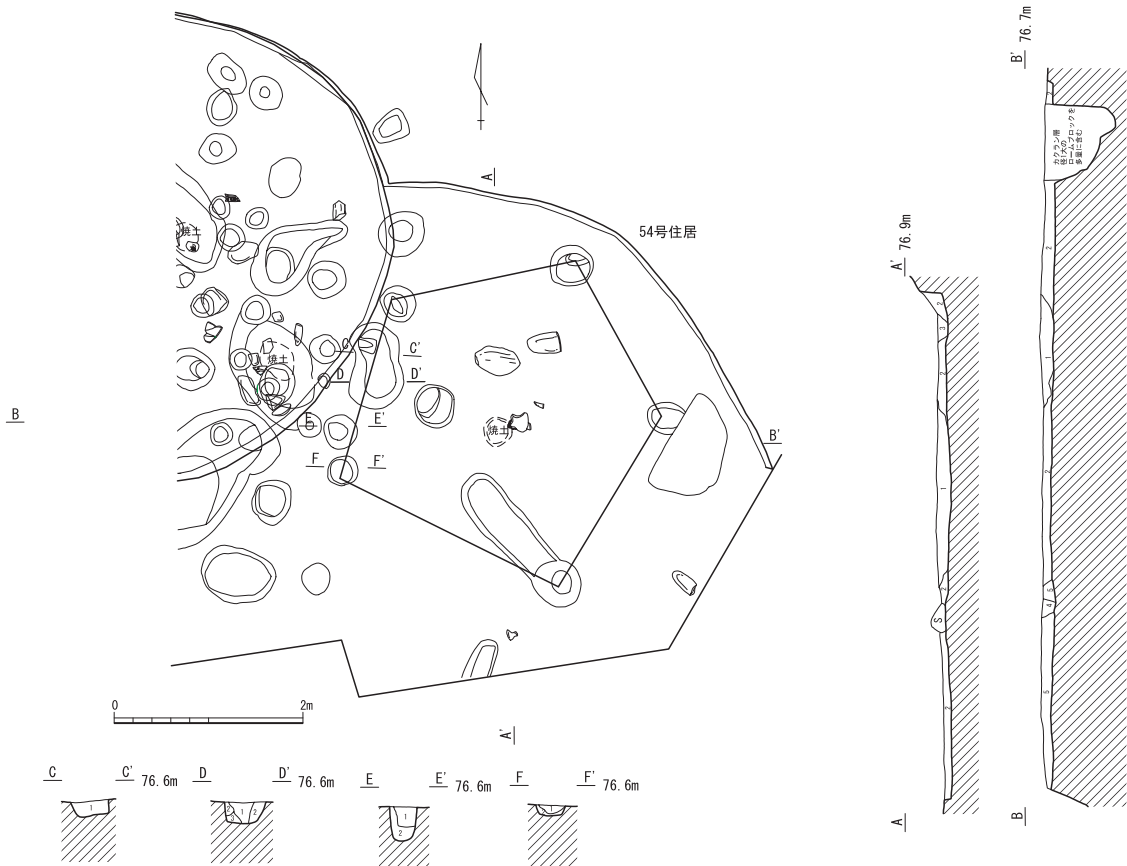


A-A'	第1層	カクラン	しまり無
B-B'	第2層	褐色土層	砂質土
	第3層	暗褐色土層	炭化材を多量に含む。53号性西カクラン
	第4層	黒褐色土層	ロームブロックを含む
	第5層	褐色土層	1層の下層
	第6層	黒褐色土層	白色粒・炭化粒を多く含む。3層の覆土。しまり良好
	第7層	黒褐色土層	径1大のローム粒・径1大の炭化粒を含む。しまり良好
	第8層	茶褐色土層	ローム質土と黒色の混土層。わずかにローム粒を含む
	第9層	褐色土層	しまり粘性良好
	第10層	茶褐色土層	ローム粒を含み、土器が出土する
	第11層	茶褐色土層	ロームと黒色の混土層。しまり良好
	第12層	褐色土層	北側住居の礎土
	第13層	灰褐色土層	ローム粒を多量に含む
	第14層	黄褐色土層	地山ローム層
C-C'	第1層	黄褐色土層	径1mm大のローム粒を密に含み、20mm大のブロックを含む。
D-D'	第2層	黄褐色土層	径1mm大の炭化粒を含む。
	第3層	黄褐色土層	ロームの2次堆積層。
	第4層	褐色土層	径1mm大のローム粒を多く含む。しまり・粘性無
	第5層	黒褐色土層	炭化・焼土粒をわずかに含む。
	第6層	褐色土層	ローム粒を密に含み、焼土粒をわずかに含む。しまり良好・粘性有
	第7層	黒褐色土層	ローム粒・炭化粒を多量に含む。しまり・粘性良好
	第8層	黄褐色土層	ロームの二次堆積層。しまり・粘性良好
	第9層	黒褐色土層	ローム粒(径1mm)を含む。しまり・粘性良好 底面よりに焼土ブロックを含む。
E-E'	第1層	褐色土層	径1mm大のローム粒を多く含む。炭化粒をわずかに含む。しまり・粘性良好
F-F'	第1層	灰褐色土層	褐色土とローム土の混土層。しまり・粘性良好
	第2層	黒色土層	径1mm大のローム粒を多く含む。焼土粒をわずかに含む。しまり・粘性良好
	第3層	黒色土層	しみじみローム質土が露出する。
G-G'	第1層	褐色土層	径1mm大のローム粒を含む。しまり・粘性良好
	第2層	黄褐色土層	ロームブロックを密に含む
H-H'	第1層	褐色土層	褐色土と黄色土の混土層。しまり・粘性良
	第2層	茶褐色土層	ローム粒を含む。しまり無・粘性良好
	第3層	黄褐色土層	ローム粒を多量に含む。しまり無・粘性有
G-G'	第1層	暗褐色土層	褐色土と黄色土の混土層
	第2層	褐色土層	径2mm以下のローム粒を含む。炭化粒をわずかに含む。しまり・粘性良好
	第3層	茶褐色土層	径5mm大のロームブロックを含む。しまり良・粘性有

53号住居 00005

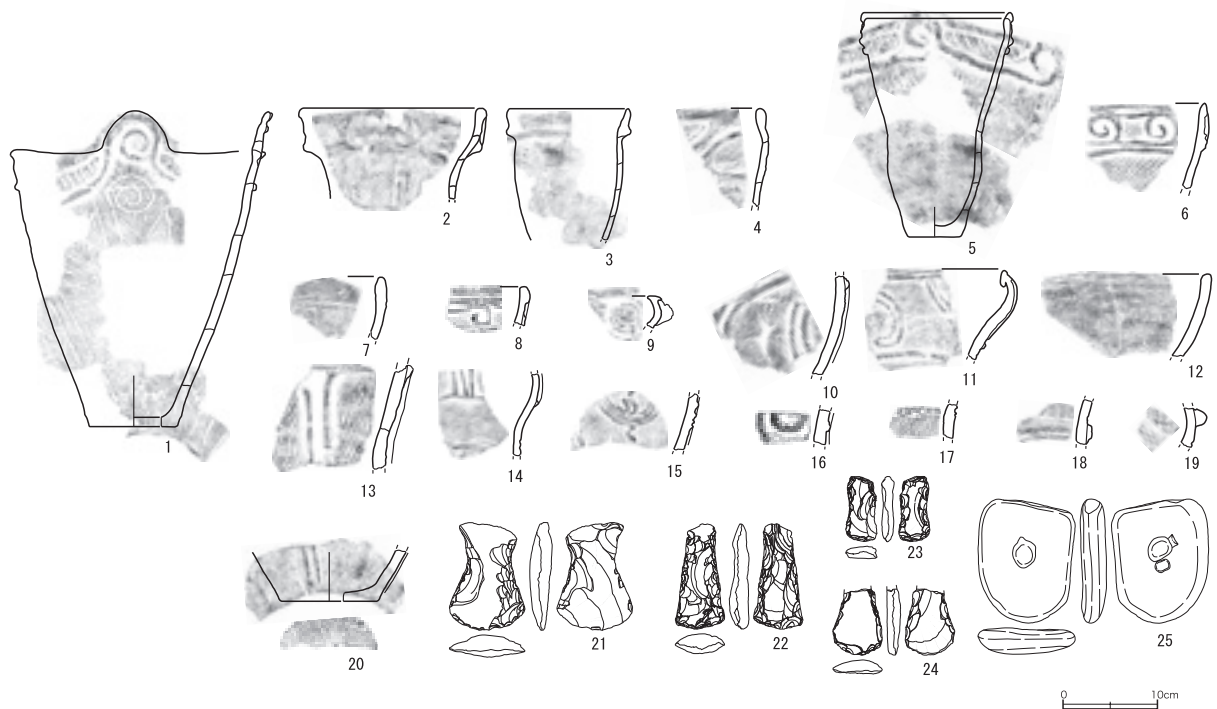


54号住居 00006

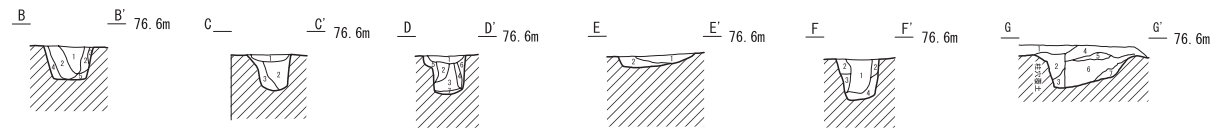
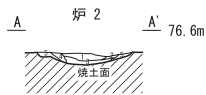
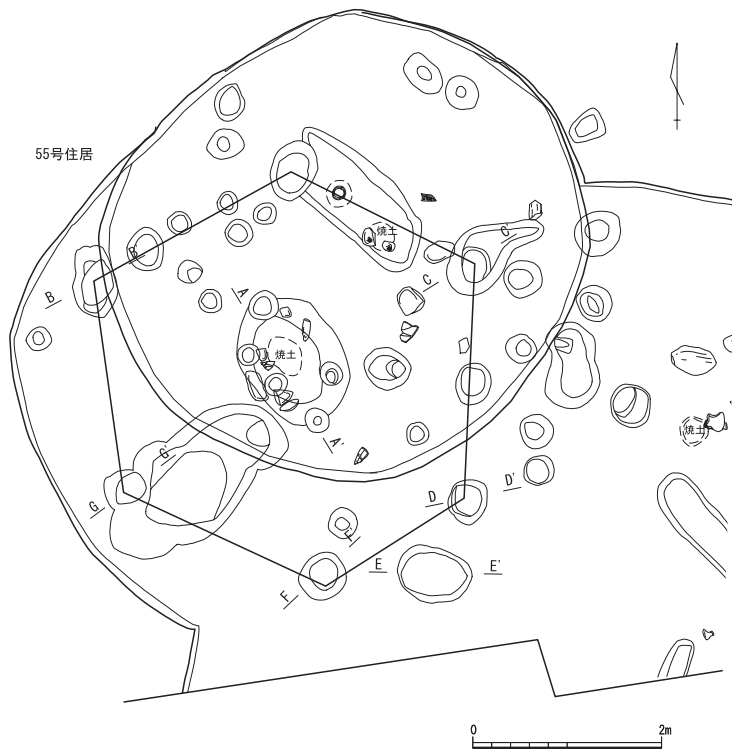


C-C' 第1層 褐色土層 ローム質土層。しまり・粘性良好
 D-D' 第1層 黒褐色土層 径1~2m次のローム粒を多く含む。しまり・粘性良好
 第2層 茶褐色土層 径2~3m次のロームを密に含む。しまり・粘性良好
 第3層 黄褐色土層 ロームブロックを含む
 E-E' 第1層 茶褐色土層 ロームと褐色土の混土層。炭化粒を含む。しまり・粘性良好
 第2層 褐色土層 径2m以下のローム粒を多含む。しまり・粘性無
 F-F' 第1層 黒褐色土層 径1m以下のローム粒を含む。しまり・粘性無
 第2層 褐色土層 ローム粒を含む。しまり・粘性良好

A-A' 第1層 黒褐色土層 径1次のローム粒を多量に含む。しまり・粘性良
 B-B' 第2層 茶褐色土層 褐色土とローム土の混土層。ロームブロックを含む。しまり・粘性良
 第3層 黒褐色土層 ローム粒を含む。しまり・粘性良
 第4層 褐色土層 ローム粒をわずかに含む。しまり・粘性無
 第5層 暗褐色土層 ロームと褐色土の混土層 (11号住居土)



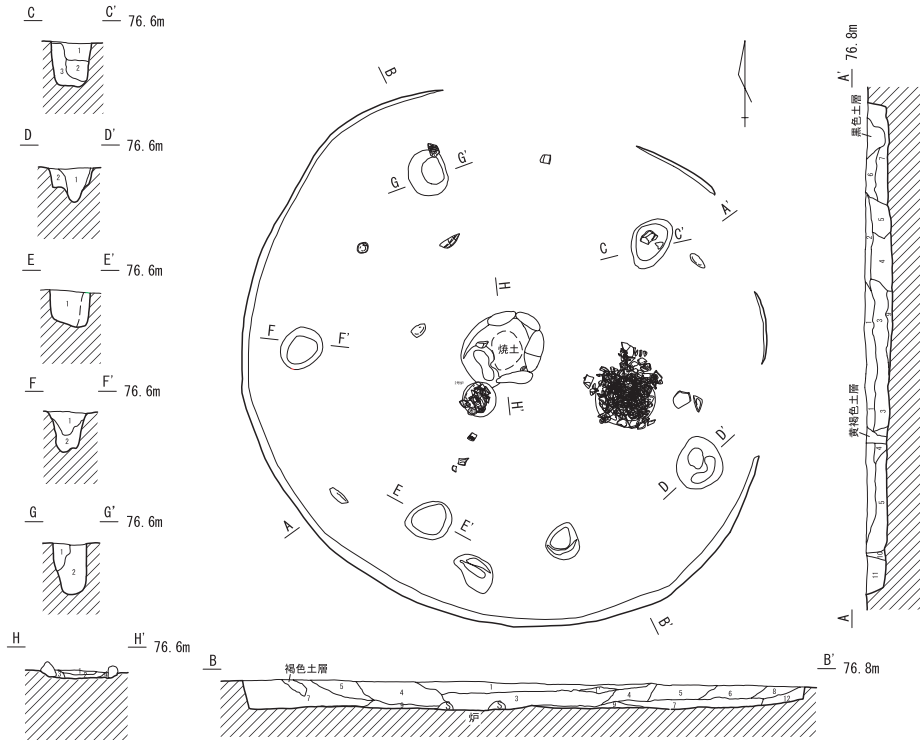
55号住居 00007



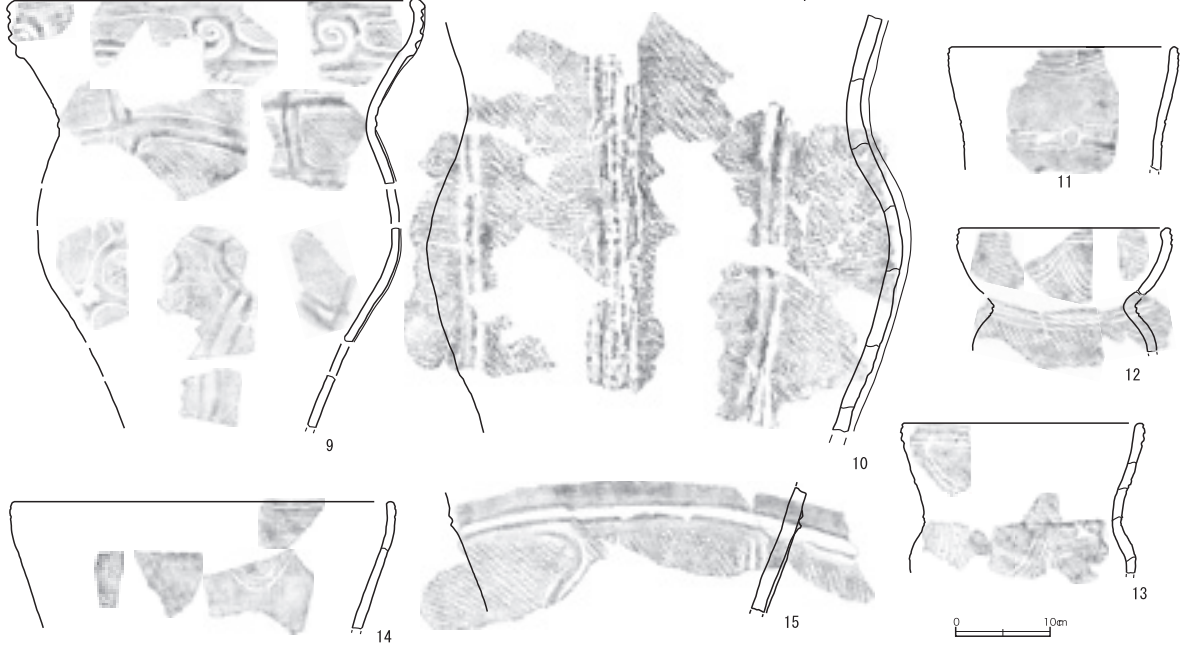
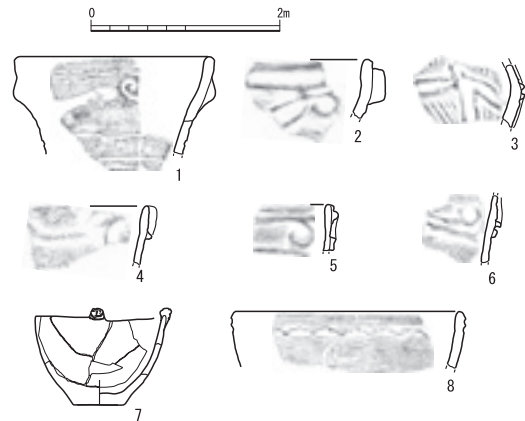
- A-A' 炉
 第1層 黒褐色土層 径1? 2m大の焼土粒を多く含み、径1mm以下のローム粒を多量に含む。しまり・粘性良好
 第2層 茶褐色土層 径1mm以下のローム粒を少量含む。しまり・粘性良好
 第3層 褐色土層 径1? 3m大の焼土粒を多量に含む。径1mm大のローム粒を含む。しまり・粘性良好
 第4層 茶褐色土層 径1mm以下のローム粒を多く含み、径1mm大の焼土粒を少量含む。しまり・粘性良好
 第5層 黒褐色土層 ローム粒を多量に含む。しまり無・粘性有
- B-B'
 第1層 黒褐色土層 径1mm大のローム粒、径2mm大の炭化粒を多く含み径2mm大の焼土粒をわずかに含む。しまり・粘性良好
 第2層 茶褐色土層 径1mm大のローム粒を多く含み、径2mm大の焼土粒をわずかに含む。しまり・粘性良好
 第3層 褐色土層 径1mm大のローム粒を多く含む。しまり・粘性良好
 第4層 黄褐色土層 ロームブロックを多量に含む。しまり・粘性良好
 第5層 黄褐色土層 ローム質土。しまり・粘性有
- C-C'
 第1層 黒褐色土層 径1mm大のローム粒を多量に含む。しまり・粘性良好
 第2層 黒褐色土層 径1? 2m大のローム粒を密に含む。しまり・粘性良好
 第3層 茶褐色土層 径1mm大、5mm大のロームブロックを多量に含む。
- D-D'
 第1層 褐色土層 径1mm以下のローム粒をわずかに含む。しまり無
 第2層 黒褐色土層 褐色土と黒色土の混土層。径1? 2m大のローム粒を含む。しまり・粘性良
 第3層 黒色土層 径1mm大のローム粒を密に含む。径1mm大の焼土粒をわずかに含む。しまり・粘性良好
 第4層 黒褐色土層 径1? 2m大のローム粒を含む
 第5層 黄褐色土層 ロームの2次堆積土質土
 第6層 茶褐色土層 径1? 3m大のローム粒を多く含む。しまり・粘性無
 第7層 褐色土層 径1mm大、5mm大のロームブロックを多量に含む
- E-E'
 第1層 茶褐色土層 白色粒をわずかに含む。しまり・粘性良好
 第2層 褐色土層 径1mm大のローム粒をわずかに含む。しまり・粘性良好
- F-F'
 第1層 黒色土層 径1? 5m以下のローム粒・ブロックを含む。しまり・粘性良好
 第2層 褐色土層 径3? 4m大のローム粒を含む。しまり・粘性良好
 第3層 黒褐色土層 径3mm大のローム粒を含む。しまり・粘性有
 第4層 黒褐色土層 径5mm大のロームブロックを多量に含む。しまり・粘性良好
- G-G'
 第1層 褐色土層 黒色土と褐色土の混土層。しまり良好
 白色粒、焼土粒を含む
 第2層 茶褐色土層 黒色土が混在する。しまり良好
 ローム粒、白色粒を多く含む
 第3層 黄褐色土層 白色粒を含む堅塊状層
 第4層 茶褐色土層 径1mm大のローム粒を含む
 第5層 黒褐色土層 径1mm以下の白色粒を多く含む
 第6層 黒色土層 径1mm以下のローム、白色粒を密に含む。しまり良・堅塊
 第7層 黒褐色土層 径2? 3m大のロームブロックを含む。しまり・粘性有



56号住居 00008



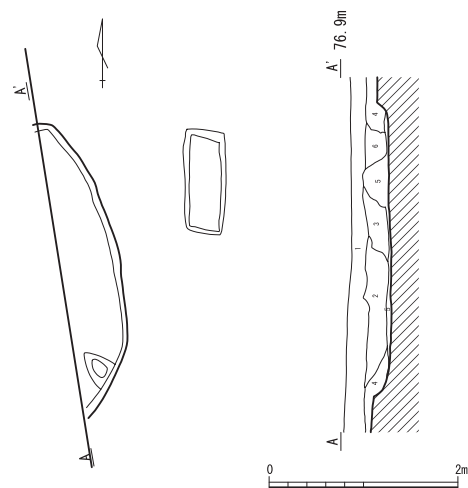
- | | | | |
|------|------|--------|---|
| A-A' | 第1層 | 黒褐色土層 | 径1mm次の炭化粒を少量含む。しまり悪、粘性無し |
| A-A' | 第2層 | 茶褐色土層 | 白色粒を多量に含む。しまり悪、粘性無し |
| | 第3層 | 黒色土層 | 径1~3mm次の炭化粒を多量に含む。径1~3mm次の黄色粒を含む。しまり良、粘性無し 腐植土層 |
| B-B' | 第4層 | 黒褐色土層 | 褐色土と黒色の混土層。径3mm以下の炭化粒を多量に含む。しまり良、粘性無し |
| | 第5層 | 茶褐色土層 | 径2mm以下の炭化粒を多く含む。4層より明るい。しまり良、粘性無し |
| B-B' | 第6層 | 茶褐色土層 | 白色粒を多量に含む。しまり悪、粘性無し |
| | 第7層 | 黒茶褐色土層 | 微少な炭化粒、白色粒を含む。しまり良、有粘性無し |
| B-B' | 第8層 | 茶褐色土層 | 径1mm次のローム粒、白色粒を多量に含む。しまり有、粘性無し |
| | 第9層 | 黄褐色土層 | 径3mm次のロームブロックを含む。しまり良、粘性有 |
| B-B' | 第10層 | 黒褐色土層 | ローム粒(1mm大)を含む。しまり悪、粘性有 |
| | 第11層 | 黒色土層 | 黄色土と黒色の混土層。しまり良、粘性有 |
| B-B' | 第12層 | 黄褐色土層 | 地山のローム層 |
| | C-C' | 第1層 | 茶褐色 |
| C-C' | 第2層 | 黒褐色 | ロームブロックを多量に含む。 |
| | 第3層 | 黄褐色 | ロームの2次増殖土。 |
| D-D' | 第1層 | 黒褐色土層 | ロームブロックを多量に含む層。しまり良好 |
| | 第2層 | 黄褐色土層 | ロームブロックを多量に含む層。しまり良好 |
| E-E' | 第1層 | 褐色土層 | 褐色土とローム土の混土層。しまり粘性良好 |
| F-F' | 第1層 | 黒褐色 | 径1mm以下の白色粒を密に含む。 |
| | 第2層 | 暗茶褐色 | 径5mm次のロームブロックを含む。 |
| G-G' | 第1層 | 黄褐色土層 | 径1mm以下のローム粒を多量に含む。しまり良 |
| | 第2層 | 暗茶褐色土層 | 径1cm次のロームブロックを多く含む。しまり良 |
| H-H' | 第1層 | 黒色土層 | 径1m次のローム粒を多く含む。しまり粘性良好。焼土粒を(1mm大)を少量含む。 |
| | 第2層 | 褐色土層 | 径1~3mm次の焼土粒を多量に含む。しまり粘性良好 |
| | 第3層 | 茶褐色土層 | 径1mm次のローム粒を多く含む。しまり粘性良 焼土粒を少量含む。 |
| | 第4層 | 茶褐色土層 | 2mm次のロームブロックを多く含む。しまり粘性良 |



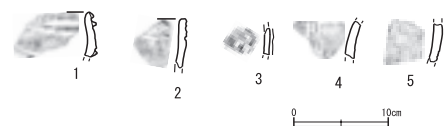
56号住居 00008



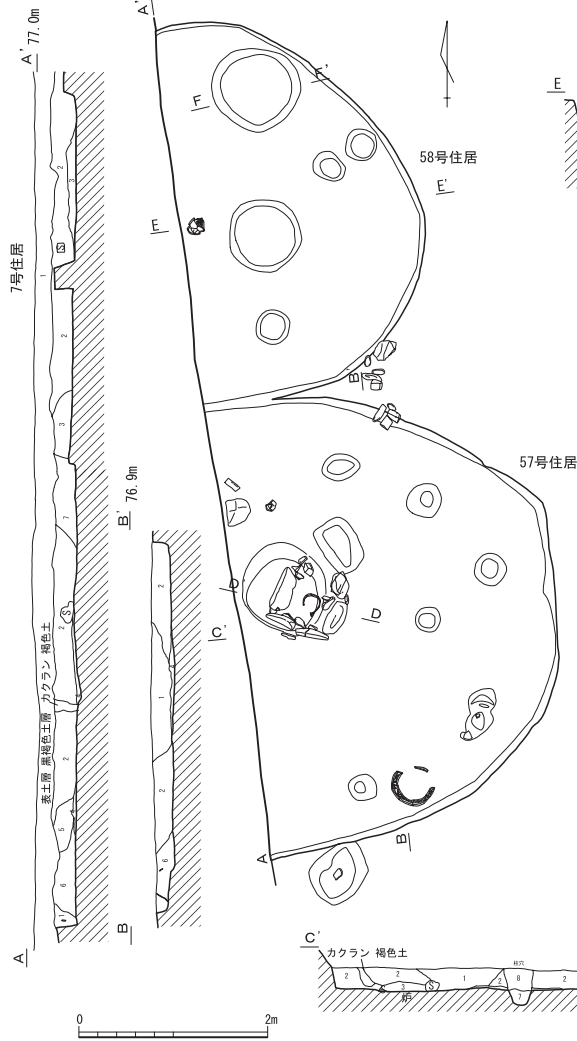
63号住居 00009



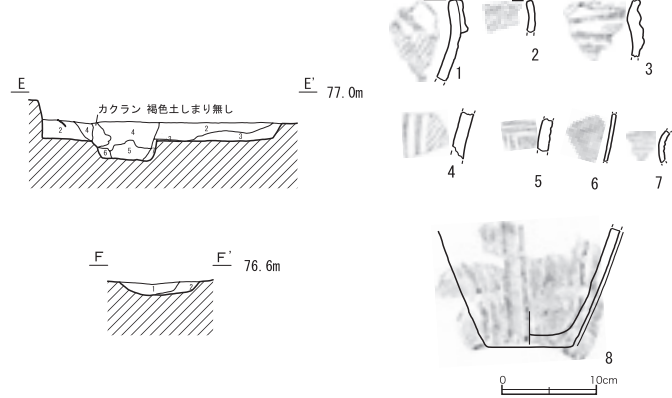
A-A' 第1層 黒色土層 表土層。しまり無
 第2層 黒褐色土層 径1mm次のローム粒を含み、焼土粒を含む。しまり・粘性良好
 第3層 暗褐色土層 黒色土と褐色土の混土層。しまり・粘性良好
 第4層 茶褐色土層 径2~3mm次のローム粒を多く含む。しまり・粘性良好
 第5層 黄褐色土層 径1~2mm次のローム粒を多量に含む。しまり・粘性良好



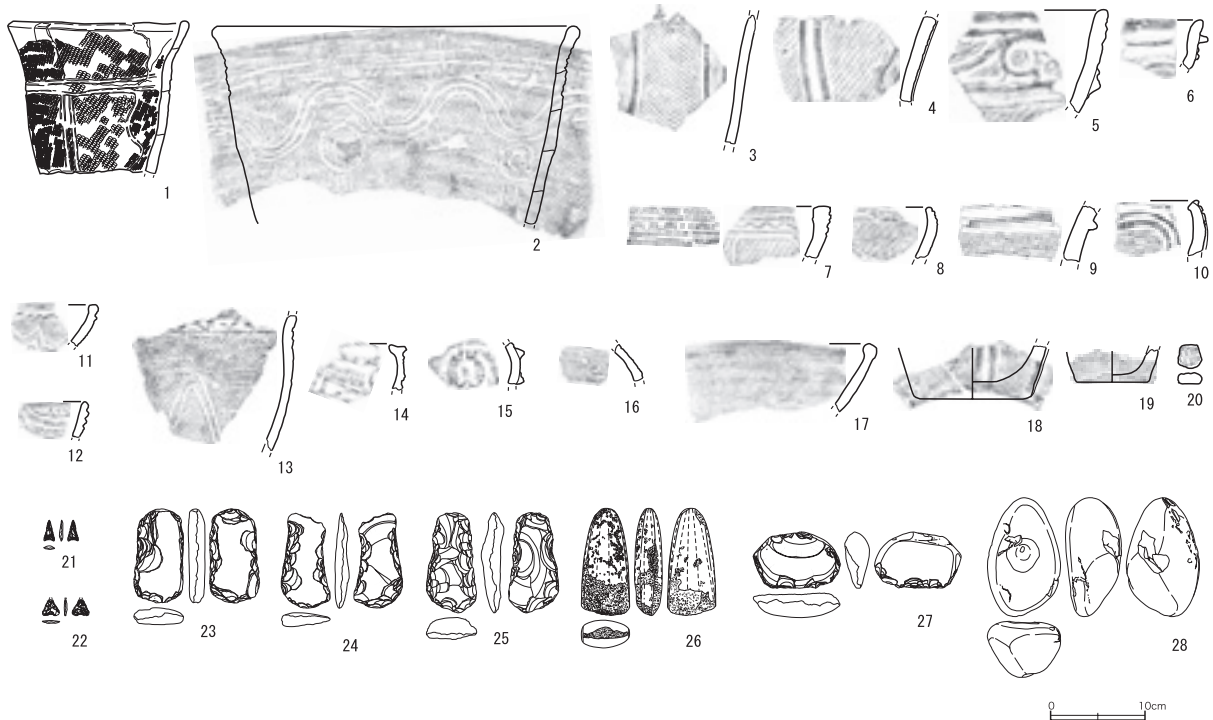
57号住居 00010

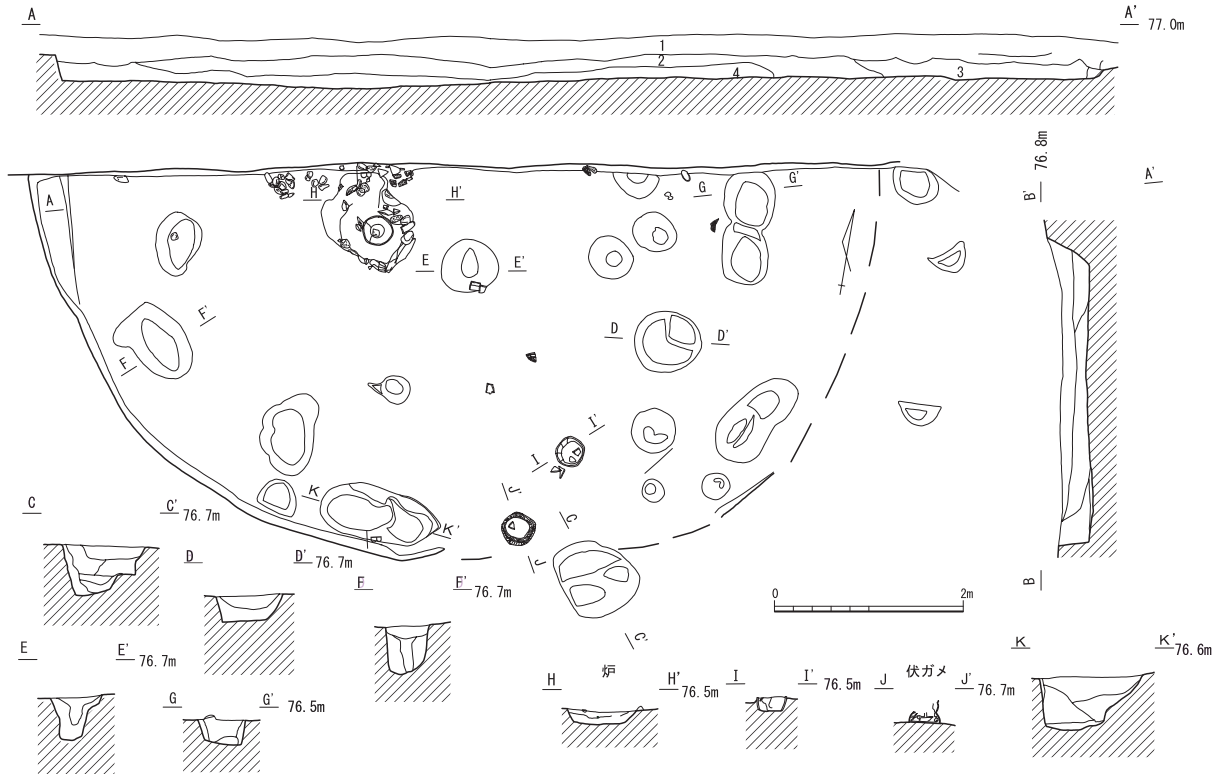


58号住居 00011

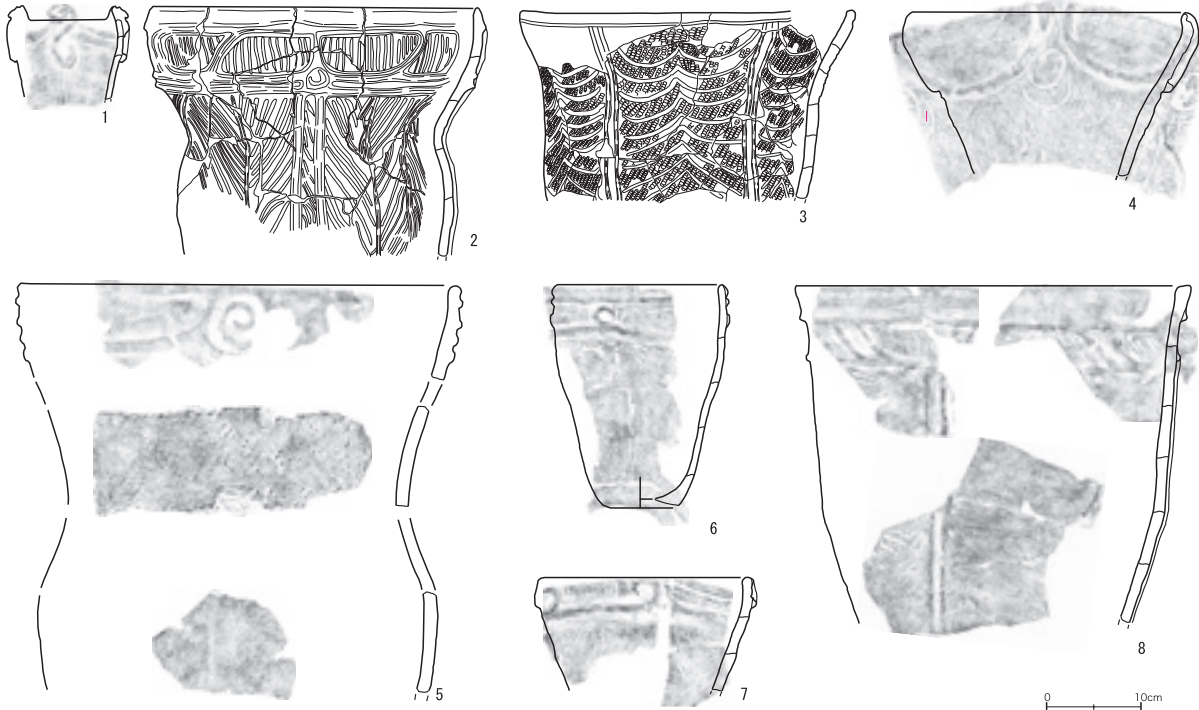


- A-A' 第1層 黒褐色土層 黒色土と黄色土の混土層。炭化粒をわずかに含む。しまり粘性良好
- B-B' 第2層 褐色土層 第1層より黄色土の混入が多い。炭化粒をごくわずかに含む。1cm次のロームブロック
- C-C' 第3層 黒褐色土層 径2~3mmの炭化粒を多く含む。粘土粒も含む。しまり良好粘性有
- 第4層 黄褐色土層 ロームブロックを多量に含む。しまり良好粘性有
- 第5層 黒褐色土層 黒褐色土と黄褐色土の混土層。1mm以下のローム粒を多く含む。しまり粘性良好
- 第6層 褐色土層 褐色土と黄色土の混土層。しまり粘性良好
- 第7層 黄褐色土層 地山のローム層
- 第8層 黒色土層 黒色土と褐色の混土層。炭化粒をわずかに含む。しまり粘性良好
- 第9層 黄褐色土層 ロームブロックを多量に含む。しまり粘性良好
- 第10層 黒褐色土層 黒色土と褐色土の混土層。しまり良好粘性有
- D-D' 第1層 黒色土層 径1mm次のローム粒を少量含む。しまり悪
- 第2層 茶褐色土層 径1mm次のローム粒を含む。しまり良
- 第3層 暗褐色土層 径2~3mm次のローム粒を多量に含む。しまり良、粘性有
- E-E' 第1層 表土層 黒褐色土層。しまり悪
- 第2層 黒褐色土層 黒色土と褐色土の混土層。径5mm以下のロームブロックを多く含む。しまり粘性良好
- 第3層 褐色土層 径1cm次のロームブロックを含み、褐色土多量土少の混土層。しまり粘性良好
- 第4層 黒褐色土層 黒色土と褐色土の混土層
- 第5層 黒色土層 径1mm次のローム粒を多量に含む。径1mm次の炭化粒をわずかに含む。土こう内覆土
- 第6層 褐色土層 ローム粒(1~2mm大)を多く含む。しまり粘性良好
- 第7層 黄褐色土層 地山のローム層
- F-F' 第1層 褐色土層 径1次のローム粒を多く含む。5次のロームブロックを含む。しまり・粘性良
- 第2層 黄褐色土層 ロームの二次堆積土

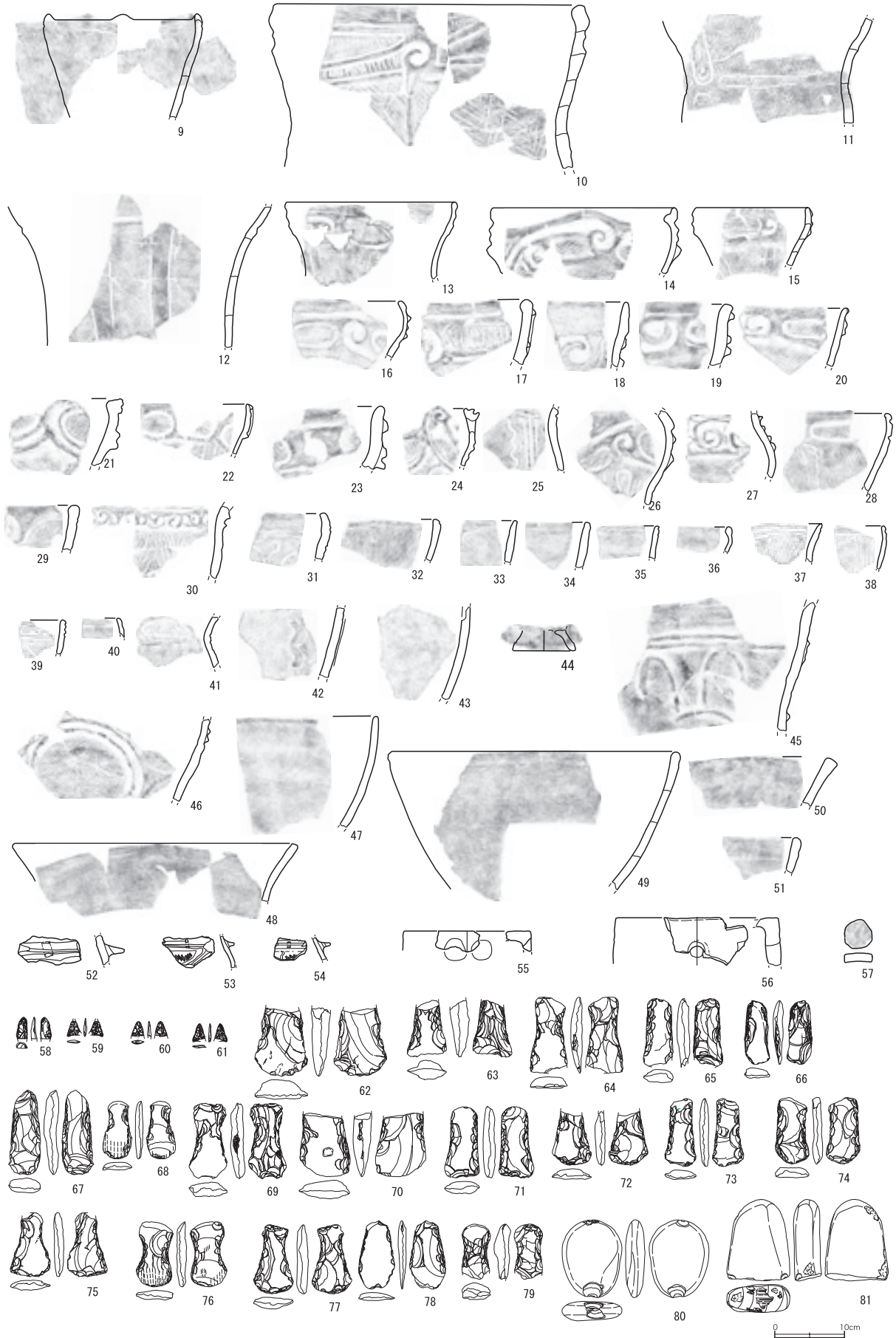




- | | |
|--|---|
| <p>A-A' 第1層 茶褐色土層 白色粒を多量に含む。しまり粘性良好
第2層 黒褐色土層 白色粒を多量に含む。
第3層 茶褐色土層 ローム粒を多く含む。しまり粘性良好
第4層 黄褐色土層 褐色土ローム粒を含む。しまり粘性良好</p> <p>B-B' 第1層 黒褐色土層 径1mm以下のローム粒を多量に含む。しまり良・粘性有
第2層 黒褐色土層 径1~2mm以下のローム粒を多量に含む。しまり良・粘性有
第3層 茶褐色土層 褐色土・褐色土の混土層。径1mm以下のローム粒を多量に含む。しまり粘性良好
第4層 黒褐色土層 褐色土・褐色土の混土層。径1mm以下のローム粒を多量に含む。しまり粘性良好
第5層 黄褐色土層 白土質土層。</p> <p>C-C' 第1層 茶褐色土層 褐色土と褐色土の混土層。白色粒を多量に含む。しまり粘性良好
第2層 黒褐色土層 褐色土と褐色土の混土層。径5~5mm以下のロームブロックを多く含む。しまり粘性良好
第3層 暗黒褐色土層 径1mm以下のローム粒。黄色ブロックを含む。しまり粘性良好
第4層 黒色土層 径1mm以下のローム粒を含む。炭化粒をわずかに含む。しまりよ・硬い層
第5層 黄茶褐色土層 ローム質土を多量に混入する
第6層 黄褐色土層 ローム質土の2次堆積層</p> <p>D-D' 第1層 黒褐色土層 褐色土・褐色土の混土層。ローム粒。ロームブロックを含む。しまり良、粘性有
第2層 茶褐色土層 褐色土ローム土の混土層。しまり良、粘性有</p> <p>E-E' 第1層 黒褐色土層 径1mm以下のローム粒を密に含む。わずかに炭化粒を含む。しまり良・粘性有
第2層 茶褐色土層 黄色、白色粒(径1mm以下)を密に含む。径5mm以下のロームブロックを含む。わずかに炭化粒を含む。しまり良・粘性有</p> | <p>F-F' 第1層 黒褐色土層 黄色、白色粒(径1mm以下)を密に含む。しまり良、粘性有
第2層 黒色土層 径1mm以下のローム粒を多く含む。径3mm以下のロームブロックを含む。しまり良、粘性有
第3層 茶褐色土層 ローム質土の2次堆積層。しまり無・粘性有
第4層 暗褐色土層 径1mm以下のローム粒を密に含む。しまり無・粘性有</p> <p>G-G' 第1層 黒褐色土層 褐色土と褐色土の混土層。径1mm以下のローム粒を含む。
第2層 黒色土層 径1~2mm以下のローム粒を含む。堅微な層
第3層 茶褐色土層 ロームブロックを多量に含む層。</p> <p>H-H' 第1層 黒褐色土層 径1mm以下のローム粒を密に含む。径2mm以下の炭化粒を多く含む。しまり粘性良好
第2層 茶褐色土層 径2~1mm以下のローム粒を含む。径2mm以下の褐色土を含む。しまり粘性良好</p> <p>I-I' 第1層 褐色砂層 ばりな・粘性無
第2層 黒色土層 径1~2mm以下のローム粒をわずかに含む。</p> <p>K-K' 第1層 茶褐色土層 ローム粒と褐色土の混土層。粘性良
第2層 暗茶褐色土層 ローム粒と褐色土の混土層。ばり・粘性良
第3層 黒褐色土層 5層以下のロームブロックを多量に含む。しまり・粘性良好
第4層 黒色土層 白色シルトを混入する。硬質層
第5層 黄褐色硬質ローム土層</p> |
|--|---|

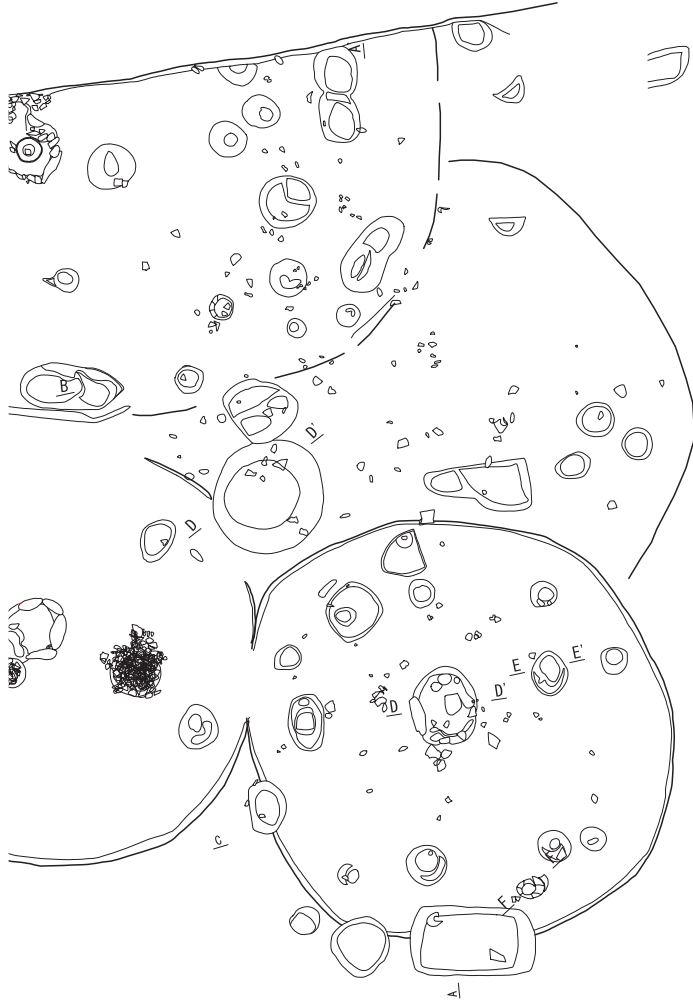
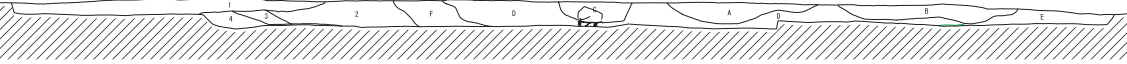


59号住居 00012



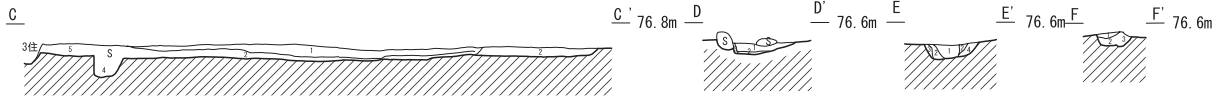
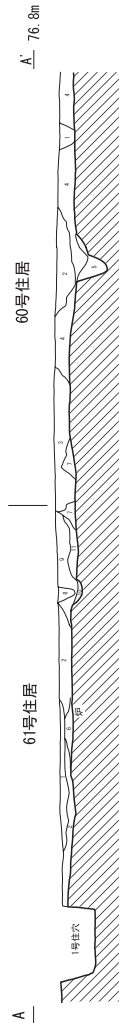
60・61号住居 00013・00014

B 59号住居 60号住居 B' 76.8m



60号住居

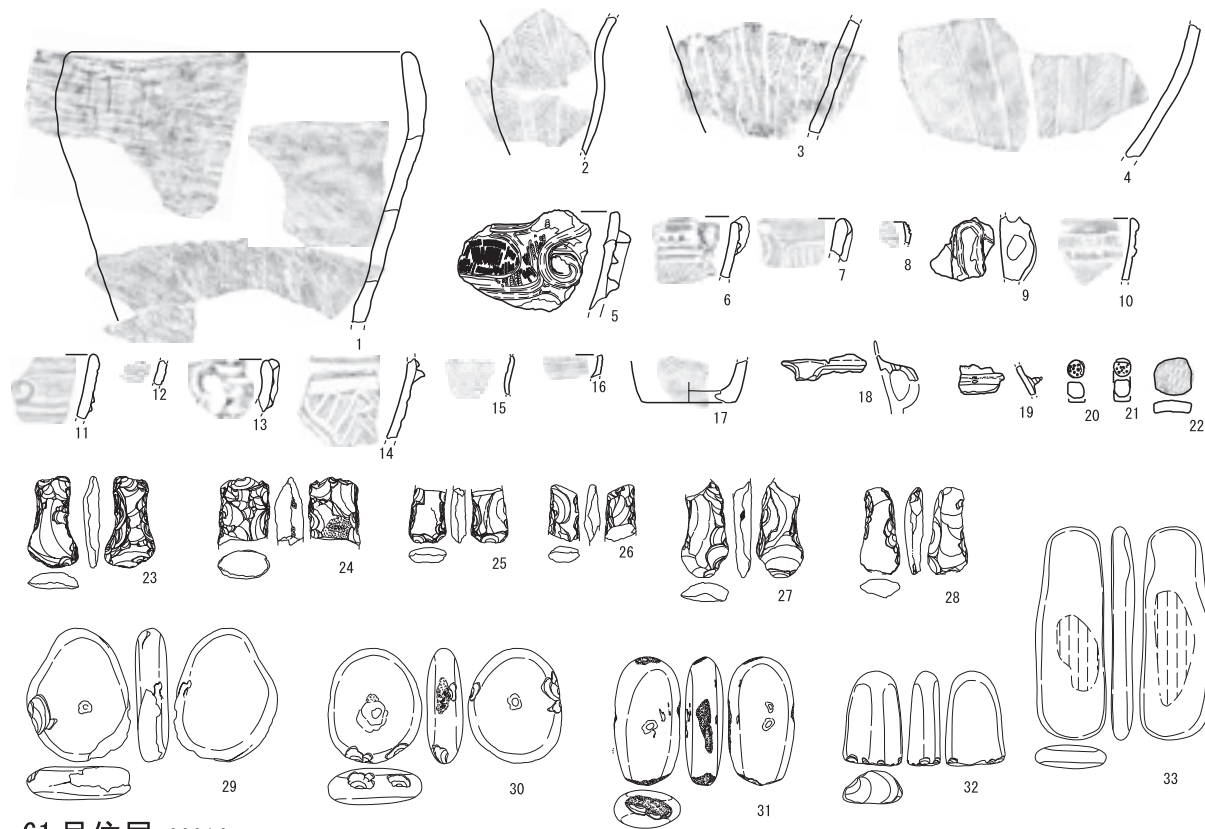
61号住居



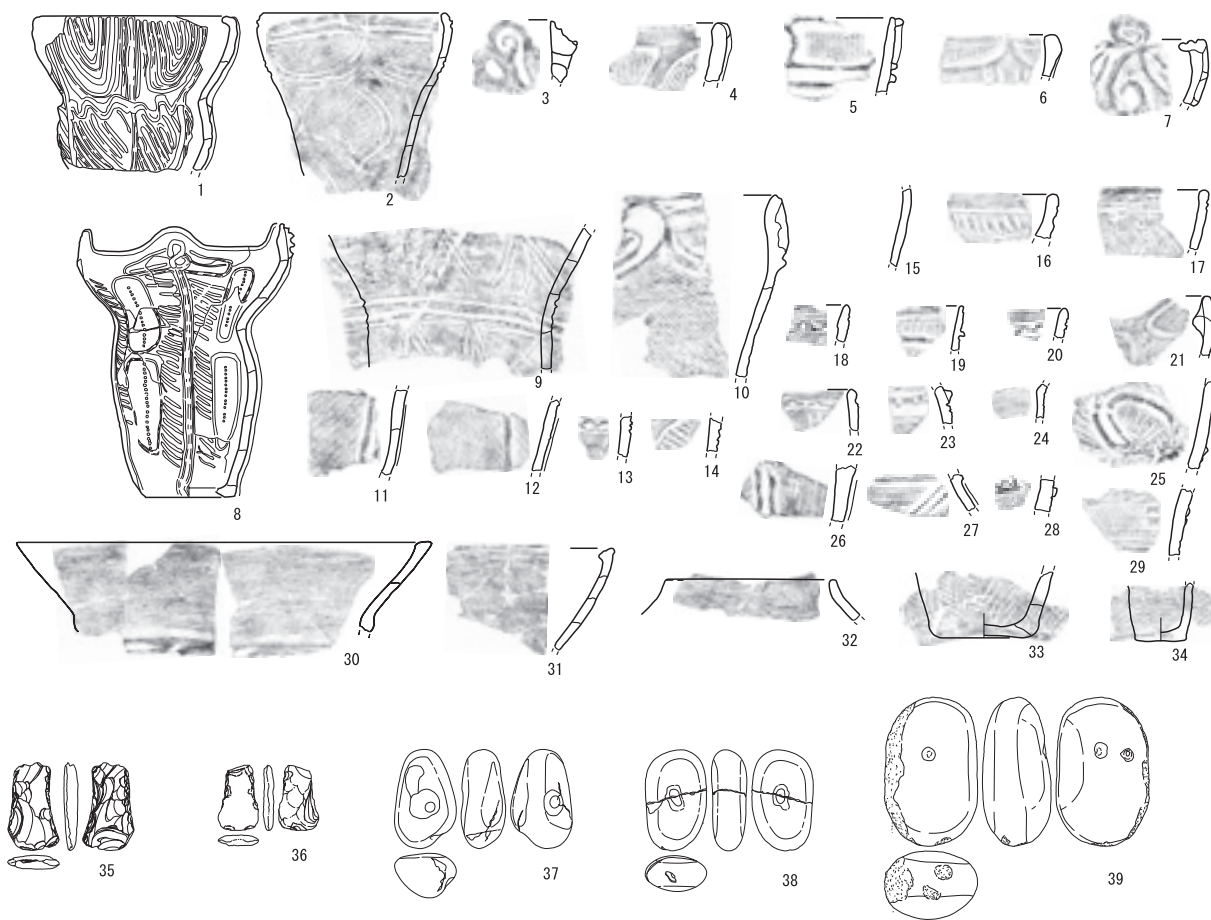
- A-A' 第1層 黒褐色土層 ローム粒を多量に含む。しまり悪、粘性無
- 第2層 黒褐色土層 シミ状にロームを含む。しまり良、粘性有
- 第3層 褐色土層 径5mm以下のロームブロックを含む。しまり悪、粘性無
- 第4層 茶褐色土層 ローム粒を含む。しまり良、硬質土層
- 第5層 褐色土層 径1cm以下のロームブロックを多量に含む。しまり良
- 第6層 黄褐色土層 ローム質土層
- 第7層 黒色土層 径1~2mm 大の炭化、焼土粒をわずかに含む。しまり粘性良
- 第8層 褐色土層 径10cm大のローム粒をわずかに含む。しまり無、粘性有
- 第9層 茶褐色土層 褐色土と黒色土の混土層。しまり良、粘性有
- 第10層 黄褐色土層 ロームブロックを多量に含む。しまり良、粘性有
- 第11層 褐色土層 ローム粒を多量に混入。しまり良、粘性有
- B-B' 第1層 茶褐色土層 白色粒を多量に含む。しまり粘性良好
- 第2層 黒褐色土層 白色粒を多量に含む。径2mm以下の炭化粒を含む。しまり粘性良好硬質
- 第3層 茶褐色土層 ローム粒を多く含む。しまり粘性良好
- 第4層 黄褐色土層 褐色土とローム粒を含む。しまり粘性良好
- A層 黒褐色土層 白色粒を多く含む。ローム粒を多量に含む。しまり良、粘性有
- B層 褐色土層 白色粒を多量に含む。しまり粘性弱
- C層 褐色土層 白色粒を多量に含む。黒色土と褐色土の混土層。しまり粘性良好
- 微かな炭化粒を含む。
- D層 茶褐色土層 黒色土と褐色土の混土層。しまり粘性良好
- 白色粒を多く含む。
- E層 黄褐色土層 ローム質土の2次堆積層。しまり粘性良好
- F層 茶褐色土層 褐色土と黒色土の混土層。しまり粘性良

- C-C' 第1層 黒褐色土層 黄褐色粒(1mm以下)、白色粒をわずかに含む。しまり粘性良好
- 第2層 茶褐色土層 ローム粒(径2~3mm大)を多量に含む。しまり粘性良好
- 第3層 黒色土層 径5mm次のロームブロックを含む。しまり良し堅質土
- 第4層 褐色土層 ローム質土を、多く混入する。しまり、粘性良好
- 第5層 茶褐色土層 ロームブロックを多く含む。しまり、粘性良好
- D-D' 第1層 黒褐色土層 径1次のローム・焼土粒を含む。しまり・粘性良
- 第2層 暗茶褐色土層 径1次の焼土粒を多く含む。しまり無・粘性有
- 第3層 茶褐色土層 径1以下の焼土粒をわずかに含む。しまり無
- E-E' 第1層 黒色土層 径3以下のローム、焼土粒を多く含む。しまり・粘性良好
- 第2層 茶褐色土層 径1次のローム粒を含む。しまり・粘性良好
- 第3層 褐色土層 ローム粒をわずかに含む。しまり・粘性良好
- 第4層 黄褐色土層 ローム2次堆積土
- F-F' 第1層 暗茶褐色土層 ローム土と褐色土の混土層。しまり粘性良
- 第2層 茶褐色土層 ロームの混入が1層より多い。しまり粘性良
- 第3層 褐色土層

60号住居 00013

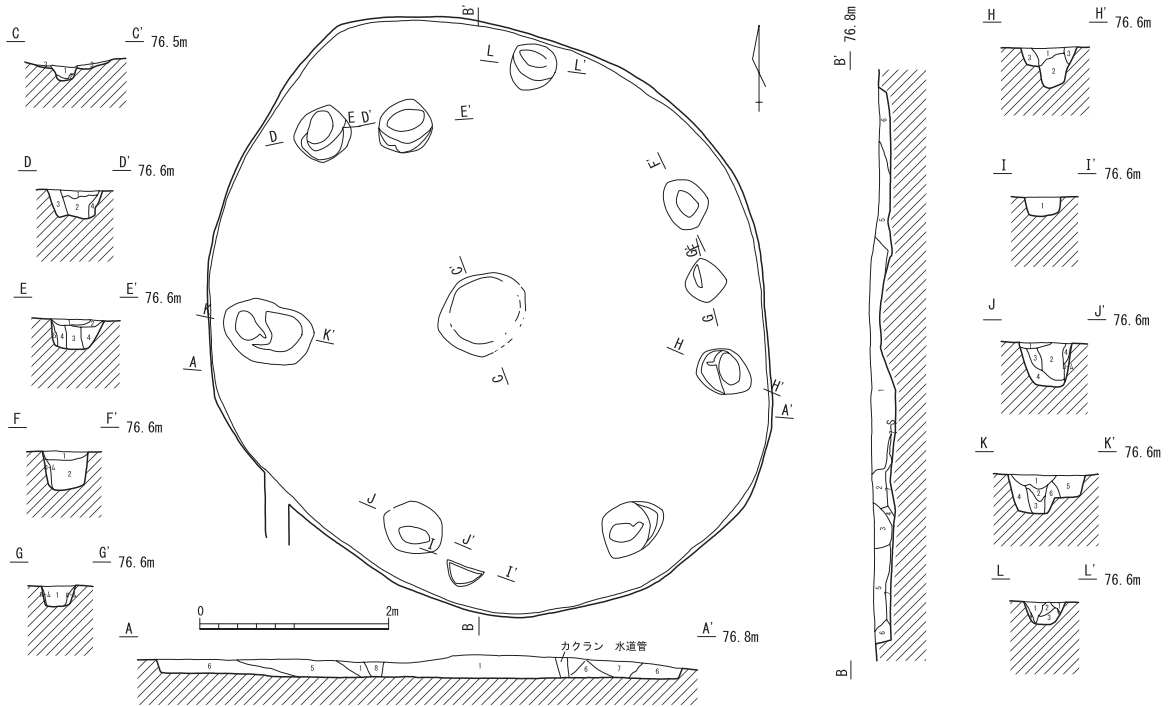


61号住居 00014



0 10cm

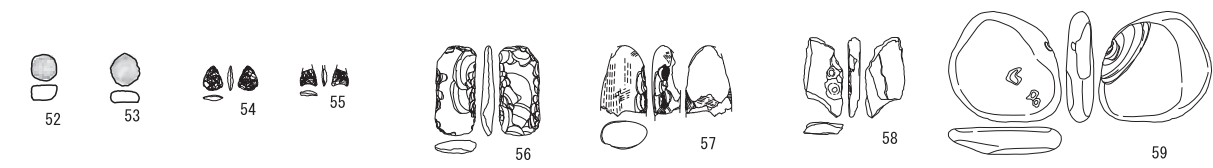
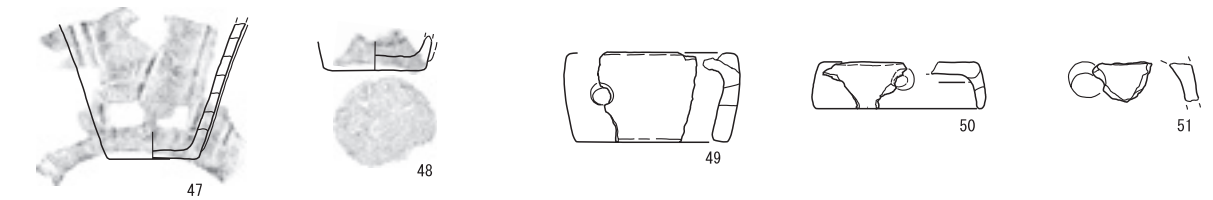
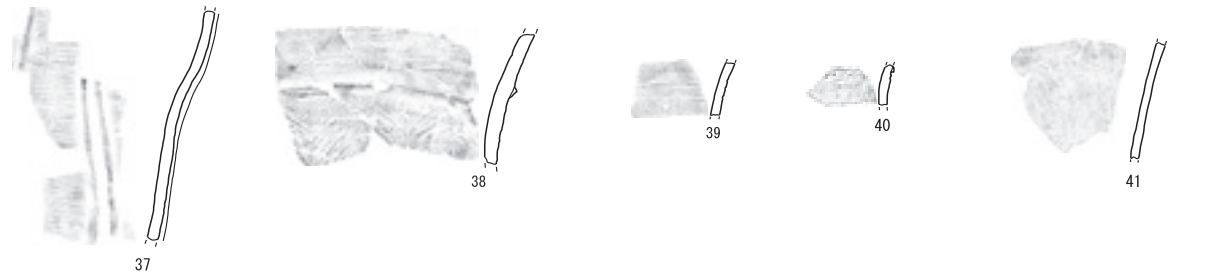
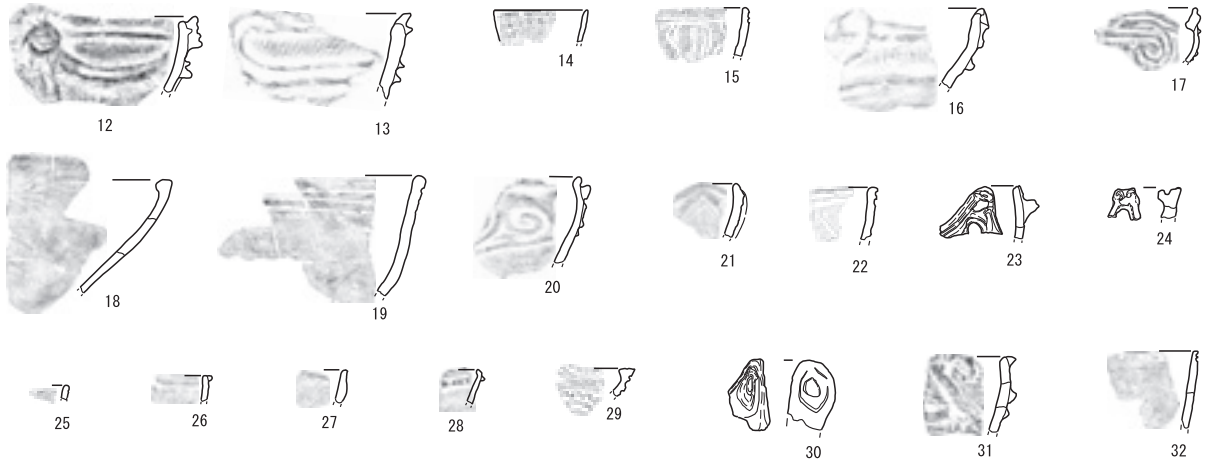
62 号住居 00015



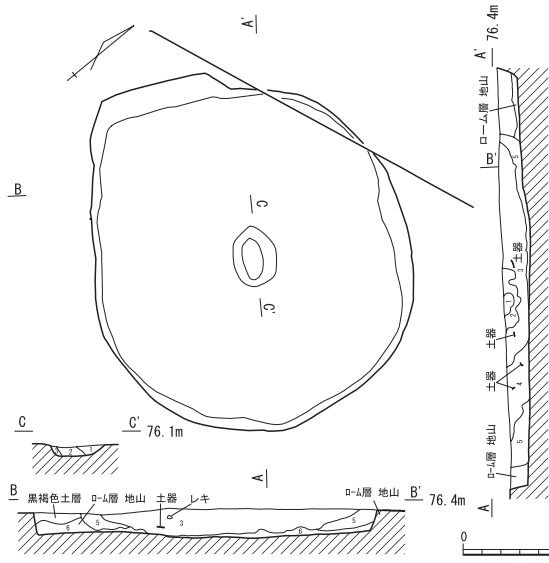
- | | | | | | | | |
|------|----------|--|------|------|---------------------|--|------------------------------|
| A-A' | 第7層黒褐色土層 | 黒色土と褐色土の混土層。しまり・粘性良好 | E-E | 褐色土層 | ロームと褐色土の混土層。しまり粘性良好 | | |
| B-B' | 第6層褐色土層 | ロームブロックを含む。しまり・粘性良好 | | 第2層 | 茶褐色土層 | ローム粒をわずかに含む。しまり粘性良好 | |
| | 第1層黒色土層 | 径1~3mm次のローム粒を多量に含む。炭化粒、焼土粒をわずかに含む。しまり・粘性良好 | | 第3層 | 黒褐色土層 | 径3mm次のロームブロックを多く含む。しまり粘性良好 | |
| | 第2層黒褐色土層 | 微量なローム粒、を多く含む。径1mm次の炭化粒を多く含む。しまり・粘性良好 | | 第4層 | 黒褐色土層 | 径1~2mm次のローム粒径3mm次のロームブロックを多量含む。しまり粘性良好 | |
| | 第3層褐色土層 | 径5mm次のロームブロックを多量に含む。しまり・粘性無 | F-F' | 第1層 | 褐色土層 | ローム粒(径1mm)を含む。しまり粘性良好 | |
| | 第4層黒褐色土層 | 径1mm以下のローム粒を含む。しまり・粘性無 | | 第2層 | 黒褐色土層 | 径2~3mm次のロームブロックを含む。しまり粘性良好 | |
| | 第5層茶褐色土層 | 径1mm以下のローム粒を密に含む。しまり・粘性良好 | G-G' | 第1層 | 褐色土層 | ローム粒を含む。しまり粘性良好 | |
| | 第6層褐色土層 | 径1mm以下のローム粒を密に含む。しまり・粘性良好 | H-H' | 第1層 | 茶褐色土層 | 径3mm次のロームブロックを含む。しまり粘性良好 | |
| | 第7層黄褐色土層 | ロームブロックを多量に含む。しまり・粘性良好 | | 第2層 | 黒褐色土層 | 径3mm以下のローム粒を含む。しまり粘性良好 | |
| C-C' | 第1層 | 黒色土層 | | 第3層 | 褐色土層 | ロームブロックを多量含む。 | |
| | 第2層 | 茶褐色土層 | I-I' | 第1層 | 茶褐色土層 | 径3mm次のロームブロックを含む。しまり粘性良好 | |
| | 第3層 | 黒色土層 | | 第2層 | 褐色土層 | 径1mm次のローム粒を多く含む。しまり粘性良好 | |
| | 第4層 | 黒褐色土層 | | 第3層 | 黒褐色土層 | 径1~2mm次のローム粒を多量に含む。しまり粘性良好 | |
| | 第5層 | 黒褐色土層 | | 第4層 | 茶褐色土層 | 径1mm以上のローム粒を密に含む。しまり粘性良好 | |
| | 第6層 | 褐色土層 | J-J' | 第1層 | 褐色土層 | 径1mm次のローム粒を多く含む。しまり粘性良好 | |
| | 第7層 | 黄褐色土層 | | 第2層 | 黒褐色土層 | 径1~2mm次のローム粒を多量に含む。しまり粘性良好 | |
| D-D' | 第1層 | 褐色土層 | | 第3層 | 茶褐色土層 | 径1mm次のローム粒を密に含む。しまり粘性良好 | |
| | 第2層 | 黒色土層 | | 第4層 | 褐色土層 | 径1mm以上のローム粒を密に含む。しまり粘性良好 | |
| | 第3層 | 茶褐色土層 | | K-K' | 第1層 | 黒色土層 | 径1~2mm次のローム、白色粒を多く含む。しまり粘性良好 |
| | | | | 第2層 | 黒褐色土層 | 径2~3mm次のローム粒を多量含む。しまり粘性良好 | |
| | | | | 第3層 | 褐色土層 | ロームブロックを密に含む。しまり粘性良好 | |
| | | | | 第4層 | 黄褐色土層 | ローム土層。しまり粘性良好 | |
| | | | | 第5層 | 褐色土層 | 径1mm次のローム粒を多く含む。しまり粘性良好 | |
| | | | | 第6層 | 黄褐色土層 | 黒色土を多く混入する。しまり粘性良好 | |
| | | | | 第7層 | 褐色土層 | 径10mm次のロームブロックを密に含む。 | |
| | | | | L-L' | 第1層 | 褐色土層 | 褐色土と黒色土の混土層。しまり悪粘性有 |
| | | | | | 第2層 | 黒色土層 | 径1mm次のローム粒を含む。しまり粘性良好 |
| | | | | | 第3層 | 黒褐色土層 | 径1~3mm次のローム粒を多く含む。しまり粘性良好 |
| | | | | | 第4層 | 褐色土層 | ロームと褐色土の混土層。しまり良、粘性有 |



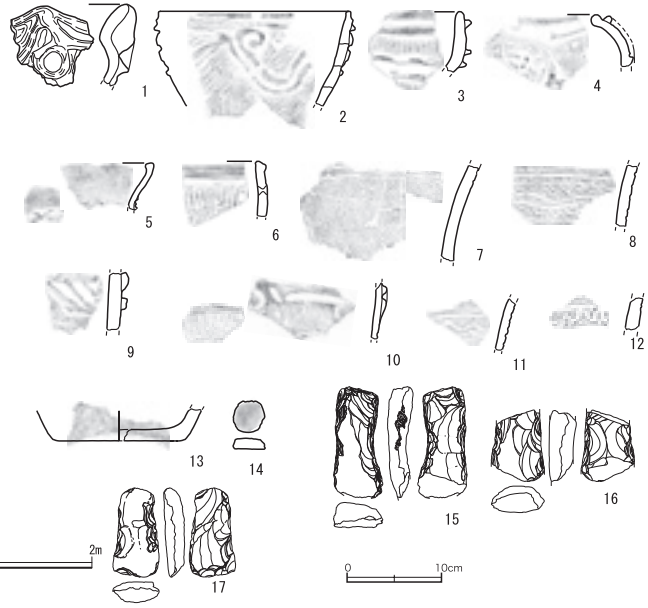
62 号住居 00015



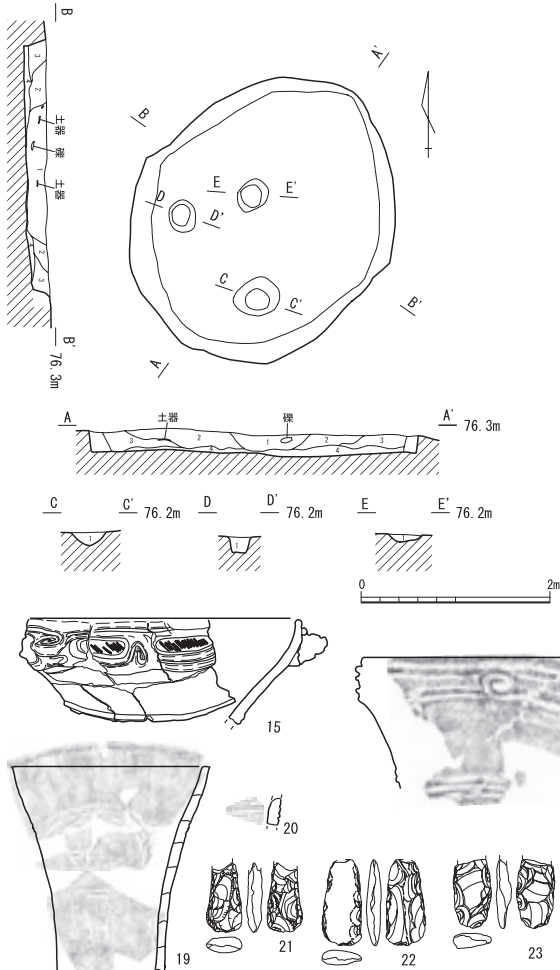
64号住居 00016



- A-A' 第1層 茶褐色土層 繊維にローム粒子を白色粒子を含む。炭化粒
 第2層 黒褐色土層 径1mm次のローム粒をわずかに含む。しまり粘性無
 B-B' 第3層 茶褐色土層 ロームと褐色土が線状に混合した層。ローム粒を多量に含
 第4層 黒褐色土層 炭化粒、焼土粒をごくわずかに含む。しまりのある炭化粒
 第5層 褐色土層 3層より意味が強い。ローム粒を多量に含む。しまり良、粘性無
 第6層 褐色土層 ローム粒を多量に含む。湿土層。しまり良、粘性有
 第7層 黄褐色土層 径1cm次のロームブロックを多量に含む。しまり良、粘性強
- C-C' 第1層 褐色土層 径1mm次のローム粒、焼土粒、炭化粒を微量含む。
 第2層 茶褐色土層 径3mm以下のローム粒を多量に含む。径1mm以下の焼土粒を
 微量含む。
 第3層 黄褐色土層 ローム土の2次堆積土層。

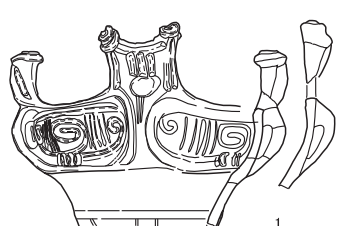
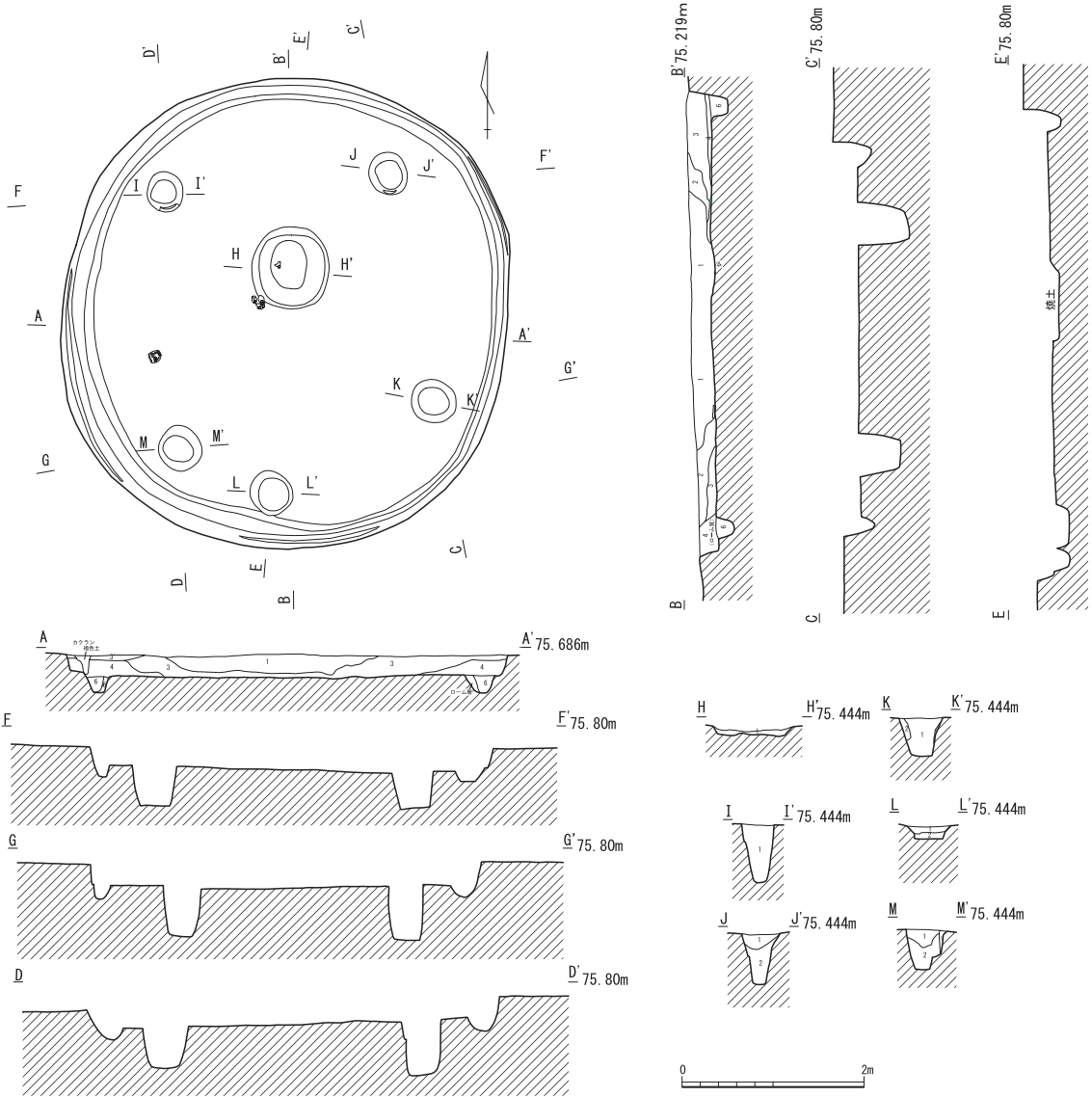


65号住居 00017

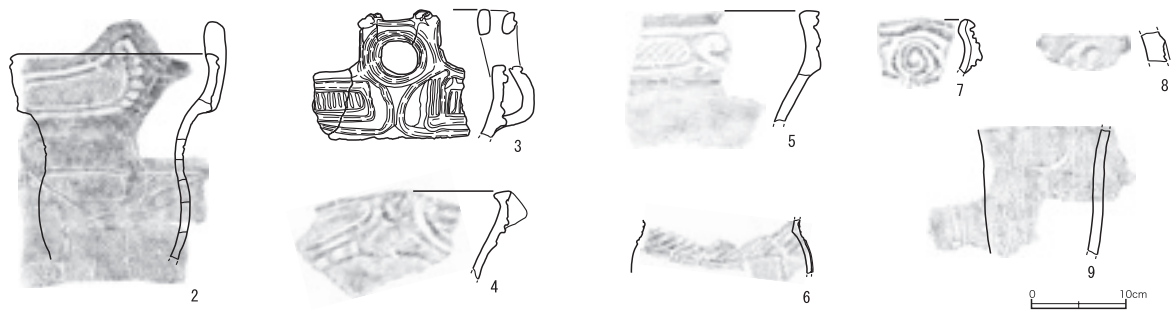


- A-A' 第1層 黒褐色土層 白色粒、赤色スコリヤを含む。
 B-B' 第2層 茶褐色土層 ローム土が線状に混入し、径1mm次のローム粒を多量に含む。炭化粒をわずかに含む。しまり良、粘性無
 第3層 灰茶褐色土層 黒色土とロームの混土層。しまり弱・粘性無
 炭化物をわずかに含む。
 第4層 黄褐色土層 ローム粒、ブロックを多量に含む土層。しまり良・粘性有
- C-C' 第1層 黒褐色土層 黒色土と褐色土の混土層。径3mm次のローム粒を多量に含む。しまり良・粘性有
 D-D' 第1層 茶褐色土層 ローム粒を含む。しまり良・粘性有
 E-E' 第1層 茶褐色土層 径1mm次の炭化粒をわずかに含む。焼土は観察できない。
 灰 ローム粒を含み、褐色土とローム粒が混在している。しまり良・粘性有

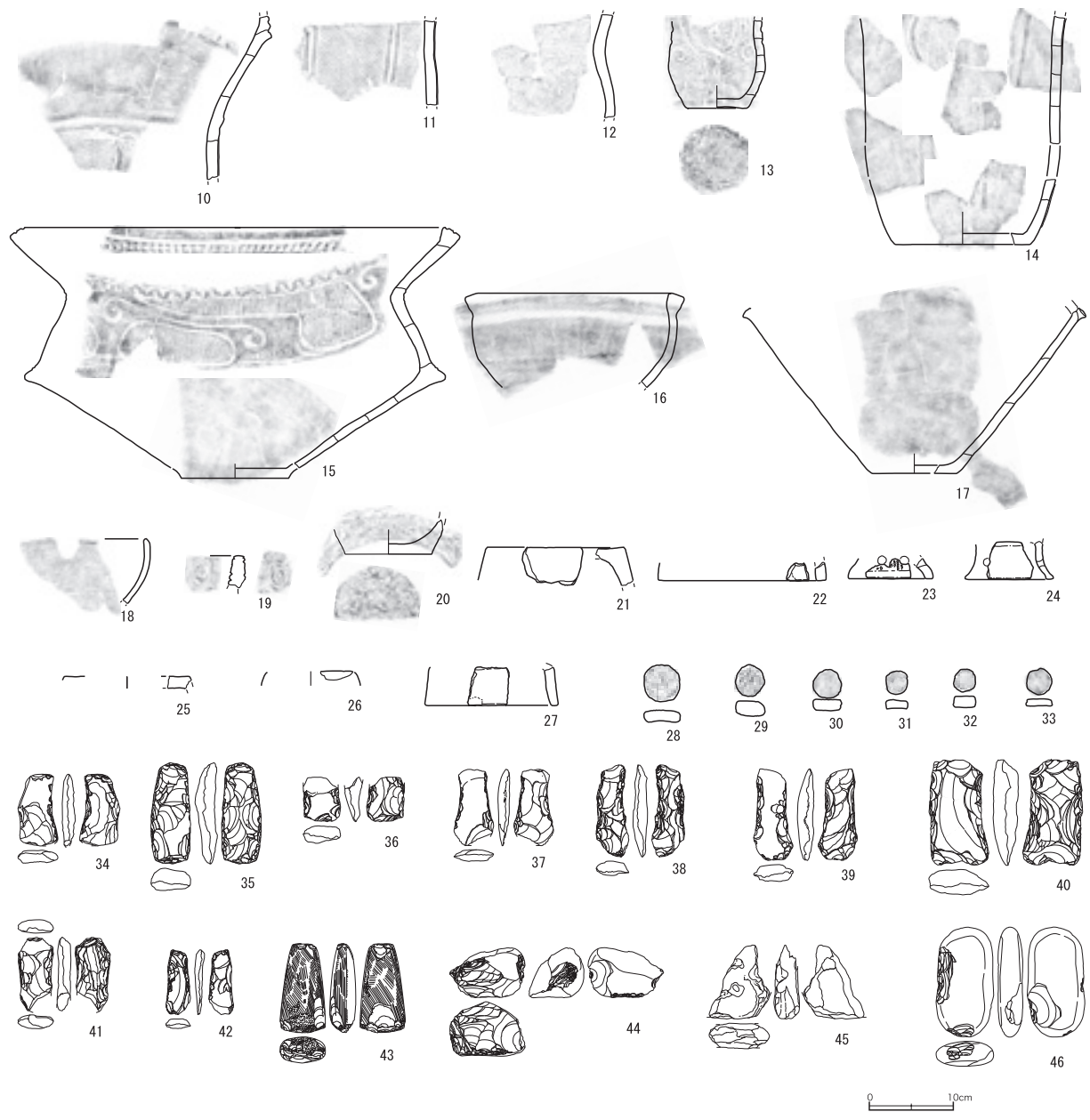




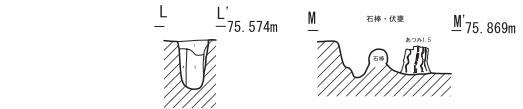
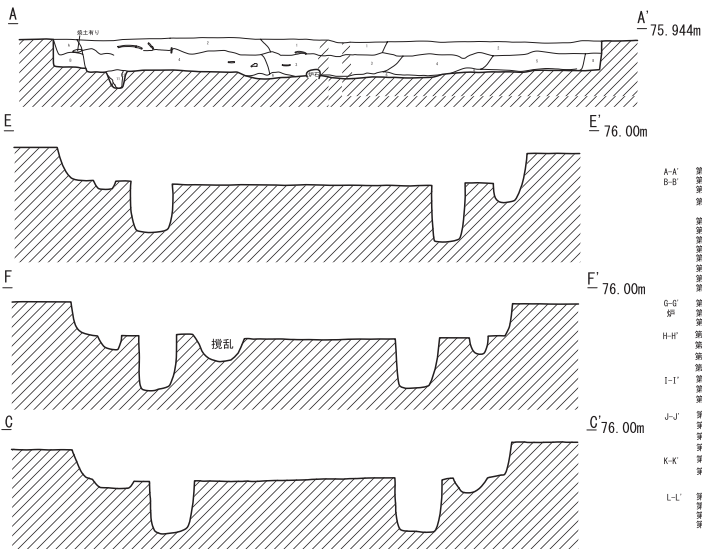
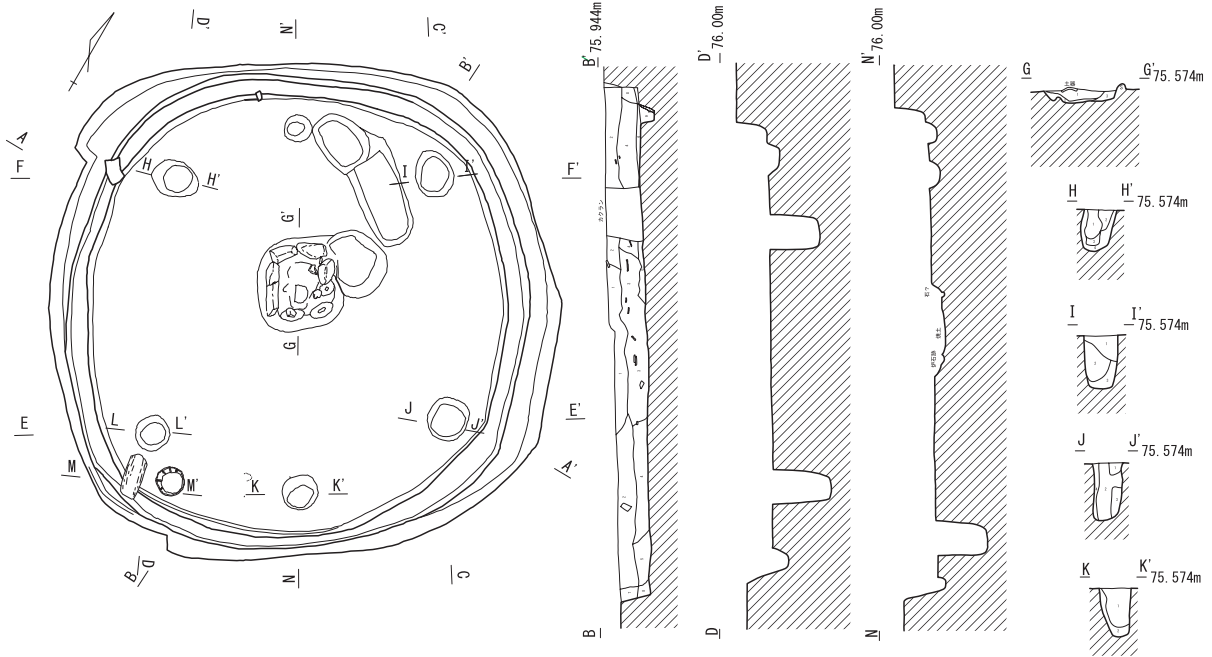
- A-A' 第1層 黒褐色土層 白色粒、炭化粒を多量に含む。土器片、礫を多量に含む。しまり有
- B-B' 第2層 茶褐色土層 ローム粒、白色粒を多量に含む。炭化粒を多く含む。褐色土と黒色土が混合する。しまり良好
- 第3層 黒茶褐色土層 ローム粒を多く含む。少量の炭化粒を含む。しまり良好
- 第4層 茶褐色土層 ローム粒を密に含む。褐色土と黄褐色土の混土層。しまり良好
- 第5層 茶褐色土層 ローム粒を多く含む。褐色土と黄褐色土の混土層。炭化粒を少量含む。雨溝内土層
- H-H 第1層 茶褐色土層 焼土粒を多量に含む。炭化物を多く含む。またローム粒および黒褐色土を少量混入する。しまり強・粘性弱
- I-I' 第1層 茶褐色土層 ローム粒、ロームブロックを多く含む。炭化物を微量に含む。しまり強・粘性弱
- J-J 第1層 茶褐色土層 黒褐色土ブロックを少量、ローム粒を多量に混入する。炭化物微量。しまり弱・粘性弱
- 第2層 茶褐色土層 ローム粒、ロームブロックを多く含む。炭化物を微量に含む。しまり強・粘性弱
- K-K' 第1層 茶褐色土層 ローム粒、ロームブロックを多く含む。炭化物を微量に含む。しまり強・粘性弱
- 第2層 黄褐色土層 茶褐色土が混入する。炭化物を微量に混入する。しまり強、粘性強
- L-L' 第1層 茶褐色土層 ローム粒、ロームブロックを多く含む。炭化物を微量に含む。しまり強・粘性弱
- 第2層 黄褐色土層 茶褐色土が混入する。炭化物を微量に混入する。しまり強、粘性強
- M-M' 第1層 茶褐色土層 ローム粒、ロームブロックを少量含む。径5mm程の黄褐色土粒を多く含む。しまり弱・粘性弱
- 第2層 茶褐色土層 ローム粒、ロームブロックを多く含む。炭化物を微量に含む。しまり強・粘性弱
- 第3層 黄褐色土層 ローム粒を多量に含む。炭化物微量。しまり強・粘性強



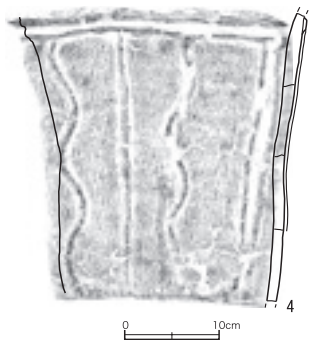
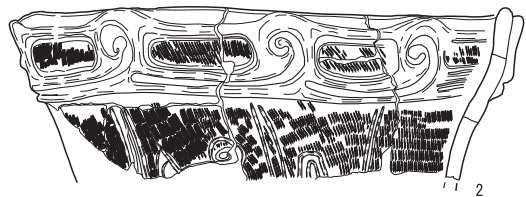
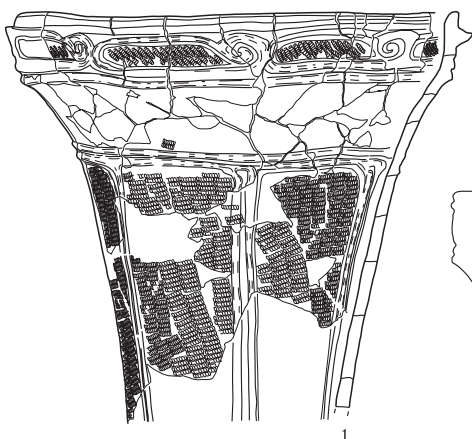
66 号住居 00018



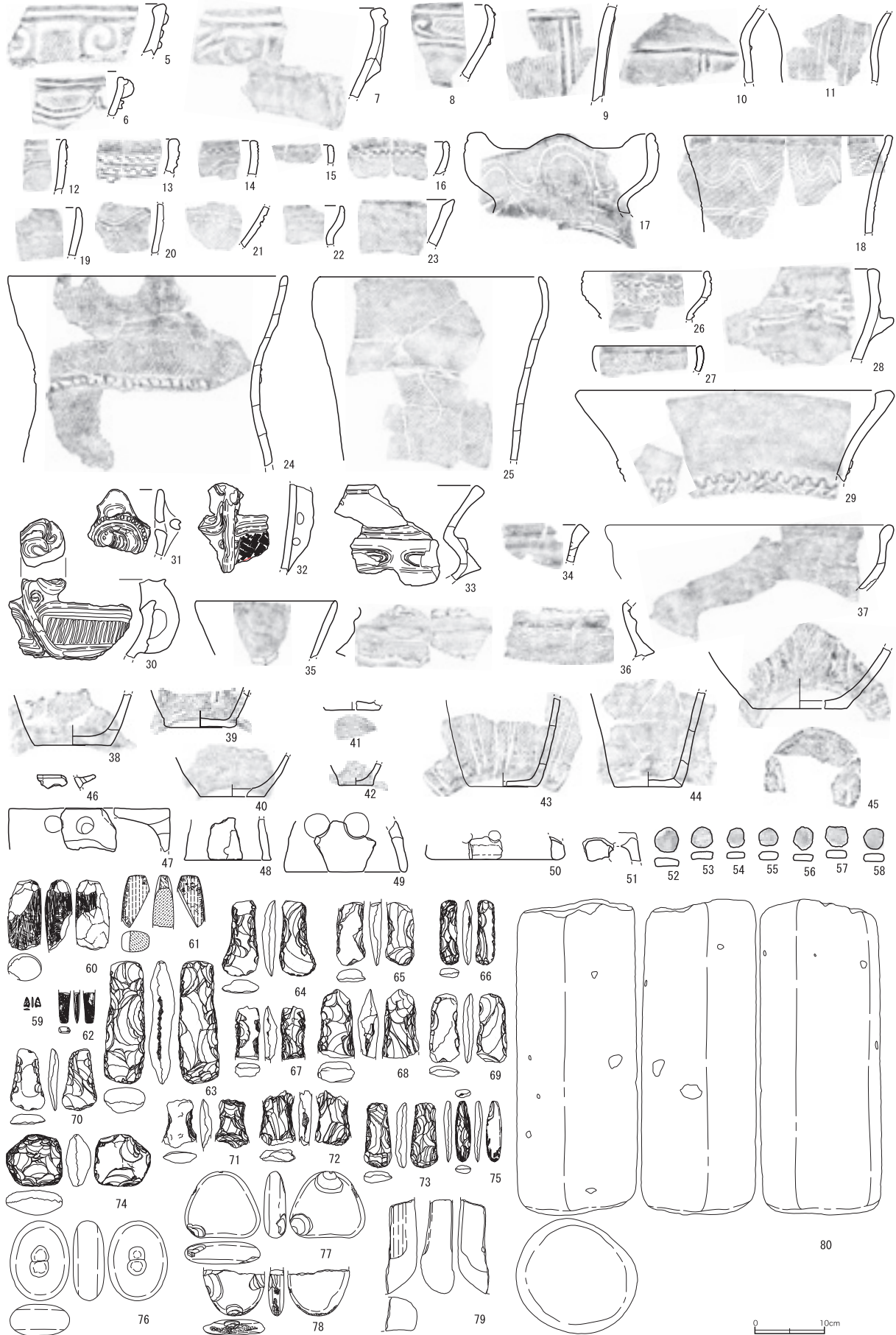
67号住居 00019



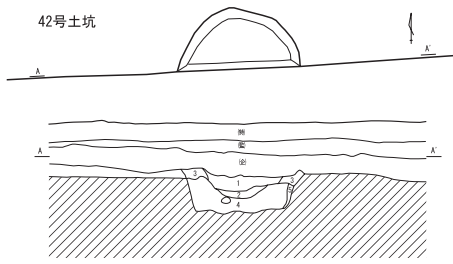
A-A	第1層	黒褐色土層	茶色土と黒褐色土の混土層。炭化粒(1mm次)を少量含む。しまりは良好
B-B	第2層	茶褐色土層	黄色土と褐色土の混土層。白色粒を少量含む。しまりは良好
	第3層	黄色土層	径1mm次のローム粒。焼土粒を多量に含む。炭化粒も多量に含む。しまり粘性良好
	第4層	黒褐色土層	径1mm次のローム粒。白色粒を多量に含む。炭化粒を多く含む。しまりは良好
	第5層	茶褐色土層	出土遺物は、層4層に集中する
	第6層	黄褐色土層	1~2mm次のローム粒。ロームブロックを多量に含む。白色粒を密に含む。しまりは良好
	第7層	茶褐色土層	ロームブロックを多量に含む。炭化土の土層。しまりは良好
	第8層	黄褐色土層	ローム粒。コアロームと褐色土の混土層。白色粒
	第9層	黄褐色土層	練瓦土層
	第10層	黄褐色土層	褐色土と黒茶褐色土の混土層。ローム粒を含む。しまり粘性良好
	第11層	黄褐色土層	ローム質土
	第12層	茶褐色土層	混土。しまりなし。粘性無し
	第13層	茶褐色土層	ローム質土。しまりよく。粘性有り
G-G	第1層	茶褐色土層	径5mm程度の焼土ブロック。焼土粒を多量に含む。炭化物を多量に含む。しまり強・粘性弱
H-H	第1層	茶褐色土層	径2cm程度の焼土塊を含む。焼土粒。炭化物多量。しまり強・粘性弱
I-I	第1層	茶褐色土層	径4cm程度の焼土塊を含む。焼土粒。炭化物多量に含む。しまり中強・粘性弱
J-J	第1層	茶褐色土層	ローム粒、ロームブロックを多く含む。炭化物を少量含む。しまり弱・粘性弱
K-K	第1層	茶褐色土層	ローム粒を多く含む。炭化物。ロームブロックを少量含む。白色粒を微量含む。しまり弱・粘性弱
L-L	第1層	茶褐色土層	ローム粒、ロームブロックを多く含む。炭化物を微量に含む。しまり強・粘性強
	第2層	黄褐色土層	ローム粒、ロームブロックを多く含む。炭化物を微量含む。しまり強・粘性強
	第3層	茶褐色土層	炭化物、ローム粒、白色粒を少量混入する。黄褐色土を混入する。しまり弱・粘性弱
	第4層	茶褐色土層	炭化物、白色粒を少量混入する。ロームブロックを微量混入ししまり弱・粘性強
	第5層	茶褐色土層	炭化物、ローム粒、白色粒を少量混入する。黄色土を混入する。しまり中強・粘性弱
	第6層	茶褐色土層	ローム粒を少量、炭化物、白色粒を微量混入する。しまり強・粘性強
	第7層	茶褐色土層	ローム粒、ロームブロックを多く含む。炭化物、白色粒を微量含む。しまり強・粘性強
	第8層	黄褐色土層	ローム粒、ロームブロックを多く含む。炭化物を微量含む。しまり強・粘性強
	第9層	茶褐色土層	ローム粒、白色粒を少量、炭化物を微量に含む。しまり弱・粘性弱
	第10層	黄褐色土層	茶褐色土を混入する。白色粒を微量に含む。しまり強・粘性強
	第11層	茶褐色土層	ロームブロック。ローム粒を多く含む。炭化物少量混入する。しまり弱・粘性強
	第12層	茶褐色土層	ロームブロックを多く含む。ローム粒。炭化物少量含む。しまり強・粘性強



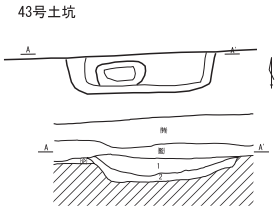
67号住居 00019



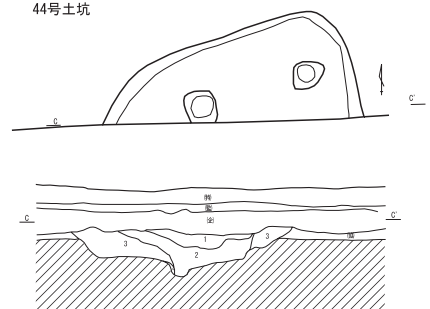
土坑 00020



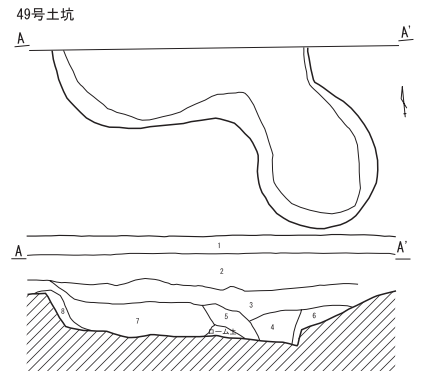
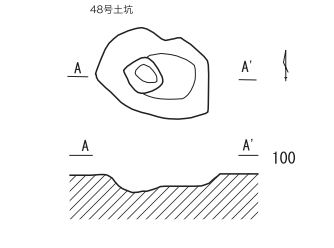
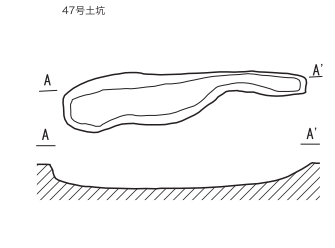
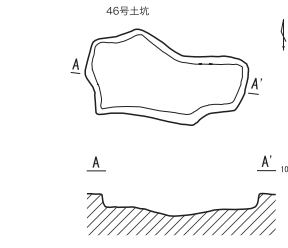
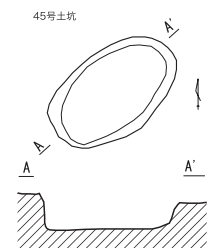
- 第1層 表土
 第2層 褐色土層 径1mm次の白色粒を多量に含む。しまり良好
 第3層 黒褐色土層 径1mm次のローム粒を多量に含む。しまり良好、粘性有、遺物も含む
 第4層 褐色土層 遺物より腐蝕の強い層
 第5層 黒褐色土層 ソフトローム層
 第6層 褐色土層 褐色土・ローム土の混成層。しまり良好、粘性有
 第7層 褐色土層 径1~2mm次のローム粒を多量に含む。しまり良好
 第8層 褐色土層 径1cm次のロームのシメ状を含む。しまり良好
 第9層 褐色土層 ローム粒を若干含む。しまり良好、粘性有
 第10層 褐色土層 径1mm次のローム粒を多量に含む。しまり良好、堅軟な層
 第11層 褐色土層 ロームブロックの崩落土層



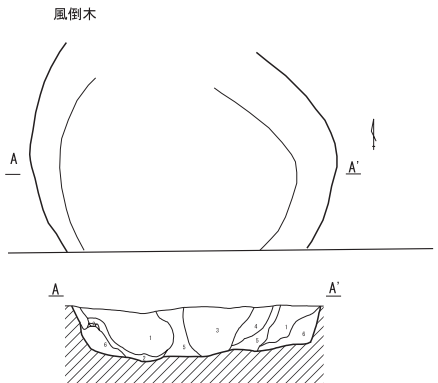
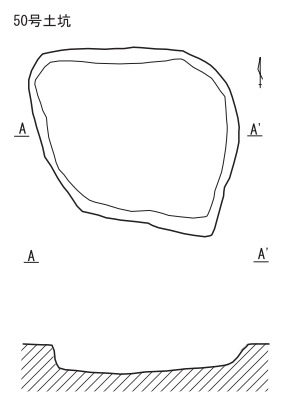
- 第1層 表土 しまり無
 第2層 褐色土層 径1mm次の白色粒を多量に含む。しまり有
 第3層 黄褐色土層 ローム層。しまり有
 第4層 茶褐色土層 径2~3mm次のロームブロックを多量に含む。しまり有
 第5層 褐色土層 径1cm次のロームブロックを多量に含む。しまり有



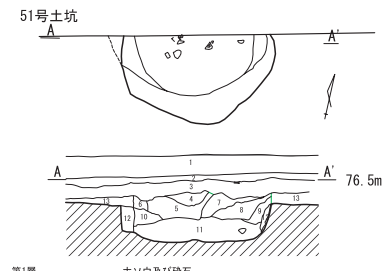
- 第1層 黒褐色土層 径1mm次のローム粒を多量に含む。
 第2層 黒褐色土層 径5mm次のロームブロックを若干含む。
 第3層 黒褐色土層 径5~10mm次のロームブロックを多量に含む。微量の炭化粒(1mm以下)を含む
 第4層 黄褐色土層 ローム層



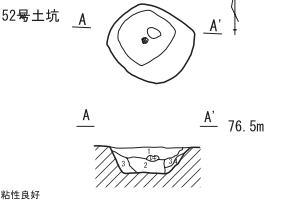
- 第1層 砂利層
 第2層 黒褐色土層 遺物も含層(表土)。しまり良好・粘性有
 第3層 茶褐色土層 径1~0.5のローム粒を含む。しまり良好・粘性有
 第4層 褐色土層 径1次のロームブロックを若干含む。しまり良好・粘性有
 第5層 褐色土層 ローム質土層
 第6層 褐色土層 径1次のロームブロックを多量に含む。しまり良好・粘性有
 第7層 黒褐色土層 径5次のローム粒を含む。しまり良好・粘性有
 第8層 褐色土層 ローム質土層



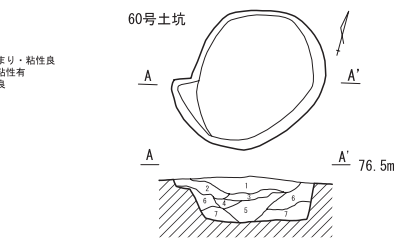
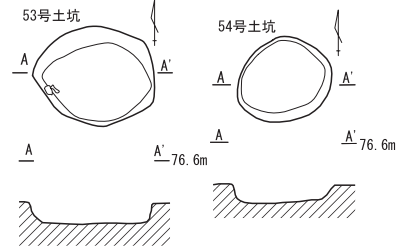
- 風倒木
 第1層 黒色土層 ローム粒を含む
 第2層 黒褐色土層 黒色土と黄褐色土の混成層。2'層 黒味が弱い
 第3層 ローム層
 第4層 灰褐色粘土層 下位の粘土層
 第5層 褐色土層 ロームブロックを多量に含む
 第6層 地山ローム層



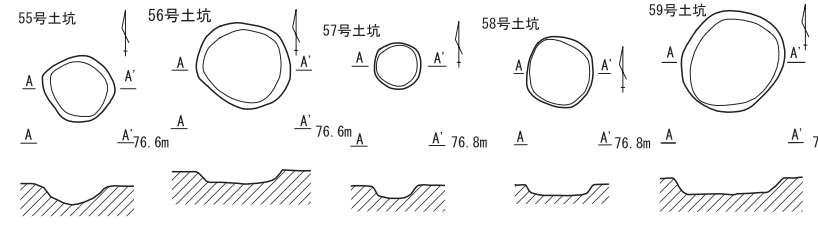
- 第1層 ホソウ及び砕石
 第2層 黒褐色土層 ローム粒を多く含む。しまり良い土層(てんあつ)旧表土
 第3層 茶褐色土層 縦横ローム、炭土粒を密に含む。しまり・粘性良好
 第4層 赤茶褐色土層 径1cm次の横土ブロックを密に含む。径1~2mm次の炭化粒を含む。しまり・粘性良好
 第5層 黒褐色土層 径3mm次のロームブロック、径3mm以下のローム粒を多く含む、
 径2~3mm次の横土、炭化粒を多く含む。しまり・粘性良好
 第6層 褐色土層 ローム粒を含む。しまり・粘性良好
 第7層 黒褐色土層 径1~2mm次の横土、炭化、ローム粒を密に含む。しまり・粘性良好
 第8層 茶褐色土層 径2mm以下のローム粒を含む。しまり・粘性良好
 第9層 褐色土層 ローム質土を多く混入する。しまり・粘性良好
 第10層 褐色土層 ローム粒、ブロックを多く含む。しまり・粘性良好
 第11層 黒茶褐色土層 径5mm次のロームブロックを多量に含む。径1mm次の炭化粒を含む。
 第12層 黄褐色土層 ローム層
 第13層 茶褐色土層 炭化粒、横土粒を含む。ローム粒を密に含む。



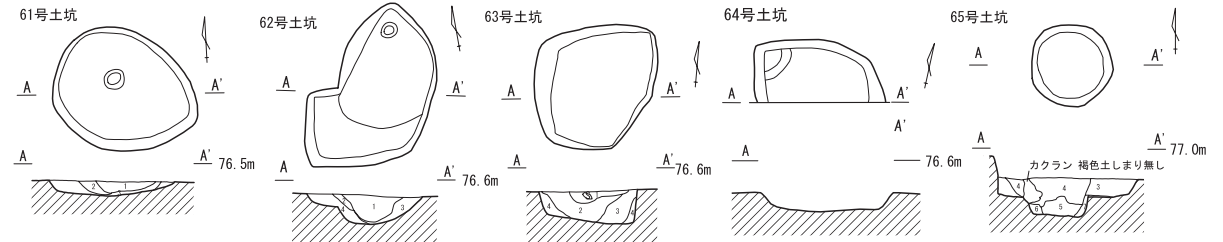
- 第1層 黒褐色土層 径1mm次の白色粒子。ローム粒を多量に含む。しまり・粘性良
 第2層 褐色土層 径1mm以下のローム粒を多量に含む。しまり・粘性有
 第3層 茶褐色土層 径1mm以下のローム粒を密に含む。しまり・粘性良
 第4層 黄褐色土層 ロームの2次堆積土層



- 第1層 茶褐色土層 径1mm次のローム粒を多く含む。しまり粘性良好
 第2層 明茶褐色土層 径1mm次のローム粒を含む。しまり粘性良好
 第3層 暗茶褐色土層 径1~2mm次のローム粒を含む。しまり粘性良好
 第4層 茶褐色土層 径1mm次のローム粒をわずかに含む。しまり粘性良好
 第5層 黒褐色土層 径5mm次のロームブロックを密に含む。しまり粘性良好
 第6層 茶褐色土層 径1~2mm次のローム粒を密に含む。しまり粘性良好
 第7層 黒褐色土層 黒色土と茶褐色土の混成層。しまり粘性良好



土坑 00020



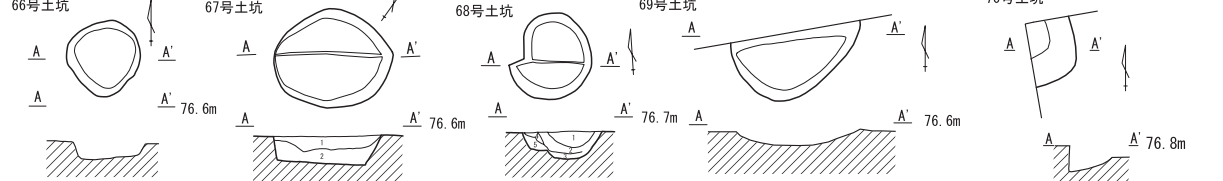
61号土坑
 第1層 黒褐色土層 径1mm次のローム粒を含む。炭化粒をわずかに含む。しまり・粘性良好
 第2層 茶褐色土層 径1mm次のローム粒を含む。しまり・粘性良好
 第3層 褐色土層 径1mm次のローム粒を含む。炭化粒をわずかに含む。しまり・粘性良好

62号土坑
 第1層 暗褐色土層 黒色と褐色土の混土層。径1mm以下のローム粒を含む。しまり・粘性良好
 第2層 茶褐色土層 径1mm次のローム粒を含む。しまり・粘性良好
 第3層 褐色土層 径1mm以下のローム粒を密に含む。しまり・粘性良好
 第4層 黄褐色土層 ロームの2次堆積土

63号土坑
 第1層 黒褐色土層 径1mm以下の白色粒、ローム粒を少量含む。しまり・粘性良好
 第2層 黒褐色土層 径3mm以下のローム粒を多く含む。炭化粒を多く含む。黒色土と褐色土の混土層。しまり・粘性良好
 第3層 褐色土層 径1mm次のローム粒を密に含む。しまり・粘性良好
 第4層 黄褐色土層 ローム質土層

64号土坑
 第1層 黒色土層 径1mm次のローム粒を少量含む。しまり悪
 第2層 茶褐色土層 径1mm次のローム粒を含む。しまり良
 第3層 暗褐色土層 径2~3mm次のローム粒を多量に含む。しまり良、粘性有

65号土坑
 カケラン 褐色土しまり無し



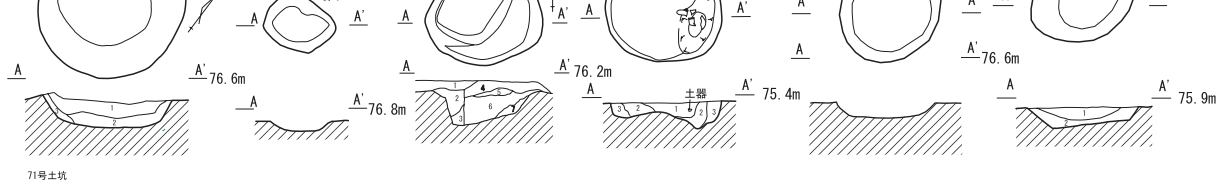
66号土坑
 第1層 黒褐色土層 褐色土と黒色土の混土層。しまり粘性良好

67号土坑
 第1層 黒褐色土層 褐色土と黒色土の混土層。しまり粘性良好
 第2層 ローム質土層

68号土坑
 第1層 黒褐色土層 径1mm次のローム、白色粒を多量に含む。しまり・粘性良好
 第2層 褐色土層 径1mm次のローム粒を多量に含む。礫土、炭化粒を含む。しまり・粘性良好
 第3層 表褐色土層 ローム層。(硬質)
 第4層 新褐色土層 黒色土とローム土の混土層。しまり・粘性良好
 第5層 黄褐色土層

69号土坑
 第1層 黒褐色土層 白色粒・ローム粒を多く含む。土器片多く含む。しまり強・粘性弱
 第2層 茶褐色土層 白色粒・炭化粒を少量含む。ローム粒を多く含む。しまり強・粘性強
 第3層 茶褐色土層 ローム粒・ロームブロックを多く含む。しまり強・粘性強

70号土坑
 第1層 黒褐色土層 白色粒を多量に含む。ローム粒・炭化粒を少量含む。しまり弱・粘性弱
 第2層 茶褐色土層 白色粒・炭化粒を少量含む。ローム粒を少量含む。しまり弱・粘性強

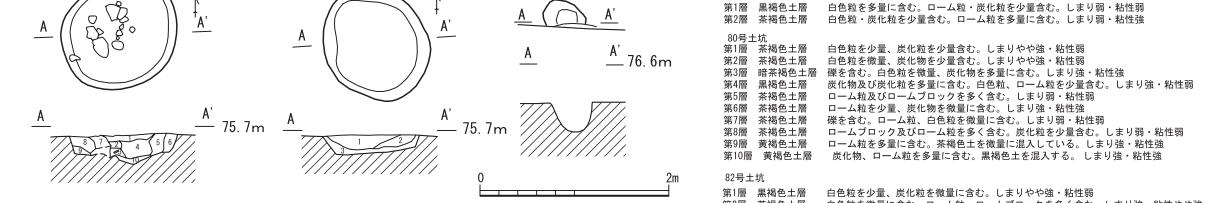


71号土坑
 第1層 褐色土層 褐色土と黒色土の混土層。径2mm以下の白色ローム、炭化粒を含む。しまり・粘性良好 硬質
 第2層 黒褐色土層 褐色土と黒色土の混土層。黒色土が多い。径2mm以下のローム粒を含む。しまり・粘性良好 硬質
 第3層 茶褐色土層 ロームの2次堆積層

72号土坑
 第1層 黒褐色土層 径1~2次のローム粒を多量に含む。径1mm次の白色粒を多く含む。径1以下の炭化粒を含む。しまり良好
 第2層 茶褐色土層 黒褐色土とローム質土の混土層。径1mm次のローム粒を含む。しまり良好
 第3層 茶褐色土層 ロームブロックを塊状に残す。しまり良好

77号土坑
 第1層 黒褐色土層 白色粒を少量、炭化粒を少量含む。しまりやや強・粘性弱
 第2層 茶褐色土層 白色粒を微量、炭化粒を少量含む。しまりやや強・粘性弱
 第3層 暗褐色土層 礫を含む。白色粒を微量、炭化粒を多量に含む。しまり強・粘性強
 第4層 黒褐色土層 炭化物及び炭化粒を多量に含む。白色粒、ローム粒を少量含む。しまり強・粘性弱
 第5層 茶褐色土層 ローム粒及びロームブロックを多く含む。しまり弱・粘性強
 第6層 茶褐色土層 ローム粒を少量、炭化物を微量に含む。しまり強・粘性強
 第7層 茶褐色土層 礫を含む。ローム粒、白色粒を微量に含む。しまり弱・粘性弱
 第8層 茶褐色土層 ロームブロック及びローム粒を多く含む。炭化粒を少量含む。しまり弱・粘性弱
 第9層 黄褐色土層 ローム粒を多量に含む。茶褐色土を微量に混入している。しまり強・粘性強
 第10層 黄褐色土層 炭化物、ローム粒を多量に含む。黒褐色土を混入する。しまり強・粘性強

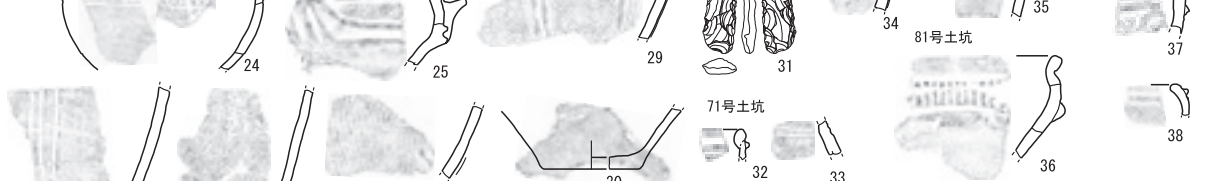
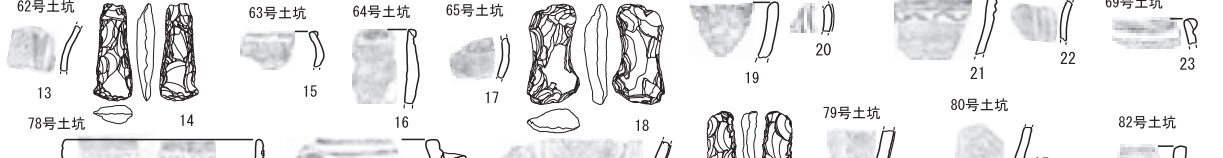
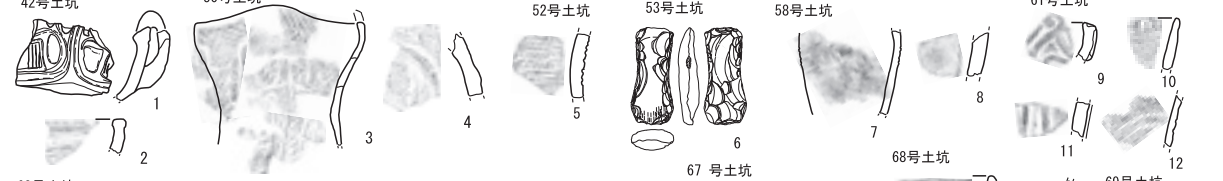
78号土坑
 第1層 黒褐色土層 白色粒を少量、炭化粒を微量に含む。しまりやや強・粘性弱
 第2層 茶褐色土層 白色粒を微量に含む。ローム粒、ロームブロックを多く含む。しまり強・粘性やや強
 第3層 茶褐色土層 ローム粒、ロームブロックを多量に含む。炭化粒を微量に含む。しまり強・粘性強



81号土坑
 第1層 黒褐色土層 白色粒を少量、炭化粒を微量に含む。しまりやや強・粘性弱
 第2層 茶褐色土層 白色粒を微量に含む。ローム粒、ロームブロックを多く含む。しまり強・粘性やや強
 第3層 茶褐色土層 ローム粒、ロームブロックを多量に含む。炭化粒を微量に含む。しまり強・粘性強

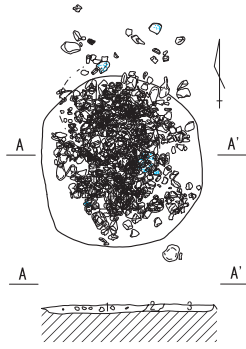
82号土坑
 第1層 黒褐色土層 白色粒を少量、炭化粒を微量に含む。しまりやや強・粘性弱
 第2層 茶褐色土層 白色粒を微量に含む。ローム粒、ロームブロックを多く含む。しまり強・粘性やや強
 第3層 茶褐色土層 ローム粒、ロームブロックを多量に含む。炭化粒を微量に含む。しまり強・粘性強

83号土坑
 第1層 黒褐色土層 白色粒を少量、炭化粒を微量に含む。しまりやや強・粘性弱
 第2層 茶褐色土層 白色粒を微量に含む。ローム粒、ロームブロックを多く含む。しまり強・粘性やや強
 第3層 茶褐色土層 ローム粒、ロームブロックを多量に含む。炭化粒を微量に含む。しまり強・粘性強



集石 00021

4号集石



5号集石



6号集石



7号集石



8号集石



9号集石

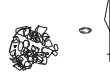


A-A' 76.7m
 第1層 黒色土層 径1mm次の炭化粒を含む。しまり粘性良好
 第2層 黒褐色土層 径1mm以下の炭化粒を含む。しまり粘性良好
 第3層 褐色土層 ローム質土が混入。色含層。しまり粘性良好

10号集石



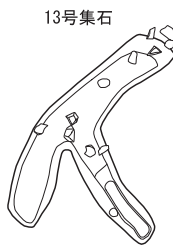
11号集石



12号集石



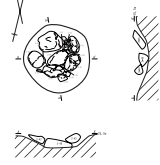
13号集石



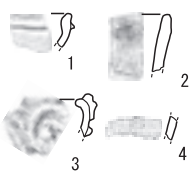
14号集石



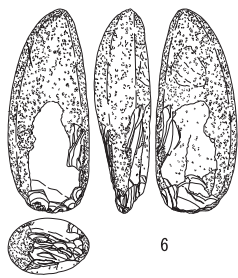
15号集石



4号集石



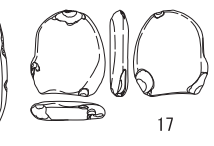
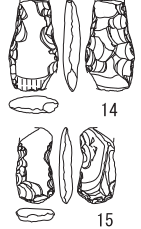
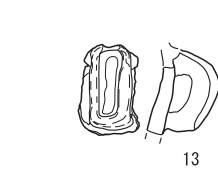
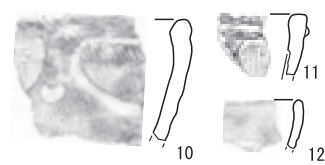
6号集石



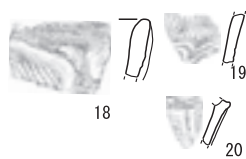
5号集石



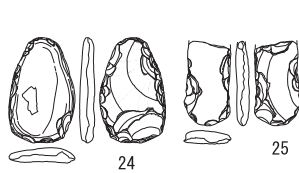
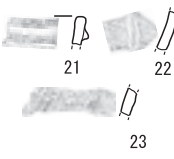
7号集石



8号集石



9号集石



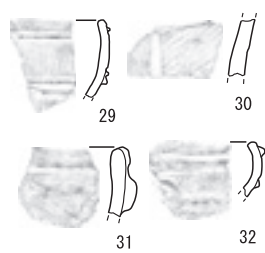
10号集石



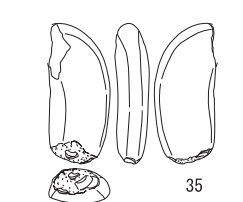
11号集石



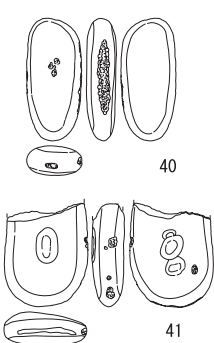
12号集石



13号集石

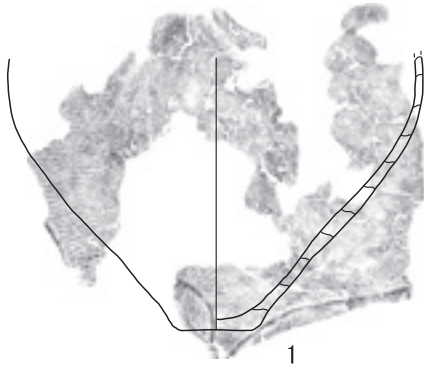


14号集石



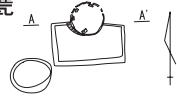
埋甕 00022

1号埋甕

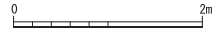
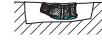


1

2号埋甕

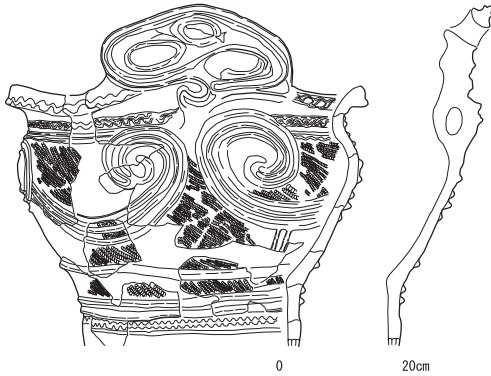


A 1号埋甕 A' 76.4m



第1層 黒褐色土層 径1~2mm大のローム粒を多量含む。しまり粘性良好
 第2層 茶褐色土層 褐色土とローム土の混土層。しまり粘性良好
 第3層 灰褐色土層 ローム土を塊状に含む。しまり粘性良好
 第4層 赤褐色土層 ローム層。

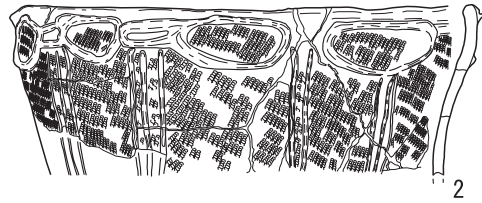
3号埋甕



0

20cm

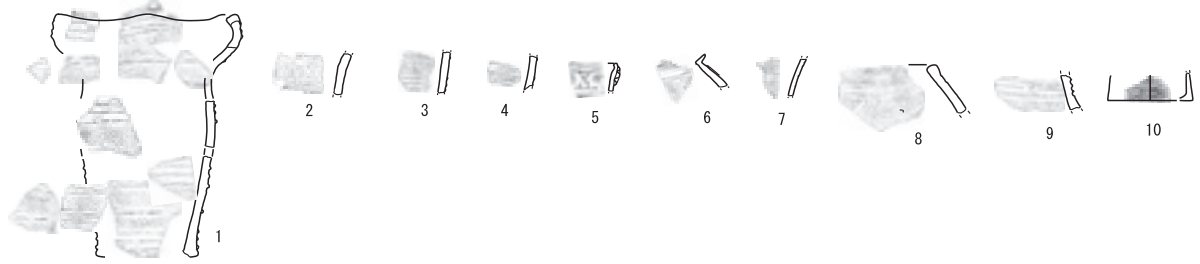
3



2



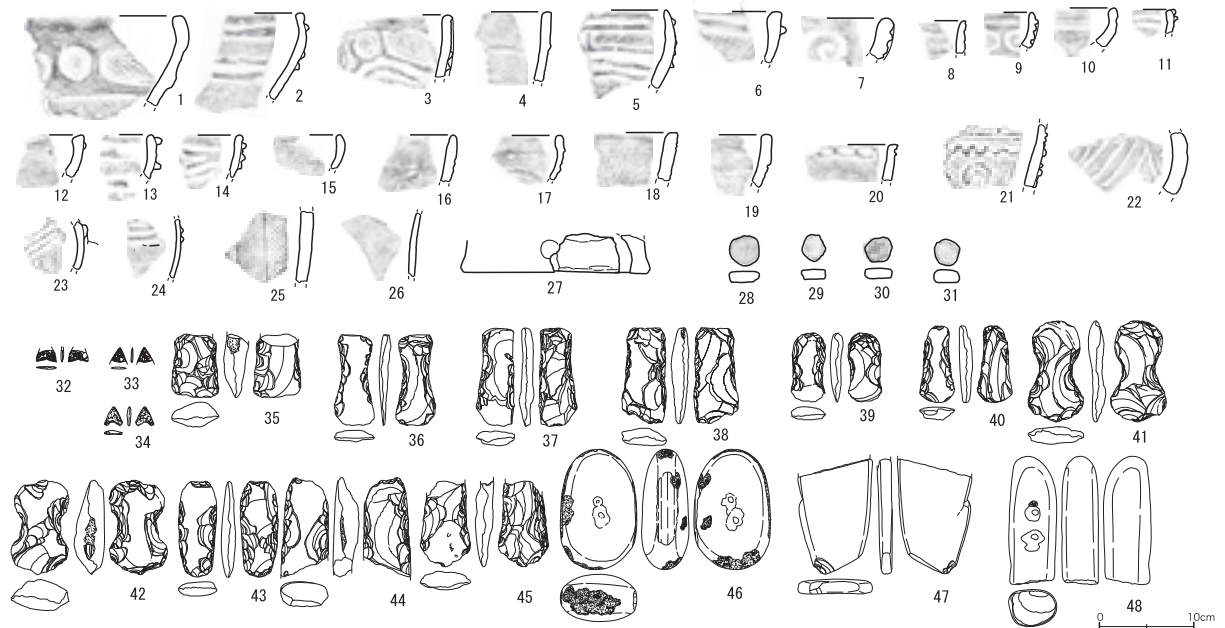
包含層出土前期・後期土器 00023



2次調査区包含層 00024



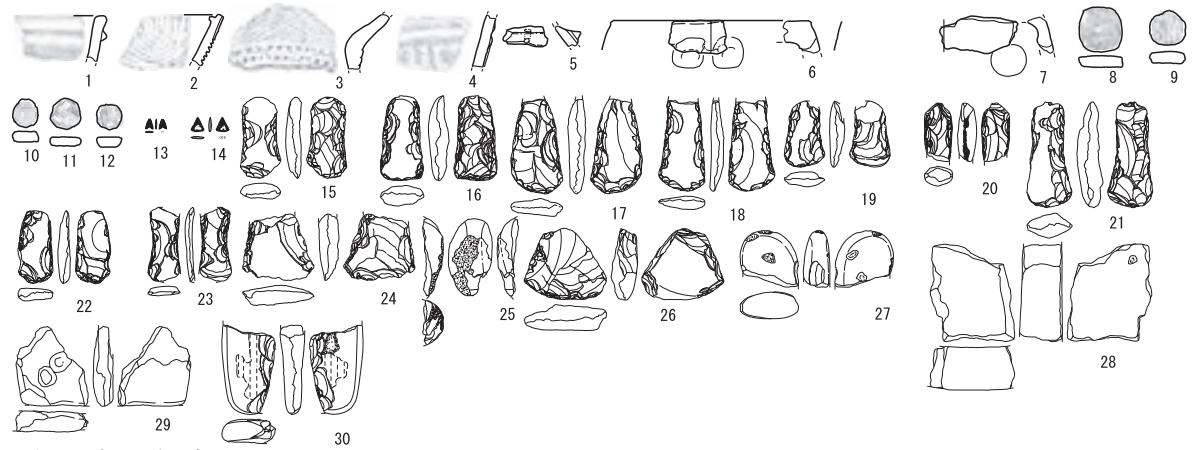
3次調査区包含層 00025



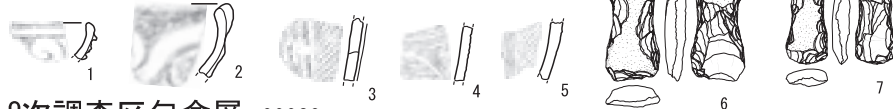
4次調査区包含層 00026



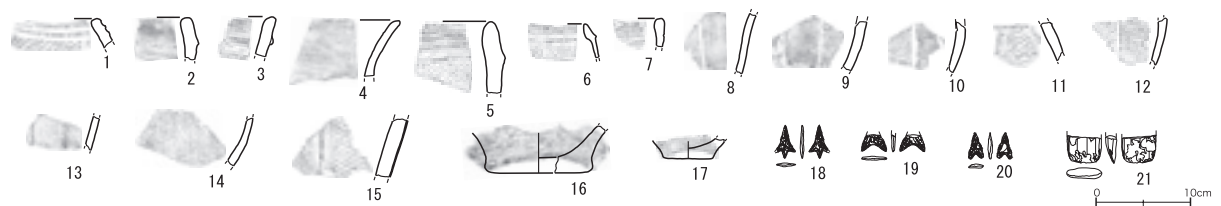
5次調査区包含層 00027



6次調査区包含層 00028



8次調査区包含層 00029



報告書抄録

フリガナ	カミホンダイセキⅡ						
書名	上本田遺跡Ⅱ						
副書名	2次～6次、8次調査の記録						
シリーズ	埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書	巻次	90				
編著者	村松 篤						
編集機関	深谷市教育委員会						
所在地	〒366-0823 埼玉県深谷市本住町17-3 TEL.048-572-9581						
発行日	2007年3月25日						
所収遺跡フリガナ	所在地フリガナ	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
カミホンダイセキ 上本田遺跡	深谷市本田4762他	11406 13	36.12134	139.28497	19881122 ～19881226	1,320	歩道整備
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
上本田遺跡 2次	集落	縄文 中期	竪穴住居3 土壇6	土器、石器 土製品	大規模集落の一部を調査 大量の土器石器出土		
		縄文 前期後期	包含層	土器			
		中近世	溝				
所収遺跡フリガナ	所在地フリガナ	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
カミホンダイセキ 上本田遺跡	深谷市本田4914-1	11406 13	36.12081	139.28442	19921105 ～19930227	1,250	南保育所建設
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
上本田遺跡 3次	集落	縄文 中期	竪穴住居12 土壇23 集石3、埋甕1	土器 石器 土製品	大規模集落の一部を調査 大量の土器石器出土		
		縄文 後期		土器			
		平安時代		須恵器			
		中近世	溝、土壇4	加賀、古銭			
所収遺跡フリガナ	所在地フリガナ	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
カミホンダイセキ 上本田遺跡	深谷市本田4914-1	11406 13	36.12036	139.28422	19940913 ～19941104	500	テニスコート建設
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
上本田遺跡 4次調査	集落	縄文 中期	竪穴住居2 土壇1 集石4	土器 石器 土製品	中期集落の南端を調査		
所収遺跡フリガナ	所在地フリガナ	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
カミホンダイセキ 上本田遺跡	深谷市本田4917-2他	11406 13	36.11975	139.28380	19970127 ～19970214	500	工場建設
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
上本田遺跡 5次調査	集落	縄文 中期	竪穴住居2 土壇5	土器 石器、土製品	大規模集落の一部を調査		
		中近世	溝				
所収遺跡フリガナ	所在地フリガナ	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
カミホンダイセキ 上本田遺跡	深谷市本田4917-34	11406 13	36.12015	139.28314	20000406 ～20000412	86	住宅建設
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
上本田遺跡 6次調査	集落	縄文 中期	埋甕	土器、石器	中期集落の周縁地の調査		
		中近世	溝				
所収遺跡フリガナ	所在地フリガナ	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
カミホンダイセキ 上本田遺跡	深谷市本田4888-1	11406 13	36.12119	139.28542	20060222 ～20060315	1,500	体育館建設
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
上本田遺跡 8次調査	集落	縄文 中期	集石2	土器、石器	中期集落の東端を調査		
		縄文 前期		土器			
発掘調査の概要							
縄文時代中期後半を中心とする集落の周辺域の調査報告である。今回の報告により、遺跡の東端、南城の分布の限界が明らかにされ、一方西側は3号埋甕の確認により、遺跡が広がることが確認された。住居群は1次調査区から3次調査区を中心に重複して検出され、周辺の住居は小型化し分布が薄くなる。縄文土器は加曾利E式中葉のものが主体で、独自の文様形成をすることを特徴とする。また、器台や有孔鏝付土器などの特殊土器の出土量が多い。荒川中流域の拠点集落としての位置づけを今報告でも裏づけることとなった。							

上本田遺跡Ⅱ

平成19年3月25日

編集・発行 深谷市教育委員会

埼玉県深谷市本住町17-3

印刷 凸版印刷株式会社

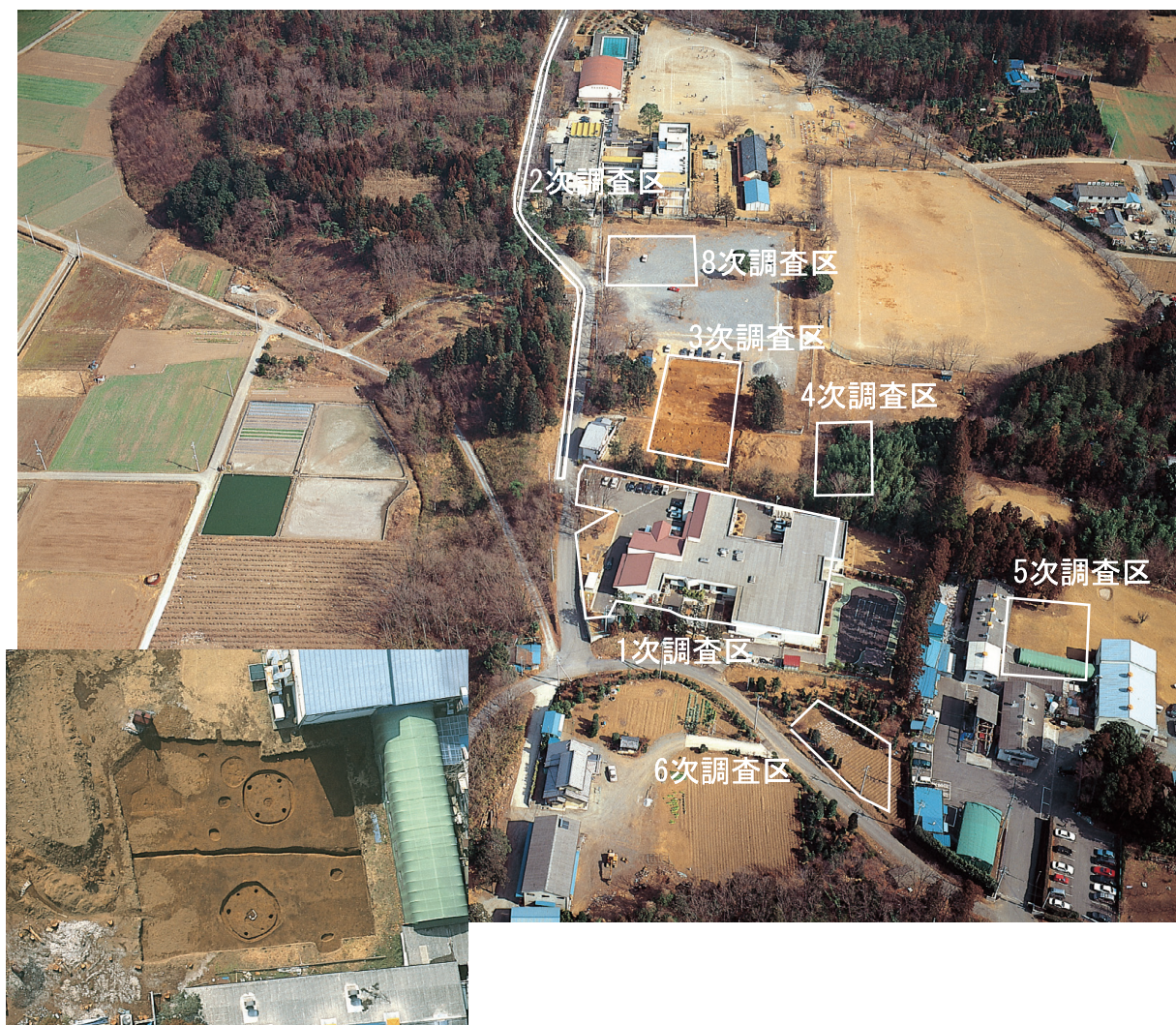
航空写真



3次調査区全景



4次調査区全景



5次調査区全景

調査区



3次調査区(北東から)



3次調査区(北西から)



2次調査区西部(西から)



4次調査区(東から)



5次調査区(北東から)



6次調査区(北東から)



8次調査区南半(東から)



8次調査区北半(東から)

49号住居 00001



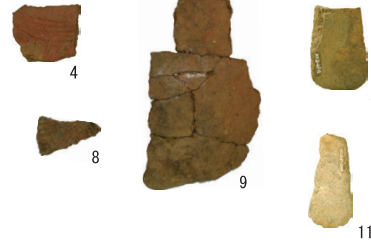
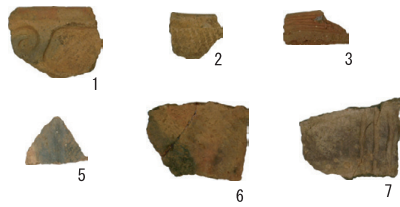
(東から)



(北から)



手前49号住居



50号住居 00002



(北から)



(西から)



石囲埋甕炉

51号住居 00003



全景 (西から)



遺物出土状態(東から)



土層



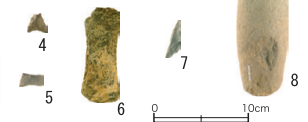
地床炉土層



遺物出土状態



埋甕



52号住居 00004



全景（東から）



全景（南から）



遺物出土状態（東から）



遺物出土状態（東南から）



遺物出土状態（西から）



石囲炉



柄部分



土層（西から）



11



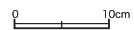
12



13



14





全景（南から）



全景（東から）



遺物出土状態（東から）



土層（西から）



遺物出土状態（西から）



炉（西から）



炉土層



0 10cm

54号住居 00006



全景（北から）



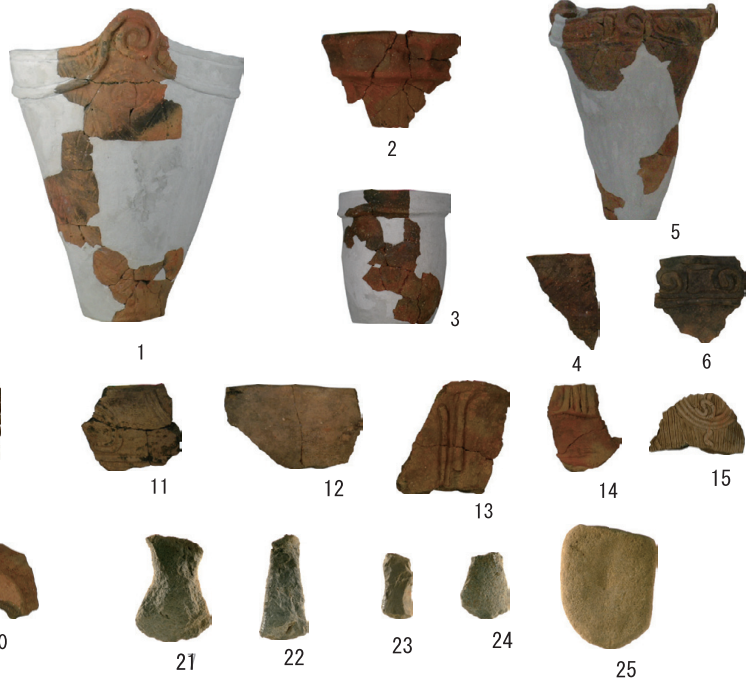
全景（東から）



土層（東から）



遺物出土状態（東から）



55号住居 00007



炉（南から）



炉土層



56号住居 00008



全景（西から）



全景（東から）



遺物出土状態（西から）



土層（西から）



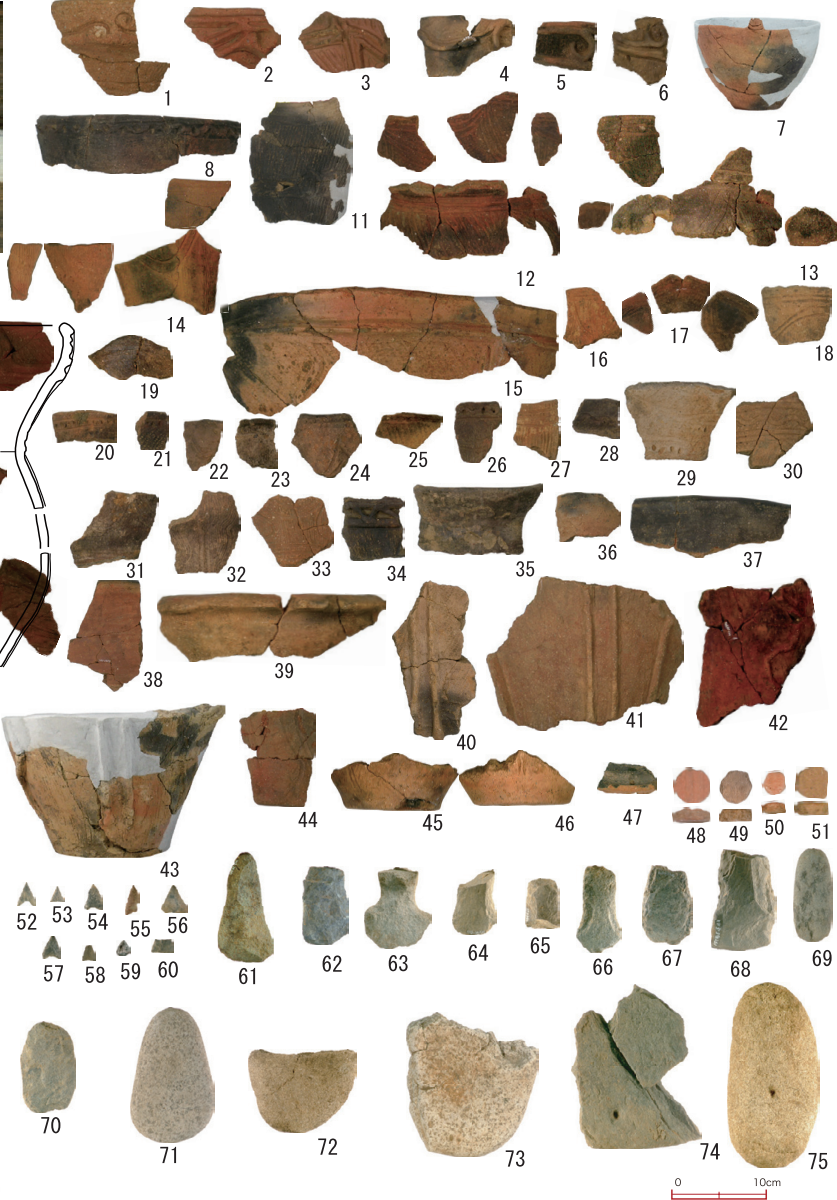
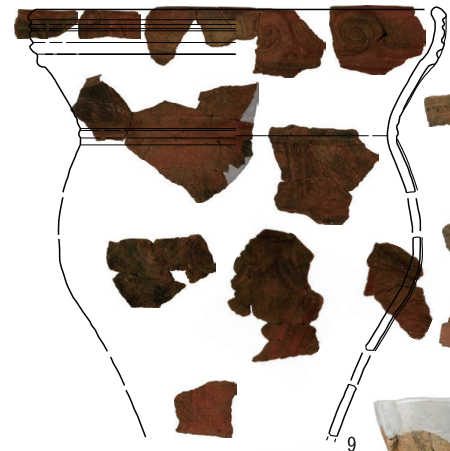
炉周辺（西から）



住居内集石



住居内配石



10





全景（南から）



全景（西から）



土層（北から）



石囲埋甕炉（東から）



石囲埋甕炉（北から）



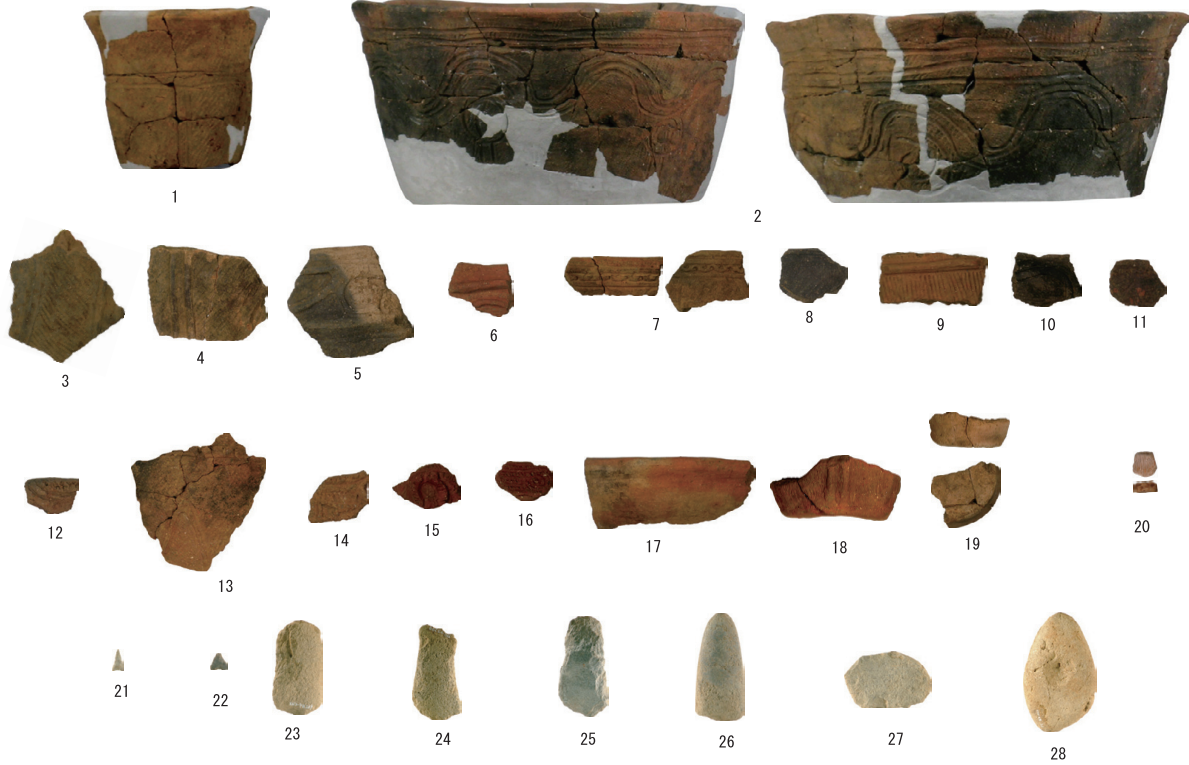
石囲埋甕炉土層



遺物出土状態（東から）



伏甕



58号住居 00011



全景（南から）



全景（東から）



土層（南から）



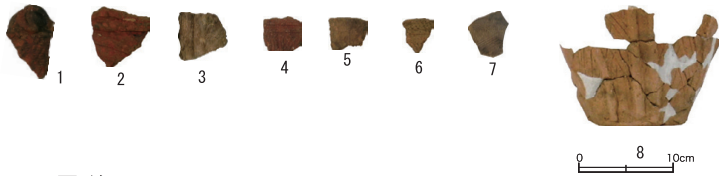
遺物出土状態（東から）



遺物出土状態



住居内土坑



59号住居 00012



全景（西から）



全景（東から）



遺物出土状態（南から）



土層（東から）



石囲埋甕炉（北から）



炉土層

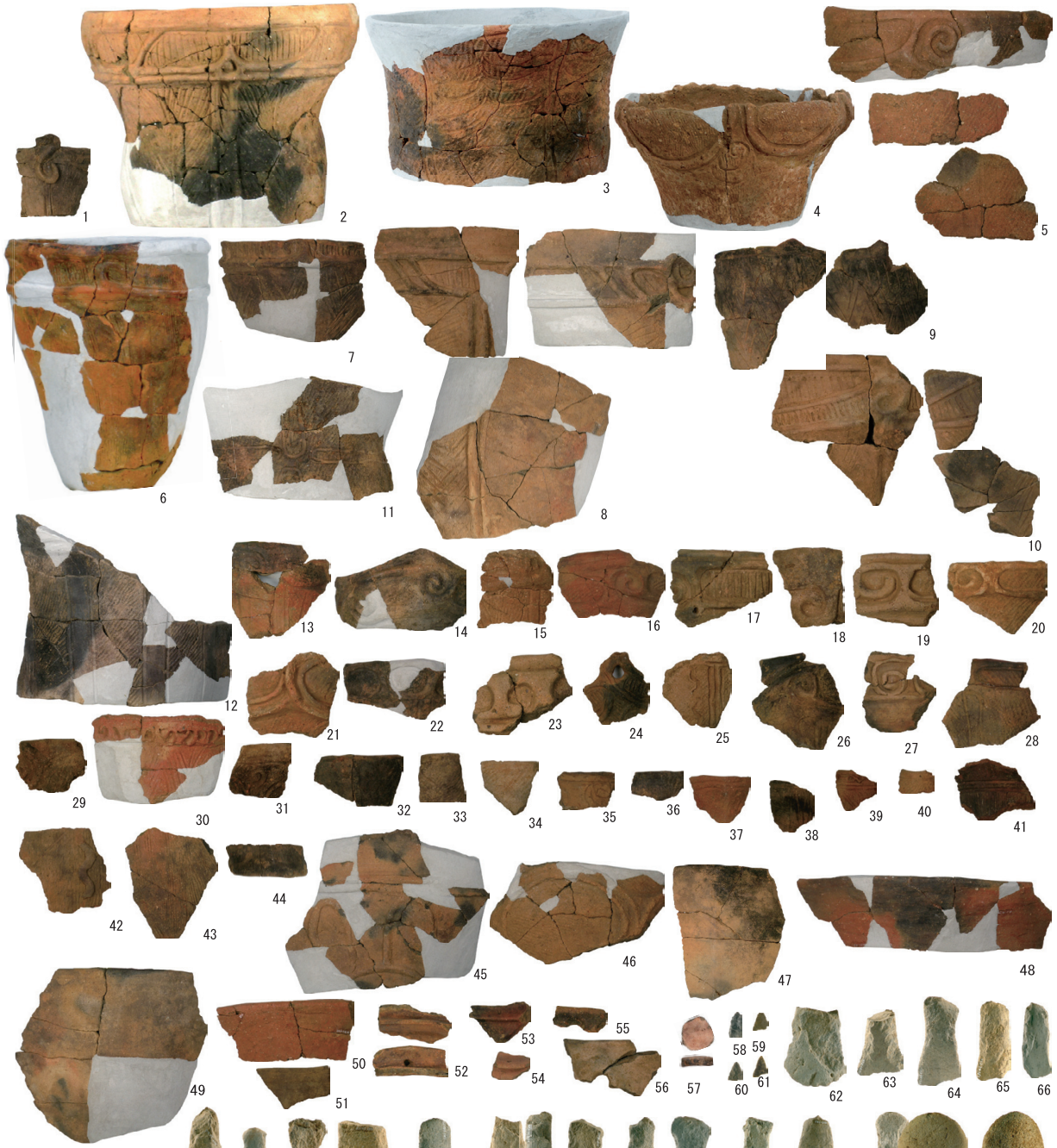


埋甕と伏甕



集石下部

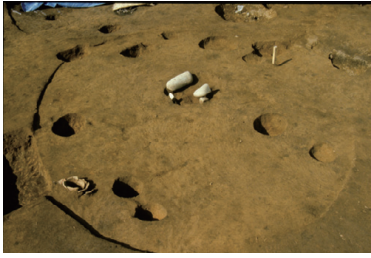
59号住居 00012



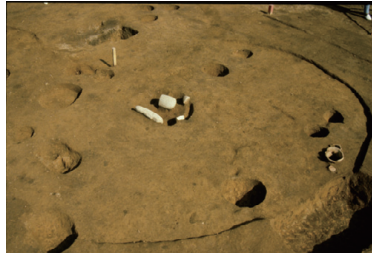
60号住居 00013



61号住居 00014



全景（南から）



全景（西から）



遺物出土状態（北から）



土層（東から）



石囲炉（南から）



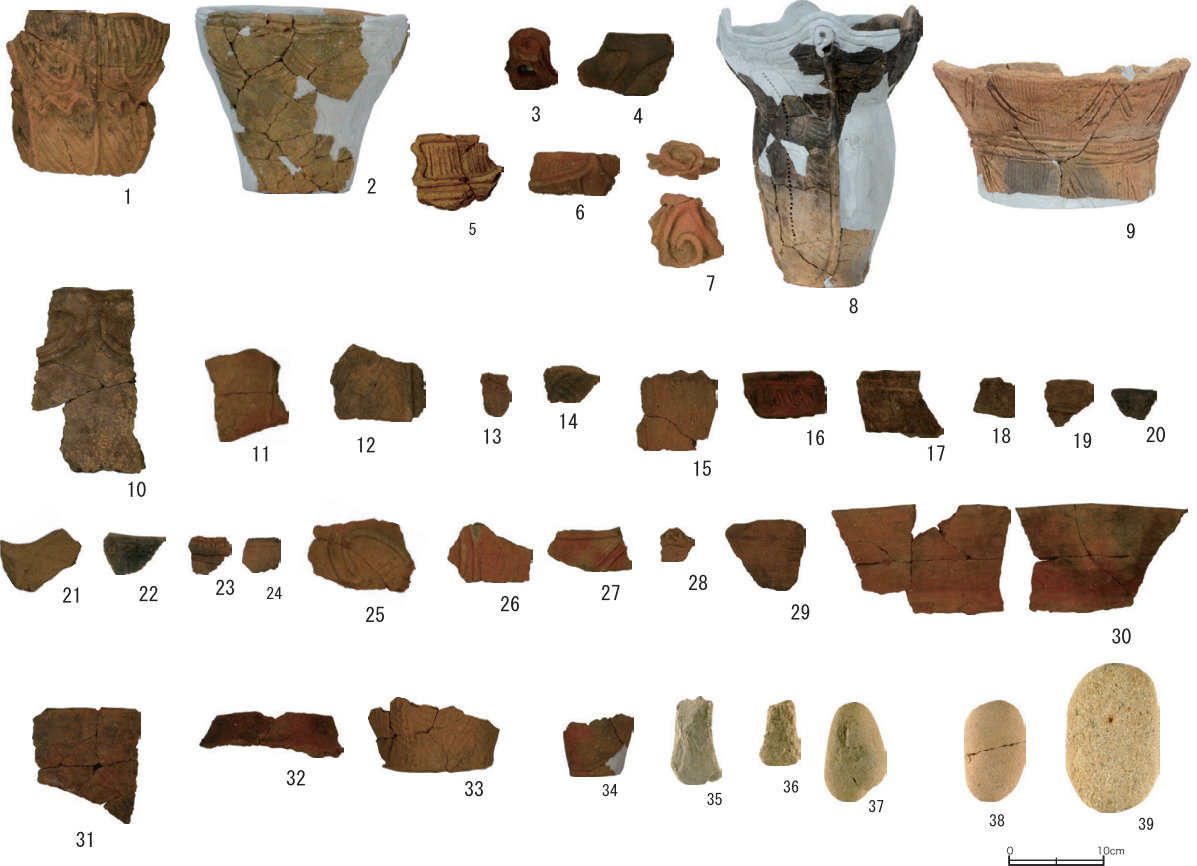
炉土層



炉上面遺物出土状態



埋甕





全景（東から）



全景（北から）



遺物出土状態（南から）



土層（東から）



遺物出土状態（東から）



遺物出土状態



炉上面



埋甕炉上面



1



2



3



4



5



6



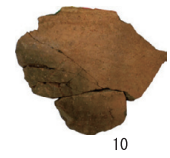
7



8



9



10



11



12



13



14



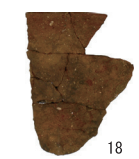
15



16



17



18



19



20



21



22



23



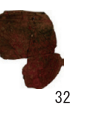
24



25



26



27



28



29

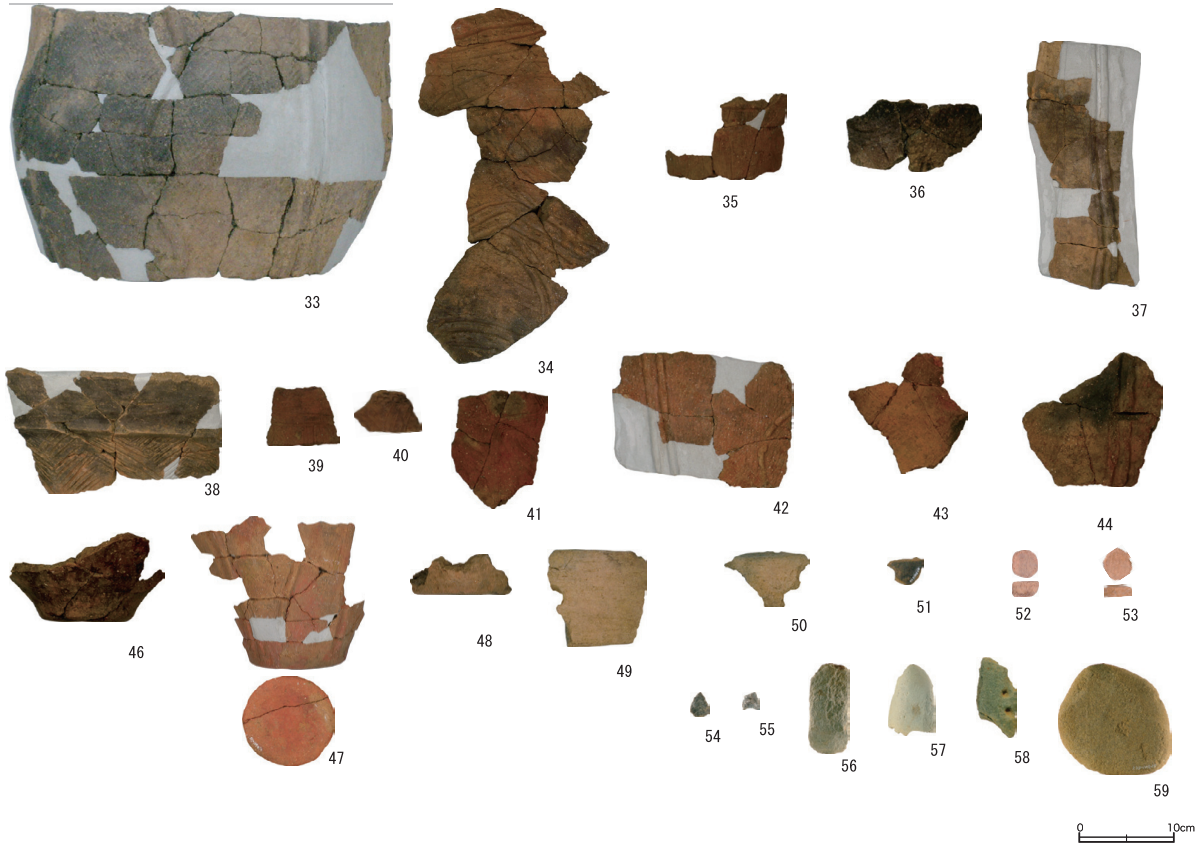
30

31

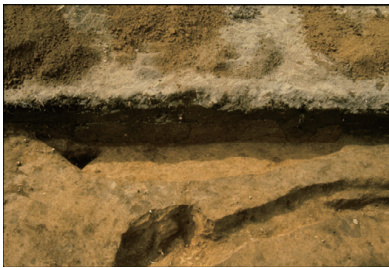
32



62号住居 00015



63号住居 00009



全景（東から）



全景（南から）



64号住居 00016



全景（南から）



全景（東から）



土層



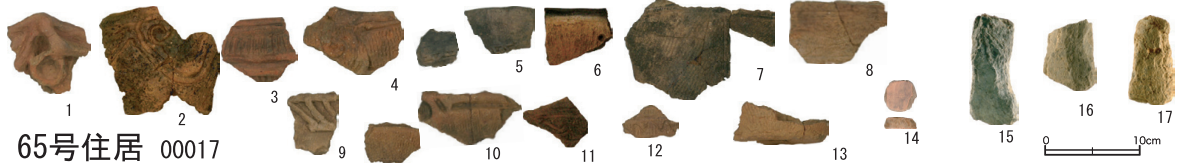
遺物出土状態



地床炉断面



1・2号住居



65号住居 00017



全景（東から）



遺物出土状態



炉・柱穴断面



遺物出土状態



遺物出土状態



遺物出土状態





全景(南から)



地床炉上面遺物出土状態



土層



遺物出土状態



地床炉断面



地床炉



柱穴断面



周溝土層



1



0 10cm



全景(南から)



遺物出土状態(北から)



土層



石囲炉



石囲炉断面



石棒出土状態



遺物出土状態



遺物出土状態(南から)



67号住居 00019



土坑 00020



42号土坑



43号土坑



44号土坑



45号土坑



1号風倒木



1号風倒木・45号土坑



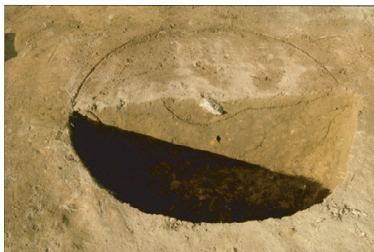
46・47号土坑(東から)



5号溝(東から)



62号土坑



63号土坑



68号土坑



71号土坑



52号土坑



60・61・64号土坑



53・54・55号土坑



78号土坑



80号土坑



7号溝土層

集石 00021



5号集石 (東から)



8号集石 (西から)



6号集石 (西から)



7号集石



4号集石



4号集石



10・11号集石 (東から)



10号集石



10号集石2面



11号集石



11号集石2面



12号集石



13号集石



13号集石掘り方



8次調査集石分布 (北から)



14号集石

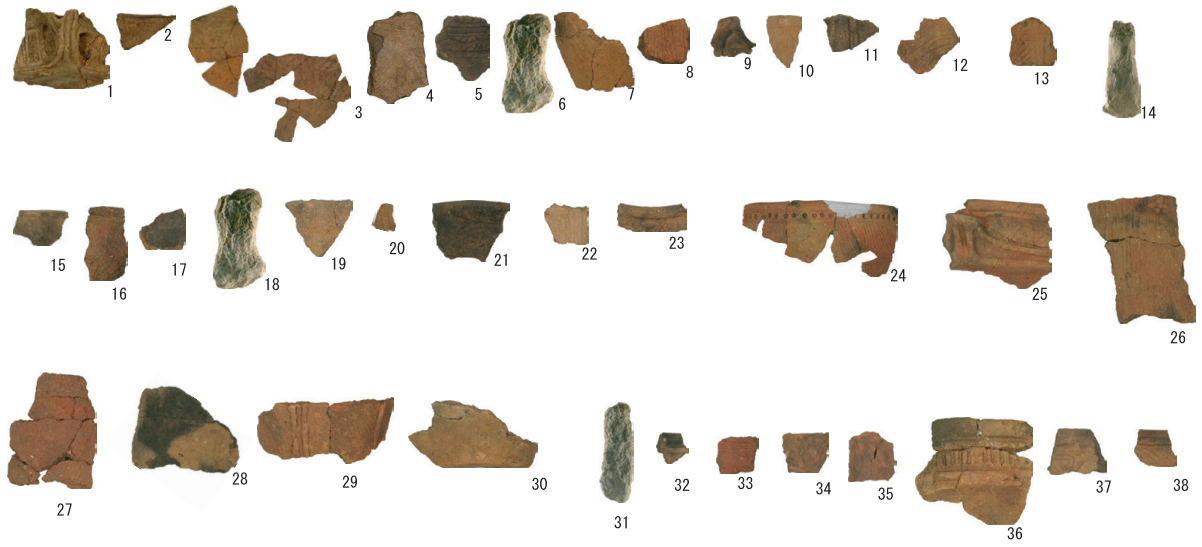


15号集石確認状況 (西から)

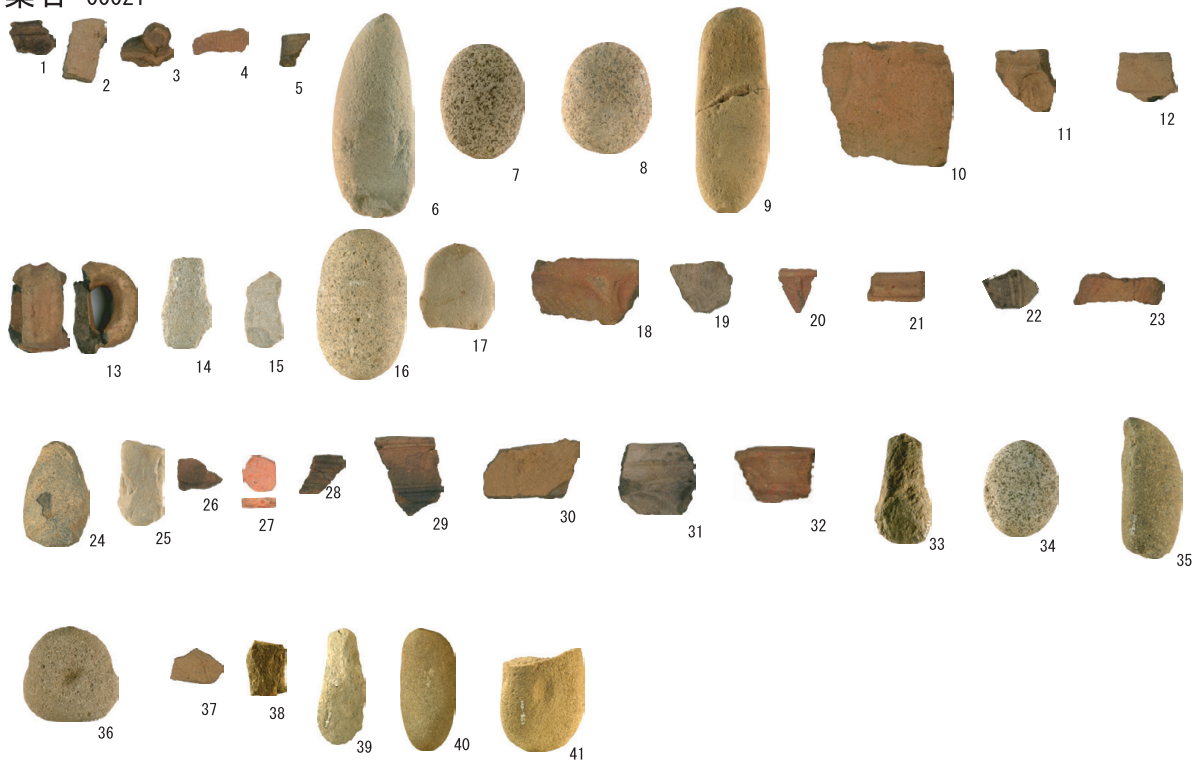


15号集石

土坑 00020



集石 00021



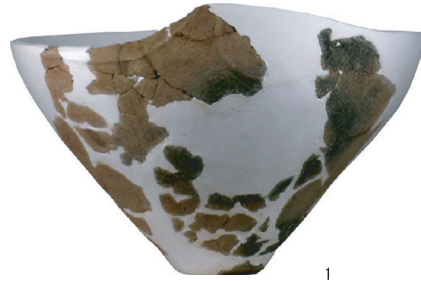
0 10cm

埋甕 00022

1号埋甕



遺物出土状態) (西から)



1

2号埋甕



屋外埋甕確認状態



同側面



同土層



2

3号埋甕



確認面



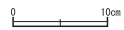
第二面



3

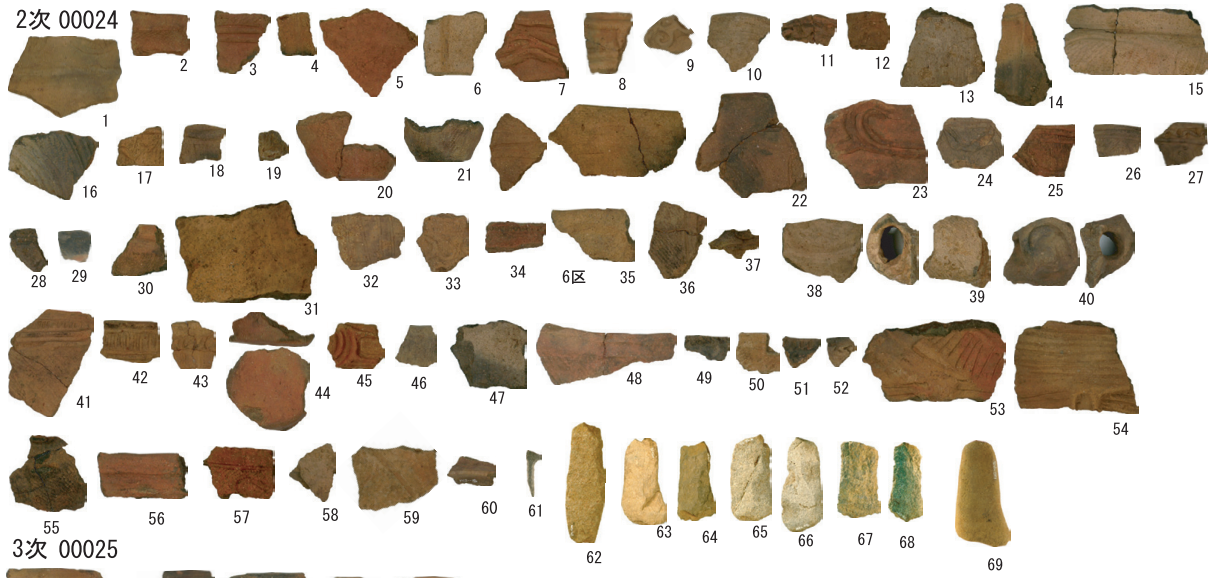


包含層出土前期・後期土器 00023



包含層

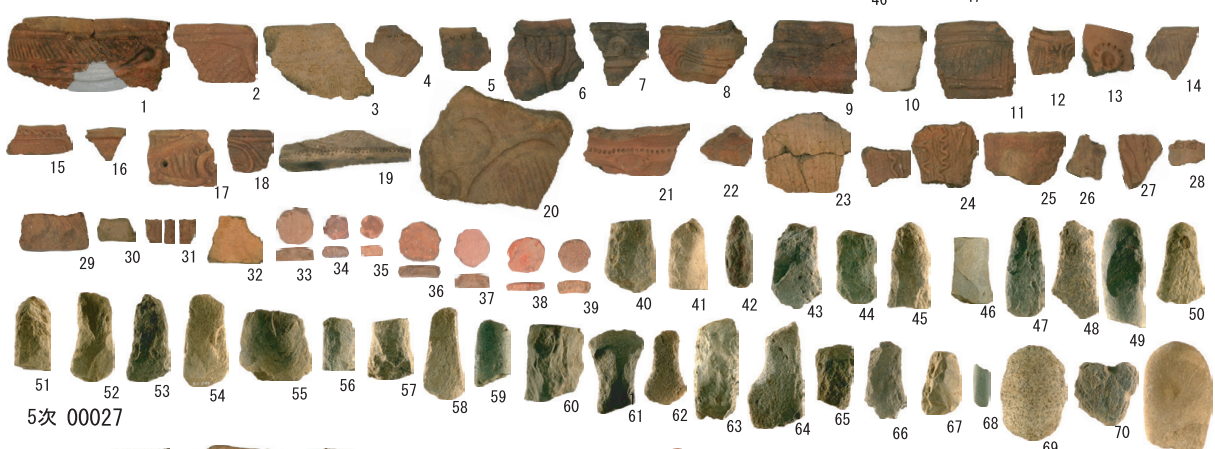
2次 00024



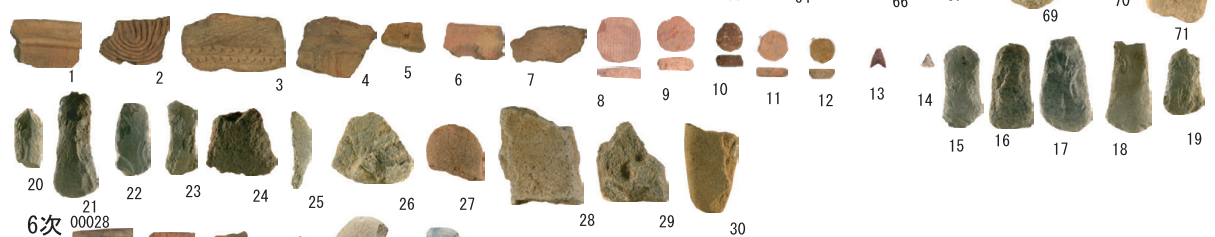
3次 00025



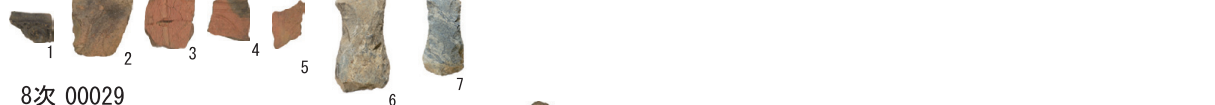
4次 00026



5次 00027



6次 00028

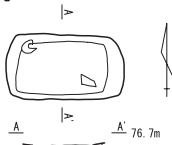


8次 00029

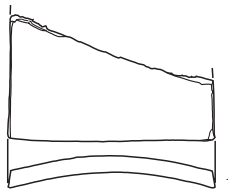


近世土坑 00030

73号土坑



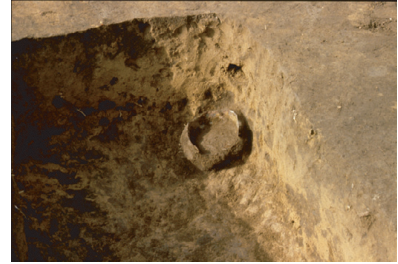
第1層 黒色土層 径10mm以下のローム粒を多量に含む。しまり粘性良好
 第2層 黒色土層 径5mm以下のローム粒を少量含む。しまり粘性良好



全景（南から）

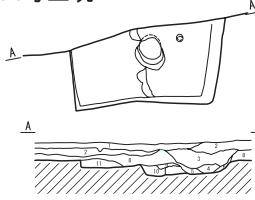


土層

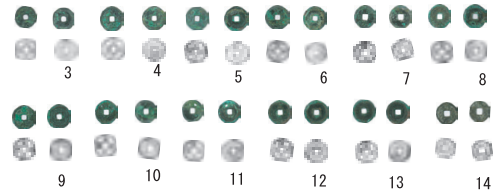


鉄鍋出土状態

74号土坑



第1層 茶褐色土層 白色粒を多量含む。しまり良
 第2層 褐色土層 径1mm次のローム粒を含む。しまり良
 第3層 茶褐色土層 径1~2mm次のローム粒を含む。しまり粘性良好
 第4層 褐色土層 ロームブロックをわずかに含む。しまり良
 第5層 茶褐色土層 ローム質土が混入。しまり粘性良好
 第6層 茶褐色土層 ローム質土が混入。しまり粘性良好
 第7層 褐色土層 ローム粒と褐色土の混土層。しまり粘性良好
 第8層 茶褐色土層 ロームブロックを含む。しまり粘性良好
 第9層 茶褐色土層 ローム質土層。しまり粘性良好
 第10層 黄褐色土層 ロームブロックを多量に含む。しまり粘性良好
 第11層 茶褐色土層



全景（東から）

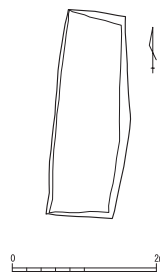


土層（南から）



遺物出土状態

75号土坑

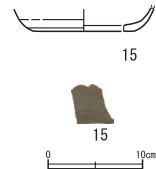
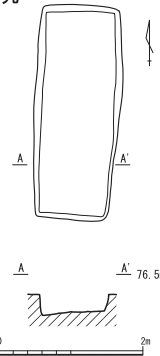


全景（南から）



土層

76号土坑



8次調査の概要



調査区南側（東から）



調査区北側（東から）



集石分布（北から）



14号集石



調査区南側拡張区



石鏟出土状態



15号集石



15号集石確認状況



測量風景



石鏟出土状態2



調査風景